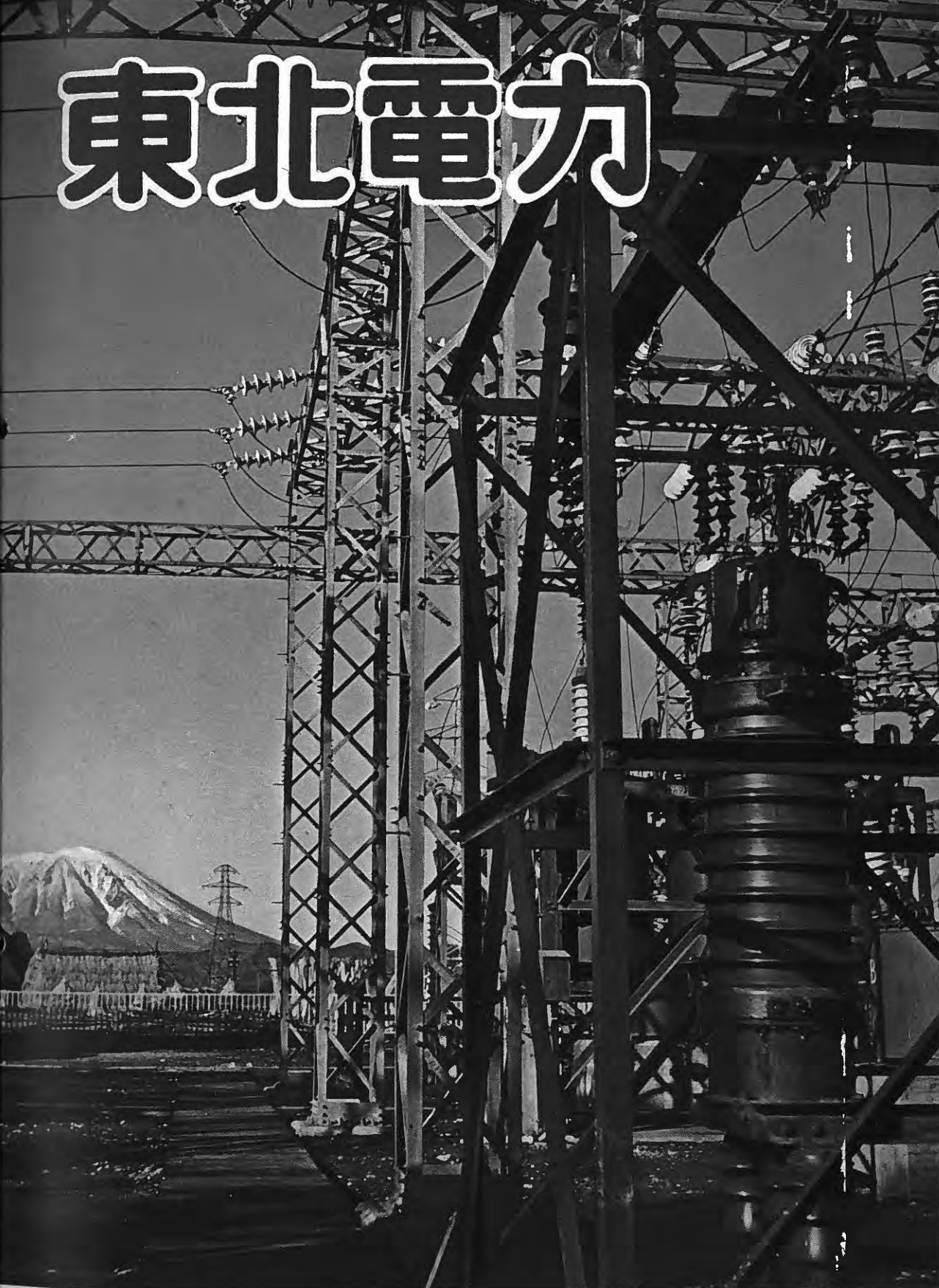
東北電力



東北電力株式会社社誌　No. 15　29. 1



東北電力 第15号 目次

1954年を迎えて……社長　内ケ崎謹五郎…(1)
各支店長メツセージ
……各支店長・会津電力事務所長…(5)

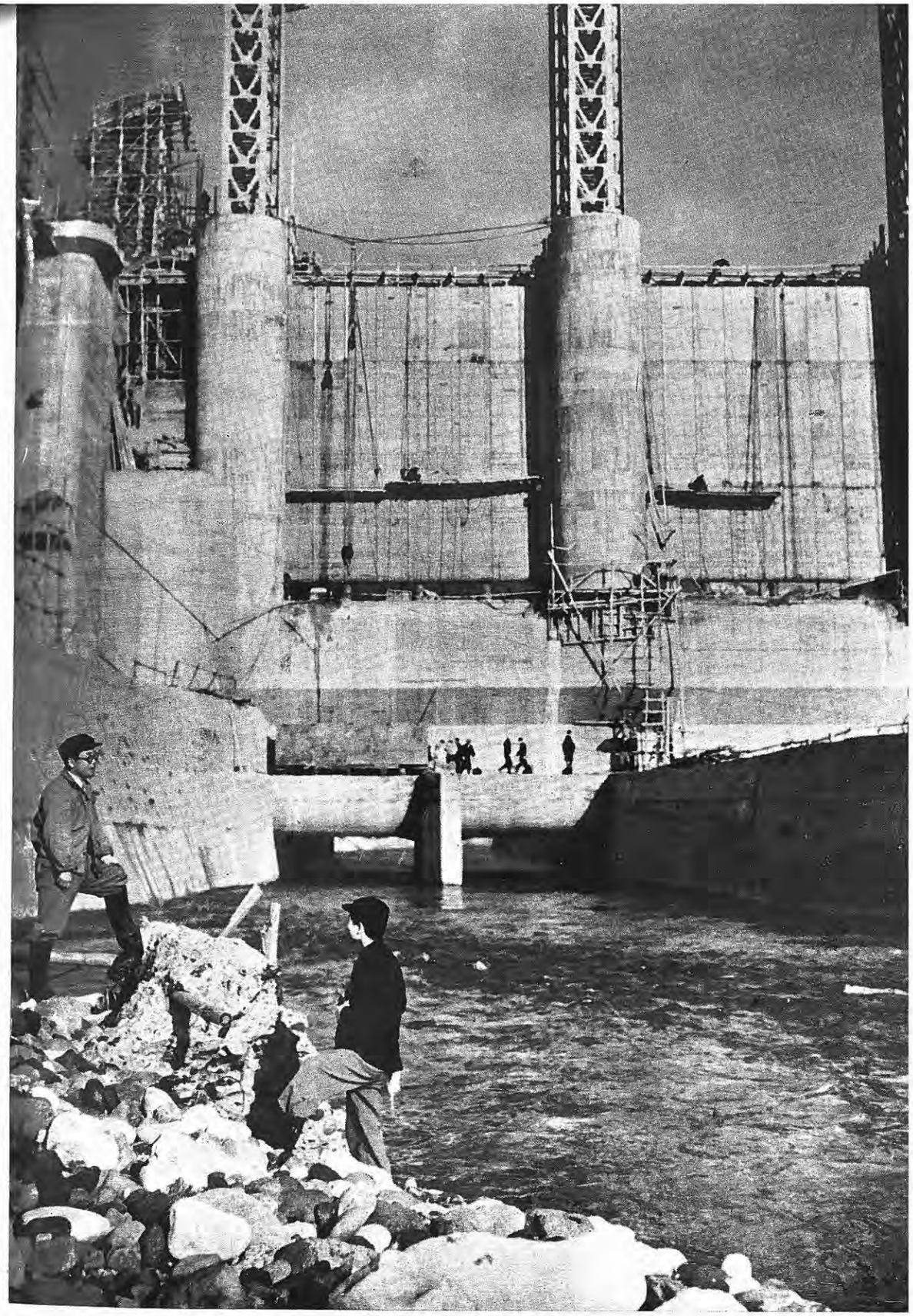
新中央給電指令所の設備と使命……郡司竹次…(9)
電圧改善について……柳田正治…(12)
60KV仙台北送電線OFケーブル……田中鉄太郎…(18)
工業用テレビと当社の試験について……通信課…(24)
電源開発建設資金の調達……黒沼敏行…(28)
未収料金回収の法的措置(I)……神田香苗…(35)
修理班の運営について……石黒守・宮下森太…(38)

当社の建築を語る……増田健司…(43)
海外送電技術……坂本雄吉…(32)

馬のはなし……松岡志郎…(58)
腑に落ちぬこと……土本善平…(59)
健康について(I)……菅野義三…(61)
お正月断面図……佐藤鉄歩…(64)
財務日誌抄……J・N生…(66)
冬の蔵王山……小松悦次郎…(67)
音楽断想……池田信夫…(68)
趣味—写真—……斎藤鉄雄…(71)
今昔映画物語(前篇)……千本健雄…(74)
会津名所にて……菅雄吉…(76)

支店だより……(46)
東京通信……(54)
本店ニユース……(56)

第1回全社囲碁将棋大会開催……(11)
短歌　(扇畑忠雄選)……(80)
俳句　(遠藤梧逸選)……(82)
表紙・盛岡変電所より岩手山を見る(富士カラーフイルム)
……倉林稔
カツト……金沢光策・藤谷柔川

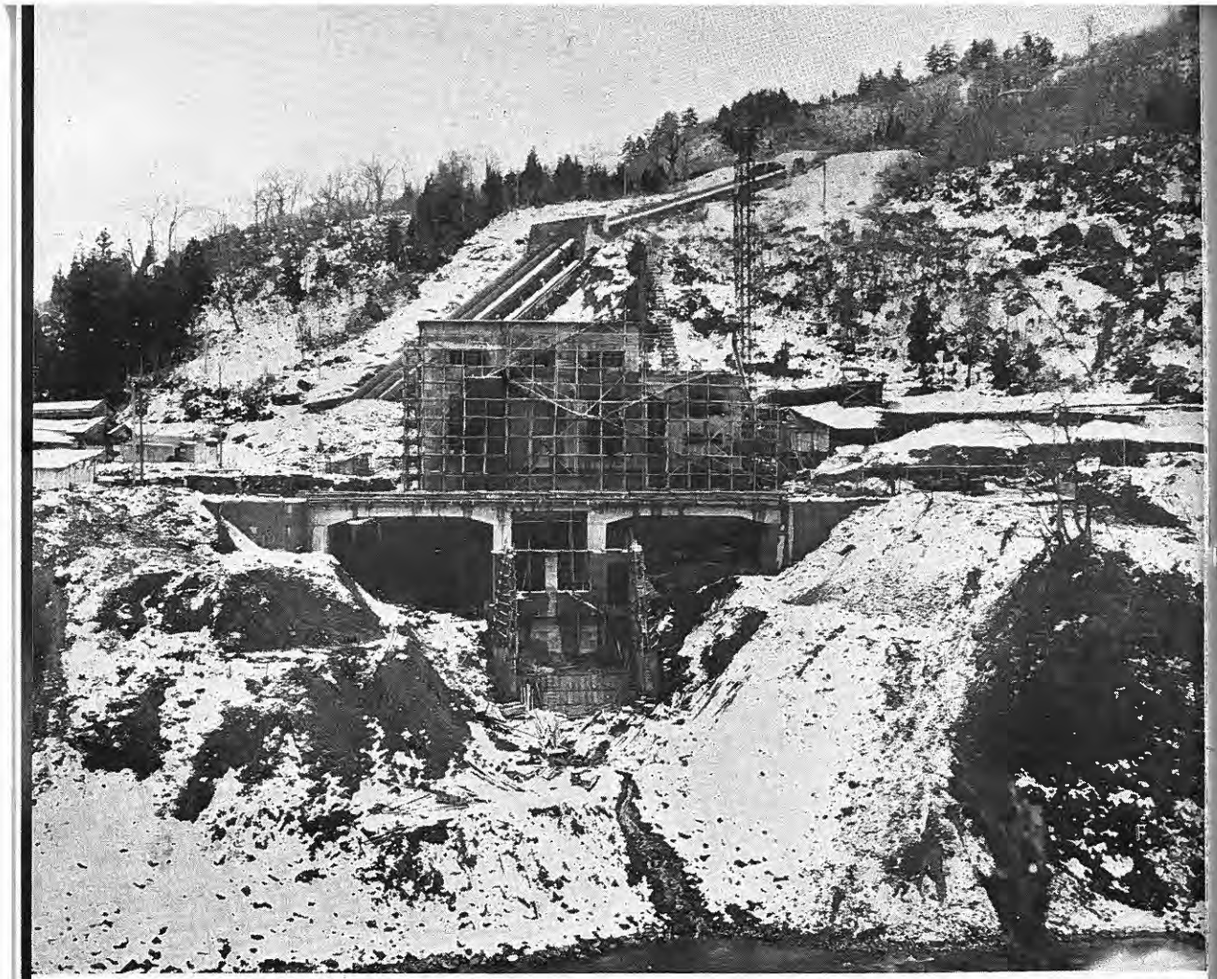


通水間近の上田発電所 —29.1.20—



本名発電所夜間作業 —29.1.21—







上
伊南川発電所
改造工事

下
上田発電所
夜間作業

—29.1.20—



1954年を迎えて

社長　内ヶ崎賛五郎

皆さん，新年明けまして御目出度う御座います。昨年は皆さんの非常な御健斗の結果，我社は非常に隆盛におもむきました事は，実に御同慶にたえません。今年も同様御健斗あらん事を切にお願い申しあげます。

今年は馬の年でございます。馬と申しますとはね上る跳躍という事が連想致されますが，昨年は巳年でありまして，これはだんだん先の方が細つて来るという様な，こじつけではありますが，そういう事を申す人がありましたが，今年は跳躍の年であるという事で，気を良く致して居ります。

昨年28年度を回顧致しますと，我社におきましては，非常に順調な経路をたどつて居り，1割5分の配当もずつと継続致して居りますし，その他万事順調に推移致しております。又建設の方面におきましても——この方面は私がいつも申し上げます様に需要家に対するサービスの改善のうち，最も重要な事である電源の開発，供給力の増加という事については最も力を注いだ年であります。発電所の数も相当出来まして，出力も相当に増加致し，その結果，昨年の8月には100万キロワット突破の式典をあげる事が出来たのであります。又東京の事務所を除き，東北七県の我社の管内には，只今，このお話が全部中継されて居りますが，このマイクロウエーブ，その他通信の関係が非常に整備致されました。その外，ヘリコプターも昨年の末頃に入つて参りまして，只今，盛んにこれのトレイニングをやつて居りますので，まもなく送電線のパトロール，あるいは建設の方にもやがては偉力を発揮する事が，きわめて近くにまいつて居ると存じます。

その外，いろいろ企業合理化をやつた為に人力を省いて，これを機械力におき代えるという，常日頃私が申し上げて居りました事どもが逐次実現されて居ります。送電線の活線作業，あるいはデリツククレイン，その他，今研究を致して注文途上にあると思いますが，電柱の穴を掘る機械の設備であるとか，又柳津，片門発電所の水門の状態，あるいは操作の状態等が，配電盤から直ちに判り得る様に，テレビジョンの装置等，いろいろ機械化が整備されつつある事は，誠に御同慶にたえない所であります。

そして只今申し上げました様に，この仕事が完成するにつきましては大体500億の金を投じてやる事になつて居ります。即ち26年度には60余億円，27年度には150余億円，又28年

度には150余億円，29年度におきましては120余億円の金を投じまして，只今申しましたものゝ完成と同時に，又只今工事中であります葛根田第一発電所，更に上田・本名の発電所あるいは八久和発電所，法量の発電所等が続々完成をする事に相成つて居りますが，実に前途洋々たるものがあろうと存じます。これ偏えに皆さんが社業に一致協力，寄与された結果でめると存じ，ここに厚く感謝を致す次第であります。

尚，同時に皆さんに，この年頭に当つてお考え願いたい事は，地の利を得まして，又只今申し上げました様に，人の和を得ましても，天の時を得なければだめだろうと存じます。この天の時は，即ち神だのみではありませんが，神明の加護によるものであろうと私は常がね考えて居ります。敬虔なる態度を持つて，ここに神明に感謝をすべきであろうと私は考えて居ります。

以上28年の回顧を申し上げたのでありますが，さて29年度はどうであろうかという問題でありますが，先程申し上げました様に，今年は躍進の年であろうと私は考えて居りますが，しかしこういう事がございます，「伸びんとすればまず屈せよ」という事もございます。これは御承知の通り，日本は現在おかれた地位におきましては，非常に大事な年を迎えておると存じます。我々の一挙手，一投足が非常な影響力を持つ，即ち日本が終戦以来今日まで，再建が出来たと誤信を致しましていろいろやつてまいりましたが，そういう年でないという事が，やつと28年度の末頃になつて，一般によく諒知されて参つたのでありまして，この29年度は日本の再建がなるか，あるいは４等国，５等国に転落するかの境の年であろうかと私は考えて居ります。

いつも，外国をまわつて来られた人が申されますが，ドイツの復興ぶりを評しまして，「日本と非常に違う」と申されております。これは異口同音にどなたでも申して居られますが，その通りであろうと存じます。即ち日本の復興は，ほとんど表面に表われた物，例えばこの様な衣服等は非常に結構に，戦前なみに復帰致してまいつて居ろうと思います。又食料品につきましても戦前以上によくなつておる。あるいは市街地を見ましても，建物が非常に立派になつて居ります。しかし工場の中に一歩入つて見ますと，ほとんど機械はボロ機械でありますが，それに比べますと，ドイツは都市の復興はほとんどなつて居らんそうであります。又食料も非常に倹約しておる。着物もお粗末であると聞いて居ります。しかしながら，一歩工場の中に足を入れますと非常に新鋭な機械が整備されておる。従つてその製品の原価は非常に安くつくという事で，輸出がどんどんされておる。これに反して日本はその反対で，表面は非常によくなつておりますけれども，工場がさような状態でありますから，製品の原価が非常に高い。その為輸出がほとんどストップしたといつても良い程に輸出が出来なくなつておる。これが28年の末の様相であつたのであります。これでは到底だめなのでありまして，どうしても緊褌一番，我々はここに奮斗せんけりやならん。このためには「伸びんとすれば屈せよ」で，どうしても褌をしめ直してかからなければいかんという年であろうと考えて居るわけであります。

従いまして，我社も設備関係等につきましては緊縮を加えて行くという様に考えて居ります。先程申し上げました様に，29年度は120億円台に設備増設を圧縮を加える，斯様に考えて居ります。これは私が圧縮を加える様な考えを持たなくとも，日本にはどこを捜しても金がないという時代でいくら逆立ちして，金と太鼓で捜しまわつても，日本国には金がないんだという状態でありまして，独り東北電力が緊縮政策をとるというだけじやないと思うのであります。他の会社の事は判りませんが，おそらくはそう大した大きな金を集める事が出来ないという様に，考えて居ります。従つて私等は出来ない事は考えない。出来る事に全力を傾注してやるんだと，かように私の決心をきめたわけであります。

尚，この様に申しますと，躍進どころではない，少し悲観じやないかというお考えの方もあろうかと思いますが，なかなか悲観なんかする必要はない。收支の面におきましても，今迄に出来上つたものが稼動致しましてだんだん向上の一途をたどる事であろうと考えて居ります。尚，それをやります為には，どうしても料金の値上げをやらんけりやいかん。我々は本年の４月１日を期して，料金の値上げをやつて貰う様に折角奔走して居りますが，これはなぜ値上げをする必要があるかと申しますと言うと，新たに出来た発電所，送電線，変電所の設備が昔の設備に比較して非常に高い建設費がかかつておる。その為の利子，償却等を考えますと，どうしても原価が非常に高くつく。こういう事であれば，これを遠慮なく料金にもつていつても私は仕様がないと考えて居ります，と申しますのは一般の物価から申しまして，パリテイ指数で申しますと，一般物価は３百40～50倍でございます。しかるに電気料金は只今90倍位の所であります。したがつて，その方から申せば，まだまだ料金の値上げをやつてもいいのでありますが，けれども左様な事は考えて居りません。しかし少なくとも原価だけはペイさしていただかなければならない。これは世の中のどこに持ち出しても通用する事でありますので原価はどうしても，織り込んで貰う。左様な事になりますと，新しい設備は非常に高価である為に原価が高い。従つてこれを料金に織り込んで貰うのは当然の事である。ひとり電気事業だけが踏台になる必要はない。基本産業である電気事業は健全な発展をする必要がある，でありますからこれは当然の権利として需用家にお願い出来る，この様に考えて居ります。しかしこれは我々の態度でありますが，政府がいかなる態度をとるか，大いに注目して進んでまいりたいと思うのであります。これが出来れば先程申しました様に收支の心配もなくなるという事であります。

尚，もう一つは，世間では東北電力は電源の開発を大いにしてやつておるけれども，そのうちに電気が余つて困る様な時代が来るだろうという様な事を流布する人がありますが，これは絶対に余る事はありません。というのは電気は非常に安い，世界の物価と比較致しまして，世界の物価水準よりも安い物は電気だけであります。ほとんど他の重要産業等はずつと高くなつておる。ことに石炭のごときは非常に高くなつておる。従つて石炭は輸入する方が非常に安い。電力と競争的な立場にある石炭が，只今の様に高い線をたどつておる限りは，電気をこれにおき代え得るという様な事からして，電気が余るという事は絶対にないという様に確信致して居ります。電気をあげましようと言えば，直ちに石炭を焚く事をやめて，電気に転換するというような産業がたくさんあります。従つて，いささかも心配はないのであります。たゞ，我々はいつも申します様に，東北の開発を叫んでおるからして，東北の発展に寄与する必要があります。大いに東北に産業を誘致して地下資源の開発等をやるというように思つて居ります。それと同時に一般の方々にも良いサービスをする必要がありますので，一般の供給は絶対に停電はしないという方針で只今進んでおる次第であります。

尚，又もう一つ昨今，電源県には地域差をつけて安くしてほしい，という声が相当に起つて居ります。しかしこれは現在におきましても一番安くなつて居ります。福島県や新潟におきましては実質的に１キロワット・アワーあたりの単価が非常に安くなつておる。そのほか，電気の量も一番多くなつて居ります。こういう事で電源県はおのづから恵まれて居るのでございます。従いまして，今は開発されました電気は地元にはおのづからひとりでに多く流れてまいります。そういう事で電気の量も多くなり，と同時に単価も非常に安くなつて来る。というのは動力の方が安い一般の電燈よりは大口丙等の大電力の方は，はるかに安い単価になつておる関係上平均単価は安くなつて居ります。これは自動的に左様な形になつてまいりますので，電源県の要望に対して十分に応え得ると確信致しておる次第であります。

尚，ちようどこの際いい機会でありますから，私が常日頃考えておる事を申し上げたいと思いますが，日本の再建にはどうしても大都会の人口の密集地を打破する。そして地方

に分散する必要がある。地方に200万程度の都市を40～50つくる。東京の様に800万と称せられて居りますが，やがては1億万近い人口にのびるのじやないかと思いますが，只今東京に集まつておる人達がどういう役目を果しておるかという様な事を考えますと，これは農村の二，三男坊が東京に出て行く。そうするというと田舎におつちや飯が食えない，けれども東京に出ると飯が食える，という為に東京に集まる，たしかにそうでありましよう。しかしながら，向こうに行つて仂く人がどんな仂きをするかというと，決して仂かないのではありません。非常に仂く。けれども，それは，大部分消費生活を助ける為の仂きをしておる様であります。これでは日本の生産活動をする人がだんだん少なくなつて来て，消費を助ける様な仕事をやる人達だけが多くなる。斯様になりましては，どうしても日本の再建などという事は到底おぼつかないのであります。従つて大都会密集主義をやめて，強力に地方に人口を分散さすべきであろうと思います。これ以外に日本の人口問題を解決する方法は差当りないという様に私は考えて居ります。

尚，もう一つの点は日本の産業の構造をこの際，思い切り変えなければいかん。昔は皆さんも御承知の通り綿を輸入し，それに加工を加えてこれによつて紡績業者が非常に活動致しました。そしてこれを原料を持つて来た方面に逆に輸出しておる，支那あるいは南方諸島，インド方面にやつたわけでありますが，しかしこれは，いやな言葉でありますが，軍事力を背景とした日本であつて，500隻の艦艇を持ち，又100万の満洲軍を持つてはじめて可能であつたのであります。しかしこれはどうしても左様な事が出来なくなつた今日におきましては，これを大転換する必要がある。しからば何かこれにかわるものがあるかという問題でありますが，それは，地下に無尽蔵に包蔵せられておる所の石灰石と，それから電力をもつて，カーバイト，更にビニロン，アメロン等，こういう合成繊維工業にもつて行く，これであります。これによつて1億や2億の人口を支える事は可能であろうと存じます。綿なり羊毛の輸入はやめる，そして日本人の消費する衣料は全部，石灰石，電力をもつて生産する，合成繊維によつてまかなう。そしてその余力を輸出するという事によつて食料の輸入をおこなう。斯様な方向へ産業構造を変える必要がある。

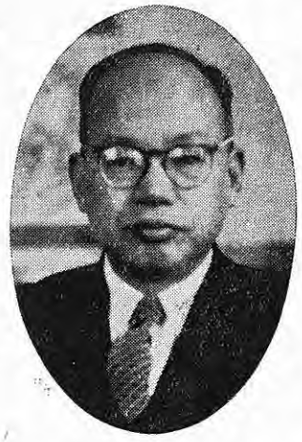
この2つを私は日本再建の礎として常日頃考えておるのでありますが，第1の人口問題につきましては，なかなか今の政府等においては実現出来るかどうか，甚だ疑問と考えて居りますが，8千万の我々各個人が，皆んなそのつもりになつてやる以外方法はないじやないかと考えて居ります。第2の問題は，只今通産省が主体となつて合成繊維5箇年計画を進めつつありますから，これはその中，ものになるだろうと思います。但しこれをやるには技術の点において現在到底外国と太刀打ち出来ません。ですから政府が大研究工場を作つて相当の金を投じて，今の様な事をやる以外ないと考えて居りますが，この様な事ぐらいならば日本政府においても出来るじやないかと私は期待しておる次第であります。

なお，東北自体と致しましては，農業地帯でありますから，未開墾地の開拓，あるいは酪農事業の奨励等によりまして東北を良くする，それにはやはり農事電化を促進するという様な事，又東北に特有な事業を持つ必要がある。そういう事の為にはいろいろ我社におきまして調査会を作り，企画部を中心にいろんな研究をやつて居ります。電源の事は勿論地下資源がどの程度にあるか，あるいは交通運輸関係がどうであるかという事の第1歩として港湾施設がどうなつておるか，あるいは又東北の農業としてはいかなる肥料をどの程度に必要であるかといつた様な調査会を今やつて居ります。この中の3つはすでに完成しており，最後に申し上げたのはおそらく，この1月あるいは2月には刊行物として出版される事を期待しておる次第であります。

以上いろいろ申しましたが，この29年度はどう考えても非常に重大な年でございます。4等国，5等国に転落する事を望まれる方は1人もないはづであります。どうしても再建やらんけりやいかん。こういう年でありますから皆さんにおかれましては，一層健康に御留意になり，今後ますます会社の為に，東北の為に，日本再建の為に御奮斗されん事を切にお願い申しまして年頭の御挨拶と致します。

各支店長メッセージ

青森支店長
中黒秀和



皆さんお目出度う御座います。

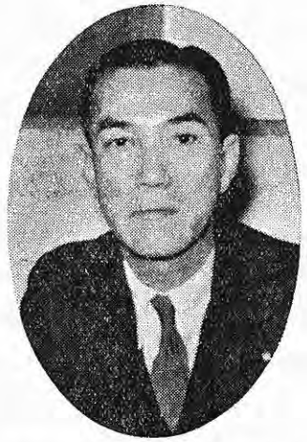
北の国青森はすつかり雪に蔽われて銀世界でありますが，折から太陽にてりはえて美しい清々しいお正月で輝かしい我が社の前途をことほぐ如くであります。

我が青森には県西電力2万キロ，法量7千キロの電源開発の力強い雄叫びが高らかに鳴り響いて居りますが，保守にも営業方面にも我々の為さなくてはならぬことが山積して居ります。之が成就は一に全社員の一致協力に依らねばならぬと痛感致します。

皆さん今年も大いに張切つて行こうではありませんか。

年頭に当りまして，いささか所感を述べまして御挨拶と致します。

岩手支店長
堀居左門



本店並びに他支店，電力事務所の皆様，明けましておめでとう御座います。

只今社長の御挨拶を承りまして，社運の益々隆盛を御慶び申上げますと共に，今後我々の責務の重且大なるものを痛感する次第であります。

さて当支店の管轄区域であります岩手県は皆様御存知の通り，北海道を除いては日本で一番広大なる面積を有する半面，人口が最も稀薄でありまして産業文化等におきましても後進県たるの謗を免がれない現状でありますが，電源開発の面におきましては昨年は葛根田第2，胆沢第1，石羽根の3発電所が完成し，葛根田第1，猿ヶ石第1発電所も本年4月迄には発電の運びとなりますから，以上5発電所で61,600KWの出力が増加致しまして，昨年始めに比し岩手県の発電力が，約倍加されるという躍進を遂げることになるのであります。

これに対応いたしまして当社におきましても，昨年中に北部3県の要望久しかつた15万V送電線の盛岡までの延長，三陸地区に対する6万V送電線の新設改良，盛岡変電所及び2次変電所の新設及び容量増加，盛岡迄のマイクロウエーブの開通等，次々に工事が完成いたしまして，昨年1ヶ年中に岩手の電力設備は面目を全く一新するに至りました。

この莫大なる投資に応えて本年こそは配電設備の拡充を図ると共に，あらゆる部門の電灯電力の販売に我々は懸命の努力を捧げまして，会社の使命達成に努めると共に，岩手の地下に眠れる莫大なる資源を開発し，これに伴う諸産業の振興に寄与せんことを念願といたして居る次第であります。

これをもちまして岩手から年頭のメツセージといたします。

秋田支店長
菅野義三



昔は，金の2～30万円もあれば一財産であつたが，今日では，4～5千万円以上でなければ財産とは云えない。と云うのは2～3百万円では利息生活は出来ない。にもかかわらず，世人（私も含めてゞすぞ）は2～3百万円をば立派な財産であると思つている。之れを税金を逃れながら年2割又は3割位に廻して，仕事もしないで生活しようとすると思うところに間違があるものと思われる。こんな考えでは，保全経済会の如きものに引懸つてその喰物になる外はない。今日，利息生活をするには，高物価，高税金から割り出せば，どうしても4～5千万円位は持たなければならない。所が此の様な金を蓄める事はとうてい出来た相談ではない。つまる所，今日の様に日本が貧乏になつては，所謂「財産」はない，蓄らない財産に頼らない様にする事だ。その代りに「仕事」本意にやることである。これからの財産は仕事であると考える外はない。自分の財産（仕事）を，お粗末に扱うのは余程の馬鹿者以外にはない。日本が金持になるまでは「財産」は「仕事」であつて「金」ではないことを銘記して昭和29年の馬鹿者にならずにやつて行きたいと思つておる。

（私が金が蓄らんからヤケクソで申しておるのではありませんぞ）

宮城支店長
黒部勝

宮城支店から申しあげます。



本店，各支店並びに会津電力事務所の皆様，あけまして，おめでとうございます。

昨年中は大変お世話様になりまして，殊に電源地帯であります福島支店と会津電力事務所の皆様方には，沢山の電力を送つて戴きましてお蔭をもちまして宮城県管内は充分に電力を戴き，明るい一年を過し，又この一年も更に明るい一年になるという事を考えまして深く感謝致しますと共に，建設に当られました各位の御労苦にも，この際深い感謝を申しあげる次第でございます。

当支店管内もこの豊富な電力の供給に対応致しまして，送電設備，変電設備の拡充強化に力を注ぎ，お蔭をもちまして，その工事の大部分は昨年末までに完成致し，今年はその仕上と，更に配電設備の強化，拡充に邁進致したいと存じます。これには先程，社長さんから仰せのあつたような，緊縮財政の折柄で甚だ恐縮でありますが，充分な資金を戴きまして，その代りロスの軽減と電気を高く売る事に力を注ぎますので，格段の御協力をお願いしたいと存じます。

その他申しあげたい事も多くありますが，それよりもこゝで時間が多少ございますので，宮城支店の一同から年頭の御祝儀としまして「さんさ時雨」を一節お送りしたいと存じますが，どうぞ御静聴願います。

山形支店長
藤尾勘之助

皆様，お元気で良いお年を迎えられたことで御座いましよう。謹んで新年をお喜び申上げますと共に，本年も亦ご多幸でありますようお祈り致します。



私，この元旦に県内御需用家の皆様に「ラジオ山形」の「スタデオ」から年頭の御挨拶を致しました。つきましては，或は失礼な仕儀かも知れませんが，その時の録音が御座いますのでこゝに之をお送り申上げまして，本日の御挨拶に代えさして頂き度いと存じます。

皆様，明けましてお目でとうございます。

平素は格別なる御厚情を頂き有難く厚く御礼を申し上げます。

さて我東北電力は創立この方「産業の振興は東北から，東北の開発は電力から」と云うモットーのもとに技術の粋を集め鋭意電源の開発に努めて参りました。その結果当初800,000KWの出力が現在では1,030,000KW余に増加致しました。

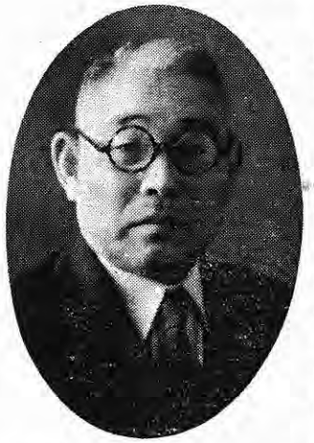
尚，引続き工事中のもの約200,000KW内100,000KWは本年中に出来る予定でございます。

本県関係としては昨年東田川に出力60,000KWの八久和発電所建設に着手致して居ります。かくして東北は名実共に電源地帯と相成り，本年はこれら豊富な電力を充分にお使い願いたいと存じて居ります。そのために只見川電源地帯から酒田まで150,000V送電線の建設を始め変電所の増設等を計画して居ります。幸い各位の御支援に依りこれらの計画が実現致しました暁には，御家庭は申すに及ばず工場の拡張に県総合開発の進展に，或いは工場の誘致等につきまして相当お役に立ち得るものと確信致して居ります。

何とぞ皆様の御理解ある御支援をお願い申す次第でございます。

年頭にあたり簡単ながら所懐の一端を申し述べて御挨拶と致します。

福島支店長
尾崎胖三



福島支店の尾崎で御座います。

連綿幾久しき昭和の栄光と希望に満ちた29年の新春を迎えますに当り，各位の一層の御健康と御多幸を祝福すると共に，過去一年を回顧し，更に希望と覚悟を新にして，此の年を進み度いと存じます。

昨28年度に於きまする当福島支店の実績は，需用者渡の最大電力16万KW，此の総供給電力量は10億5千万KWHでありまして，前年に較べ13%の増加を示し，料金収入に於ては，29億円を算しました。此の間近年稀なる冷害に遭遇し，凶作と経済の変動等幾多の困難を予想せられたにも拘わらず，小型機器其他小口需用の開拓著しいものあり，集金も亦依然として好成績を示したのであります。

本年度に於きましては，先ず第1に開発さるべき只見川電力の大半を福島県即ち当支店管内に於て消化せしむる如く積極的に努力すること。

第2には中小企業の育成を目途とし一般需用の開拓を計り，需用構成の高率的売電政策を更に積極的に遂行し，営業収入の増加を図り，会社経営の強力なる基盤を築く。

第3，諸設備の進歩的合理的改廃，電圧の改善，損失の軽減を図ること。

第4，独占事業の感覚を廃し，需用家サービスの向上を図り，親しまれる電力会社とする。

第5，健康の増進をはかり，病気欠勤者の皆無を目途とし最も明るい職場とする。

第6，以上を綜合して明朗闊達なる支店と

する。
等の目標に向つて邁進致し度いと存じます。

今や日本自立経済樹立達成の為めに，朝野を挙げて邁進するの時，幸にして資源に恵まれたる管内福島県を電力使用のモデル県たらしめる様小口需用は勿論各種の産業工場を誘致し，東北の京浜地方たらしめたいと念願するものであります。

「のびゆく東北電力」社運興隆の拠点，福島支店の使命亦重大と云わねばなりません。此の事を想う時，当支店のモツトーたる和を以て第一義とし協力一致共存共栄の実を挙げ，以て電気事業の飛躍発展えの一端を担いたいと思う次第であります。

些か所懐の一端を述べて年頭の挨拶と致します。

新潟支店長
大越茂利人



先ず以つて新年御目出度御座います。

此所に皆様と共に国家の安泰と社運の隆昌を御祈り致します。

偖て本年の経済状勢が如何なるのであろうか，誰れもが一番関心を持たれる事と存じます。私は若し買物をするのに手下げの中に御さつを一杯入れて出掛けなければならない。そして手下げの中に納まる程の品物しか買つて帰れないとしたならばどんなにか厄介な事でしよう。之れでは金が多い程厄介な事になる。こんな馬鹿気た事が有り得ないと思いますが，有つたら大変です。何んとか金が少なくとも品物が沢山買える様にしたいと思う。それには全国民が一致協力して生産に励げみ，物資を豊かにする事こそ唯一の道と存じます。御共鳴頂けましたら方外の悦びであります。

では本年も何卒宜敷お願申上げます。

会津電力事務所長
鈴木憲郎



明けましておめでとうございます。会津電力事務所よりの御挨拶を申し上げます。

昨年は当管内に於ては，只見川筋宮下，柳津，片門の3発電所の完成によりまして当管内の発電力は一躍12万KW増強されて合計42万KW余りとなり，当社総出力の4割強を占めるに到りました。今年は更に之に加えて上田，本名の両発電所合計9万4千KWが完成をみる予定でありますので，その暁には52万KWとなり，之が運営を担当致します私共の使命が益々その重大さを加えてくるのを痛感する次第でございます。

之れら尨大な電源を能率よく運営する為には，先ず私共の技術の向上が絶対に必要であると考えます。新設される設備の機械化に比べて，之を運営する私共の頭と技術が必ずしも之れにマツチしていないのが現状でありますので，私共は先ず頭を切り替え，従来やゝもすれば敬遠しがちであつた機械化設備を充分使いこなすよう，研究と努力を続けなければならないと考える次第でございます。

次に，阿賀野川，只見川の綜合運営について申し上げますが，吾が国にも余り例のない一つの川を連続して階段式に開発された9つの調整池群の高能率運転の問題があります。之れは，昨年柳津，片門両発電所の運転開始した時から7つの調整池群の間で実施していることでありますが，尚研究すべき問題が残されております。

更に，昨年完成しました電力気象観測所とも云うべき若松測候所と，只見川の水源池尾瀬原に設置された尾瀬原無線局を活用して，電源只見の水のエネルギーの最高度の利用を計らなければならないと考えておる次第でございます。以上をもちまして，私の考えの一端を述べ新年の御挨拶と致します。

新中央給電指令所の設備と使命

中央給電指令所　郡　司　竹　次

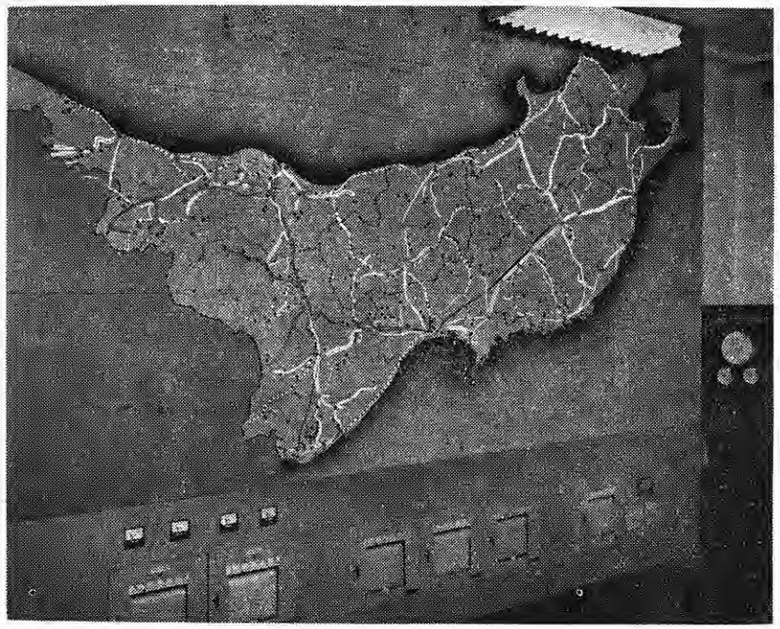
新施設について

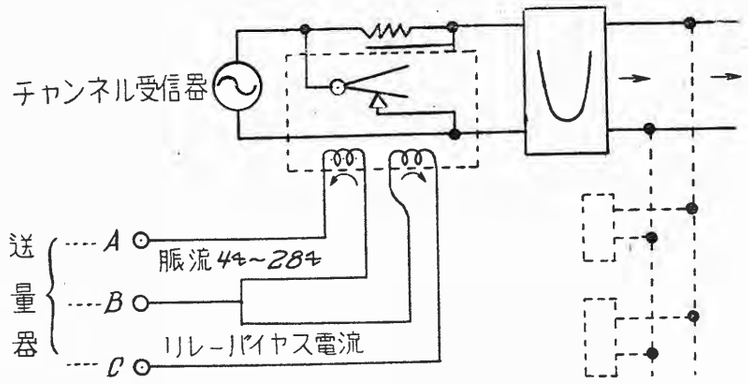
東北電力の中央給電指令所は去る昭和28年11月29日，分館木造建物より分館裏門側中央通信所の2階隣りに引越した。今迄の木造と異なり鉄筋建となり本建築としては本店第1号となつたわけである。特に其の使命上から耐火的方面には充分の考慮を払い7月に起工し総計費320万円を以つて完成した。

申す迄もなく，中央給電指令所が我が東北電力の中極神経としてその強化は末端の需用家迄のサービスを含むものであり直接に我が社の利益を代表すると申しても過言ではない。我が社の電源開発は急速に進行し且又送電々力系統も益々長なり，それにより愈々複雑化しつゝあり，この長大なる送電系統の維持運転は，下部機構として管下に9ケ所の給電指令所と，更に9ケ所の下部機構である12ケ所の給電所を持ち，全管内237ケ所の水火力発電所を連繋せる送電系統を中央給電指令所に於て統轄している。対外的には東京及中部電力株式会社間の媾通送受電電力に対する複雑なる通告をなし，通告履行の為の発電所の指定切替を指令し対内的には系統の周波数電圧を規定に保持して需給関係に発変電所及送電線路の停止に一糸乱れぬ統轄をなし完全なる需給をせねばならない。且又事故発生の場合には速やかに系統を復旧せしめる。この為には系統を正確に常時把握している給電所が迅速に適確なる指令に依る外はないのである。中央給電指令所は斯る諸施設を動員して大局よく能率的に設備の機能を充分に発揮し，効果的運用を計る使用をもつものである。

随つて効果的運用の為の施設は電力系統の運転状態を指令者に正確に知つて貰わねばならない。此の為には各種の給電装置を必要とする。新築された中央給電指令所の設備としては，これ等の目的に副う様に計画され，近代的設備を備え且又今後の系統拡大に備える可き準備も完了しているわけである。給電装置としては，給電盤，テレメーター，指令台，周波計，モニター標準時計等であり以下若干の説明を加えて見る。

(1) 給電盤，大局の構図に依り地理的に発電所，及送電線路の分布を示し，150KV系と60KV系に主体を置き，色分けして今後の送電線路の新設改廃にも自由に書替えられる様な便宜な方法とした。そして重要なる系統の切分箇所については，母線各スキツチが現在入つて居るか否かを表示するランプを備え系統切分前後の状態を正確に表示灯により分る様にした。更に接地事故に備えるため各所のリアクトルタツプを明示し送電系統の切分による充電





々流が適正タツプに補償されて居るか否かを知る方法としてタツプ板を設備した。

(2) テレメーター，テレメーターとしては，二種類を現在設備してあり，電子管式帯型記録計及熱電型電力遠隔測定装置である。

電子管式は中央給電―会津開閉所間遠隔測定装置であり，送信装置及受信装置は富士電機製に依るもので電子管記録計は大倉電機社製である。此の方式に依る装置は日本でも最初のものである。送信装置は衝流変調方式を用い，例えば電力，電流等の変化に応じて送量器より，4サイクル～28サイクルの電流を発生する。

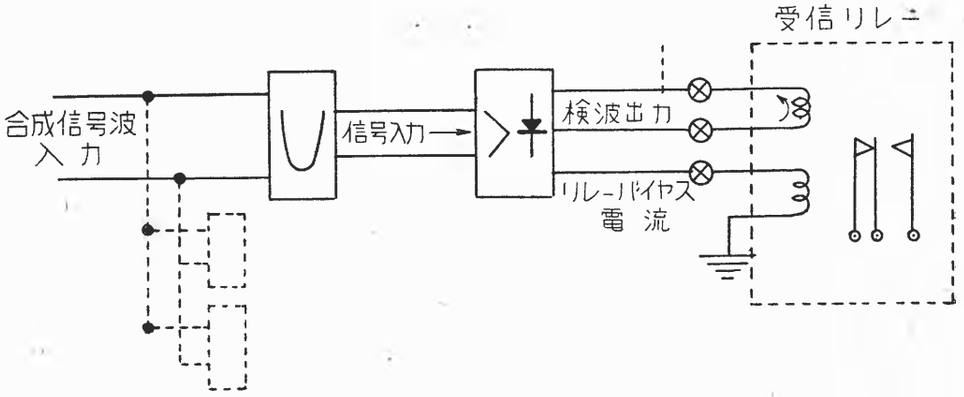
この周波数で搬送系送信装置の送信器盤の有線リレーを動作させると，リレー接点はチヤンネル搬送波を断続するから，送り出される搬送波は4サイクル～28サイクル矩形波で変調断続される。測定要素の数に応じたチヤンネル数を使用しチヤンネル送信濾波器によつてそれ等の搬送波を結合した上そのまゝ或は所要の周波数帯域に変調し送出する。受信側では送られて来た信号波を直接或は周波数帯域に復調した上で，チヤンネル受信濾波器を以つて夫々のチヤンネルに分離する。各チヤンネル搬送波は矩形波で変調され検波して元の4サイクル～28サイクルの矩形波を取出しこれを受量器の有極リレー（受信リレー）に送り，リレーの接点を断続させると，その断続回数に応じてメーターが振れ或は記録計が動作する。

この方式では受量器の指示は受信リレーの断続回数のみによつて定まる。検波出力波形には極端に歪まない限り左右されないから線路の特性に影響されず信号対雑音比も低くとることが出来るので搬送系による計器の指示誤差も殆んどないものと見られる。

この方式により，会津開閉所→中央給電指令所の受量計器として，

阿賀野川	1号線指示計及1号,2号	の綜合指示計及計量
阿賀野川	2号	同上
只見幹線	1号線指示計及1号	綜合指示計及計量
〃	2号線 〃 及2号	綜合指示計及計量
東北幹線	指示及計量	
磐梯線	指示及計量	

以上の施設は最も近代的なものであり，一々電話に依り現地に確認の要もなく潮流は直接図に依つて見られ系統の安定上に大きな役目をして居る。北上幹線に使用して居る熱電型電力遠隔測定装置は目下の処比較的近距離のものに適し仙台変電所―中央給電所間に利用されて居るが熱電型であり，電話線を利用する関係上抵抗に依る誤差も若干は免れない。



今後の給電は要所の潮流及び電圧は総てマイクロに依るテレメーター時代を経て更にテレビに依る現像時代になるものと予態され，如何にして損失を減少するか，最も能率的なる運用をするかが課せられた使命であろう。

(3) 指令台

指令台は御承知の通り各指令所間に直通の独立通信回線を持ち，有線，搬送，マイクロ，自仂公衆電話，等総ての通信回線を入れてあり給電指令の為にのみ常時確保されてある。指令は総て電話に依るものであり，通信の良否のよつて系統が安定か混乱かするので待つたなしの給電操作の為完全なる指令台を設備してあり，全国の各社指令台に比し決して劣るものではない立派なものである。

(4) 周波計

周波所は系系全体が健康体であるか否かを表示するバロメーターであり，発電力が多い時も減少した時も何時も50サイクルであることを念願して止まない。50サイクルが年間を通じて変動しない立派な商品であり度い。

自信のある商品は50サイクルを何時も保つことであり，豊水の月あり，渇水の月あり，変電力と負荷のバランスが正常か否かに依り波は正直に動くので一刻も目が離せない。給電所を訪れる方も沢山あられる。先ず真先に彼女が50サイクルであるか否かを見て，我が東北電力が健康体であるか，どうかを知つて越くと共に，日夜一刻もゆるがせにせず彼女の顔を穴のあく程見結めて居る指令所の苦心もしのばれ度い。

(5) 通信線

中央給電指令所は斯る使命より動くものであり通信の確保こそは生命線である。従つて日夜この通信回線の平常化に努力して居られる中央通信所及び管下各通信所の方々に対し敬意と感謝を捧げるものである。

(終)



第1回全社圍碁將棋大会開催

個人・團体賞とも新潟支店トツプ

第1回全社圍碁將棋大会は1月24，25日の両日，白雪の蔵王山を仰ぐ遠刈田温泉に於いて行われた。本店，名支店，会津の各店所から選ばれた強豪碁將棋名5名，24日午前9時，労務部次長の開会の辞に続いて，大会副会長黒部宮城支店長の挨拶があり，審判者として上田4段，斎藤5段の挨拶，宮城支店の森川3段の選手宣誓があつて開会式を終つた。引続いて試合の火蓋は切られ，熱戦2日に亘る対局が碁は村上旅館，將棋は玉屋旅館に於いて行われたが，結果は別表の通り新潟，宮城が断然強く，25日見山宮城支店次長の賞品授与によつて幕を下した。

団体賞（圍碁の部）

1位	新潟支店	
2位	宮城支店	
3位	本店	

（將棋の部）

1位	新潟支店	
2位	宮城支店	
3位	福島支店	

個人賞（圍碁の部）

1位	新・長営	白浜正一治郎
2位	福・福営	藤城鶴三
3位	新・支	中山村正之
4位	青・青営	中井典
5位	山・支	酒

（將棋の部）

1位	新・新営	小林稔
2位	新・高営	草間源之進
3位	宮・仙営	山田正憲
4位	青・八営	南由蔵
5位	新・新営	石田六郎

第1回全社圍碁將棋大会総合得点表（圍碁の部）

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	会津	本店	得点	順位
青森	★	○	○	×	○	○	×	○	×	5	4
岩手	×	★	×	×	×	×	×	○	×	1	8
秋田	×	○	★	×	×	×	×	○	×	2	7
宮城	○	○	○	★	○	○	×	○	○	7	2
山形	×	○	○	×	★	×	○	○	×	4	6
福島	×	○	○	×	○	★	×	○	×	4	5
新潟	○	○	○	○	×	○	★	○	○	7	1
会津	×	×	×	×	×	×	×	★	×	0	
本店	○	○	○	×	○	○	×	○	★	6	3

第1回全社圍碁將棋大会総合得点表（將棋の部）

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	会津	本店	得点	順位
青森	★	○	○	×	○	×	×	○	○	5	4
岩手	×	★	○	×	○	×	×	○	×	3	7
秋田	×	×	★	×	×	×	×	○	×	1	8
宮城	○	○	○	★	○	○		○		6	2
山形	×	×	○	×	★	○	×	○	○	4	5
福島	○	○	○	×	×	★	×	○	○	5	3
新潟	○	○	○	○	○	○	★	○	○	8	1
会津	×	×	×	×	×	×	×	★	×	0	9
本店	×	○	○	×	×	×	×	○	★	3	6

電圧改善について

―― 系統電圧はどの様に改善されて来たか ――

給電課　柳田正治

戦後全国的に電圧低下が甚しかつたことは周知のことであるが，当社の系統に於いても，140KV 系で 120 KV～130KV，又60KV 系で 50KV～58KV という状態がしばらく続いたのである。しかし現在の系統電圧は非常に改善され，電圧上昇の点で又変動の少い点で恐らく他の電力会社に比較しても最も良い電圧状態を維持していると云うことが出来ると思う。この様に電圧が改善されたのは，電圧改善の要素と目される

1. 調相機器の設置
2. 潮流改善
3. 系統の運転方法の改善

等三つの事項が並行して実施されて来た結果である。云うまでもなく調相機器の設置に依つて直接的に電圧は改善されるが，これだけでは経済的な解決が得られない場合が屢々であり，需用が増加して系統全般に線路が無理な送電をしている結果電圧低下を生じている時は，当然潮流改善が伴わなければ，著しい電圧改善は不可能である。更に電圧改善のためには，無効電力源としての発電機及変電所の調相機器の合理的な運用が必要なことも強調されなければならない。再編成後，調相機器の設置及び潮流改善等の設備の増強と共に，系統の無効電力源の運用にも大いに意が注がれて来た。しかし其の効果は直ちに得られるというものではなく，給電面からの不断の監視と，現場運転員の努力の結果として得られるものである。以下電圧改善に関連して之迄実施された事柄について，先づ系統の運転方法の改善から述べてみよう。

1. 系統の運轉方法の改善

従来系統電圧が甚しく低下していたことは前言の通りであるが，設備上のネツクは別として，電圧の上昇を阻害していた原因を検討して見れば

(1) 周波數の變動が甚しいこと

従来は供給力の不足のため，或いは負荷調整に不円滑なために，昼間及び初夜には甚しくサイクルが低下し，昼休時及び深夜には逆に50～を上廻るという状態であつた。サイクルは低ければ低いなりに，又高ければ高いなりに余り変動が無ければ，電圧上昇の対策も出来るのであるが，変動が甚しいときは根本的に電圧上昇を阻害する。

殊に R.C. が少く S.C. が多い当社の系統ではサイクルに依つて電圧は相当影響を受ける。

(2) 發電機の無効電力の發生が充分出來ないこと

当社の系統の様に，各地区の２次系統以下に発電所が散在している場合，その発生無効電力を利用調整することに依つて調相設備の不足を補い得る筈である。しかし従来発電機の無効電力が充分発生出来なかつた原因は何処にあるかと云うと，

イ．安 全 運 轉

サイクルの変動に依つて，発電機母線電圧も変動し，従つて電流も動く。発電所の運転員としては発電機容量の定格一ぱいで運転するためには，電流の動く毎に励磁を調整しなければならないので，此れが頻繁に過ぎると，電流を減らした状態で，サイクルが変動しても最大電流（或いは許容電流）を超過しない様にして置く傾向となる。即ち安全運転をするのである。全発電所がこういう運転をするから発電機の無効電力は非常に多く利用されないでしまうのである。

ロ．変圧器タツプの不適正

深夜サイクルが高くなるので母線電圧も上昇し，従つて主要変圧器のタツプも深夜の電圧に合せておくから，昼間に系統電圧が低下した時は，母線電圧も下り，発電機は定格容量以下で運転することになる。即ち発生無効電力が減少する。従つてこれを逆に昼間に発電機が無効電力を最大に発生出来る様にタツプ電圧を設定して，その代り深夜に電圧が上り過ぎるのを抑制すれば，発電機の無効電力は系統で最も必要なとき有効に利用出来ることになる。

(3) 變電所の変圧器タツプの不適正

昼間の系統電圧が低いから変電所では，発電所と逆に変圧器の１次側のタツプ電圧を昼間の電圧に合せて出来るだけ低いタツプを使用するという傾向になる。これは需用家の変電所に於いても又配電線の柱上変圧器も同様である。この事は殊に山側に於いて無効電力が不足し系統電圧が低下している時は，いたずらに２次系統以下の無効電力の吸い込みを大きくして幹線電圧を低下させる原因となる。

(4) 無効電力監視裝置の不足

発電所に指示又は積算無効電力計が取付けられている所が少いから，発電所では運転員の努力が記録に残らず，又変電所でも無効電力の潮流が把握出来ないので無効電力の調整に無関心になることが多い。

この様に検討した結果採られた電圧上昇のための具体的な対策は，次の様なものである。

(1) 周波數の安定化

サイクルを出来るだけ一定にして，発電所側で安心して最大電流まで出せる様にした。第１図に依つても最近のサイクル変動が小さいことが分る。

(2) 発電所の運轉にいて

イ．主要變圧器タツプ電圧の適正化

最も電圧条件の悪い昼間の尖頭時に，発電機が定格電圧，定格電流（又は許容電流）に保てる様に，即ち無効電力を最大に補給出来る様にタツプ電圧を定めた。

ロ．無効電力の調整

昼間は各発電所が定格容量で運転することを目標にし，深夜は電圧調整発電所と指定した発電所（給電指令に依つて調整する）以外は運転力率を 100 %に近くして深夜電圧の上り過ぎを抑制した。

ハ．無効電力の分擔

発電機の無効電力の利用は，２次系統の発電所に重点を置き，１次系統の発電所の無効電力の負担をなるべく少くする様にした。これは，無効電力源としては相対的に里側にある方がより一層効果が大きいからである。

(3) 變電所の運轉について

イ．變圧器タツプの選定

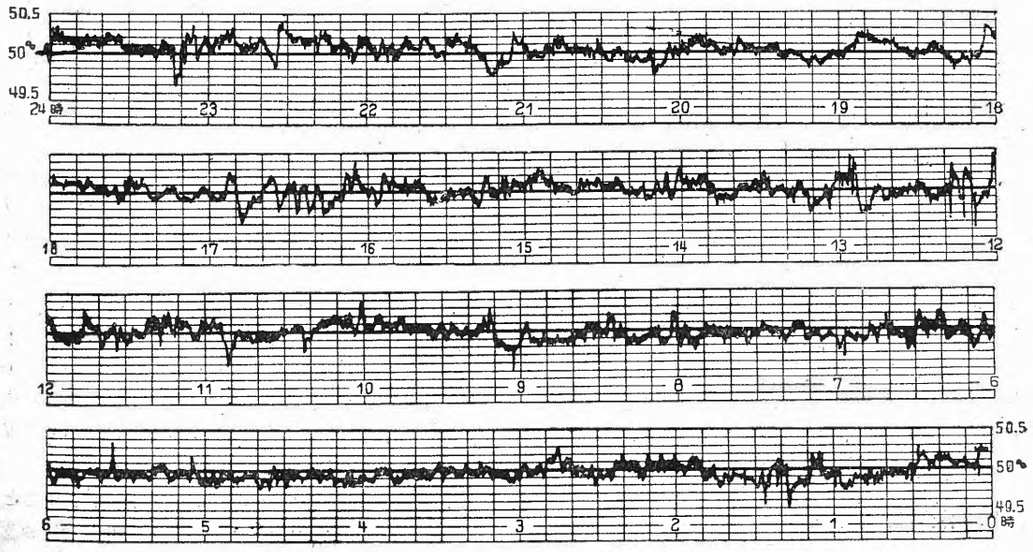
主要変圧器の１次側タツプは，大体その系統の昼間平均電圧に合せて選定し，適当なタツプが無い時はむしろ高目のタツプを，即ちタツプ比を大にする様にし，系統電圧が改善されるに伴つて，タツプもそれに合せて変更して来た。例を１次変電所について示せば次の通りである。（２次変電所及配電用変電所も同様に変更している。）

變電所名	使用タツプ電圧
仙台變電所（99MVA）	147/66KV 現在154KVのtapを取付中
盛岡變電所（66MVA）	147/66KV　變更なし
東新潟變電所（66MVA）	147/66KV→154/66KV 28年６月變更
長岡變電所（42MVA）	145/66KV→151/66KV 28年７月變更
日和田變電所（75MVA）	147/66KV→154/66KV 28年６月變更
平變電所（50MVA）	147/66KV　變更なし

ロ．電圧調整の順序

昼間の電圧上昇と共に，深夜電圧の上り過ぎを抑制することは極めて大切である。従つて深夜には発電所は高力率運転をすると共に，変電所の調相設備は，R.C.→S.C. の順序で調整する。この様な調整基準を１次系統の山側から配電用変電所まで一貫して定めた。又配電々圧を一定（但し，深夜と昼間では若干の段階

第１図　系統周波数状況（昭和28年11月17日実績）



をつける）にするためには，誘導電圧調整器の有る変電所はこれで調整することは勿論であるが，無い場合はその系統の２次変電所の調相設備及発電所の調整で出来るだけ一定にする様につとめる。しかしこのために幹線電圧の変動を甚しくすることは出来ないので，この場合は調整に自ら限度がある。

ハ．勵磁KVAの減少

変圧器の稼動を良くし変圧器の励磁に VA を少くするために，台数と組数を出来るだけ少くした。

ニ．柱上變圧器

配電線の柱上変圧器のタツプ電圧についても，主要変圧器と同様な考慮に従つて，機会を見て逐次適正タツプに変更して来た。

(4) 無効電力計量裝置の整備

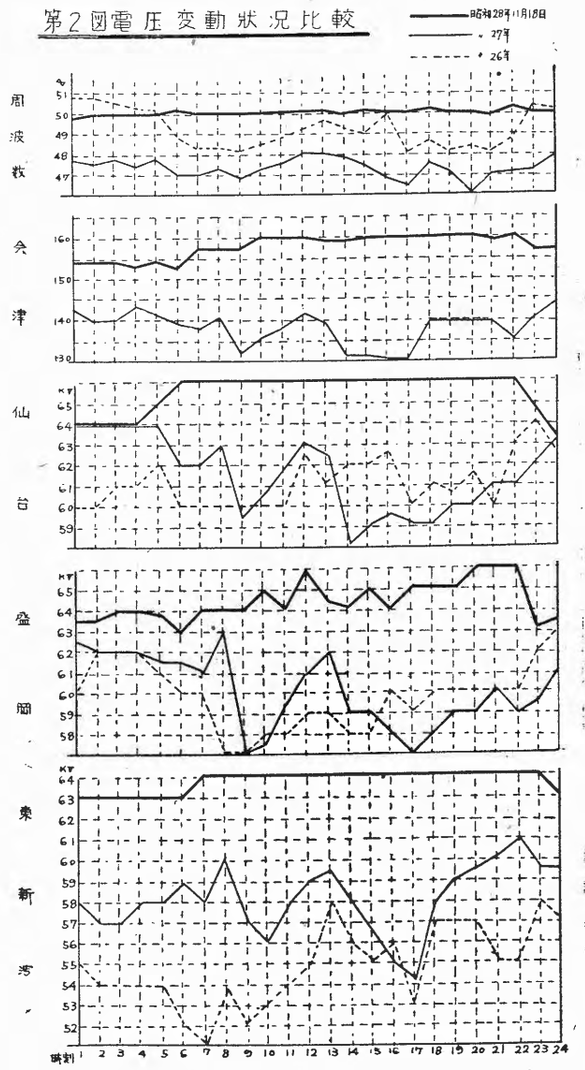
発電機の無効電力及無効電力潮流の監視のため出来るだけ無効電力計或いは積算無効電力計を整備することが望ましいが，早急に実施することは無理なので，単相積算電力計を利用し，その接続を変えて計器の無い発電所及び主要潮流地点に取付けた。

次に，此の様に無効電力の調整を徹底的にやるには，電圧上昇運転期間或いは電圧調整期間を設けて，これを何度も繰り返えし永続的なものにすることが必要である。実際これ迄に，各地点に基準電圧として或る目標を定め，系統を分けて電圧上昇運転を重点的に実施して来たが，その経過の概略を述べれば，

1. 只見川及阿賀野川系の140KV系を主体として南部及西部の 60KV 系を調整（27年７月）
2. 田沢及び十和田の貯水池系を主体とする北部 60KV 系統を調整（27年９月）
3. 全系統を綜合調整（28年４月）
4. 分離系統（佐渡及高田）を調整（28年３月及５月）
5. 局部的に再検討の必要がある系統は，更にその地区だけを調整する。

尚上記の様に実施系統と期間を設定したのは，運転記録その他を詳細に検討する便宜上であつて，期間外と雖ども全系統が同様に実施しなくては大きい効果は挙らない。最近は系統電圧の上昇に伴い深夜と昼間の電圧の調整に主眼を置いて，電圧調整期間として特に調整方法の徹底を計つた。此の結果の実績は第２図に示してある。

第２図電圧変動状況比較



2. 潮 流 改 善

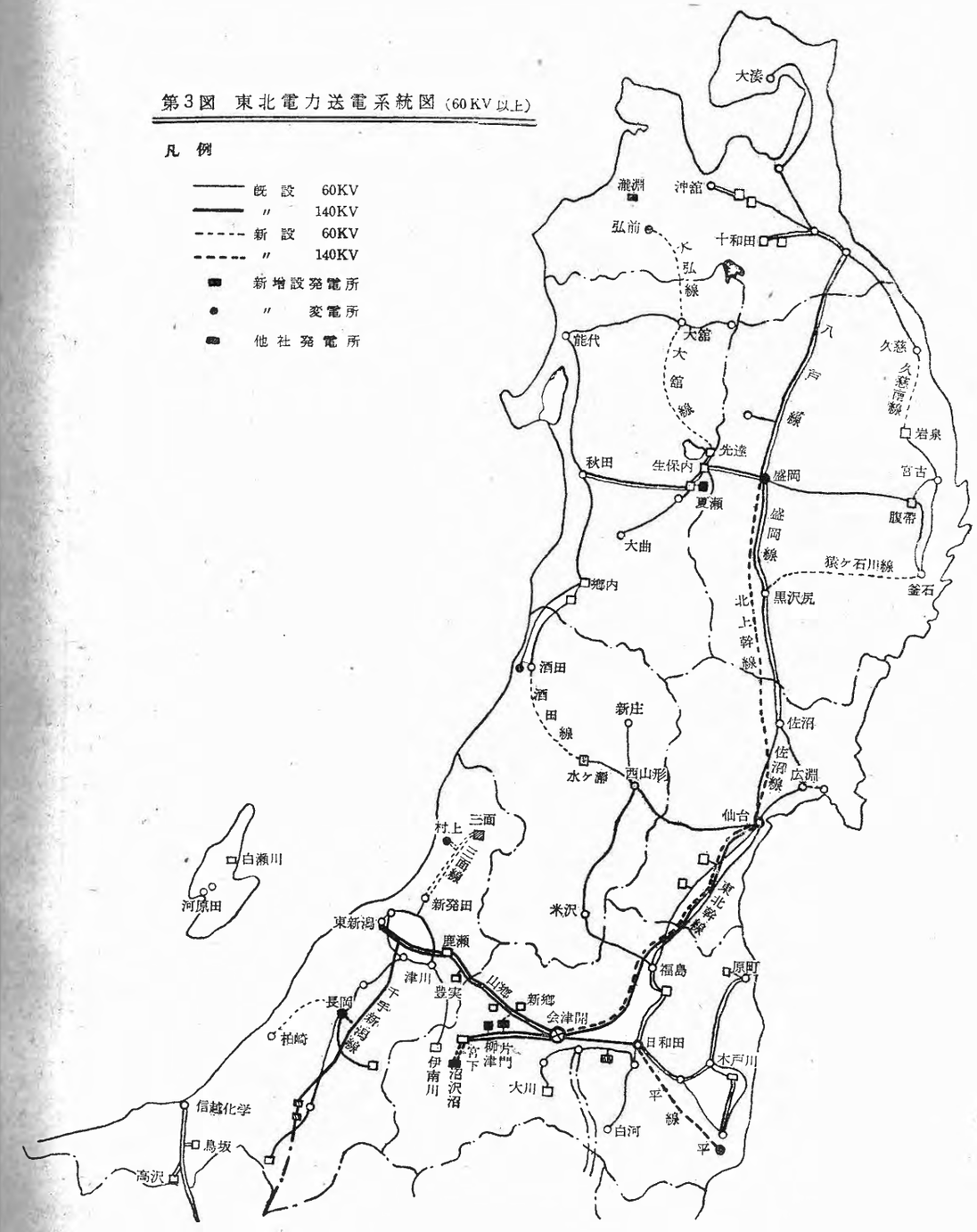
東北系統は面積の広大に比較して従来は１次変電所が少く，その上主要負荷及び２次系統の電源が分散しているため，60 KV 送電線の亘長が極めて長く，需用の増加に伴つて諸処に潮流上のネツクが生じ，送電損失の増加と，電圧低下は著しいものがあつた。従つて潮流改善の基本的な方針として，

1. 只見川系及阿賀野川系の電源と各地区の負荷中心とを夫々 140 KV 送電線で連繋し，60 KV 送電線は極力ローカル線として使用する。
2. ２次系統以下に於いても，地区的な負荷中心と電源とを直接連繋する送電線を増強して潮流の改

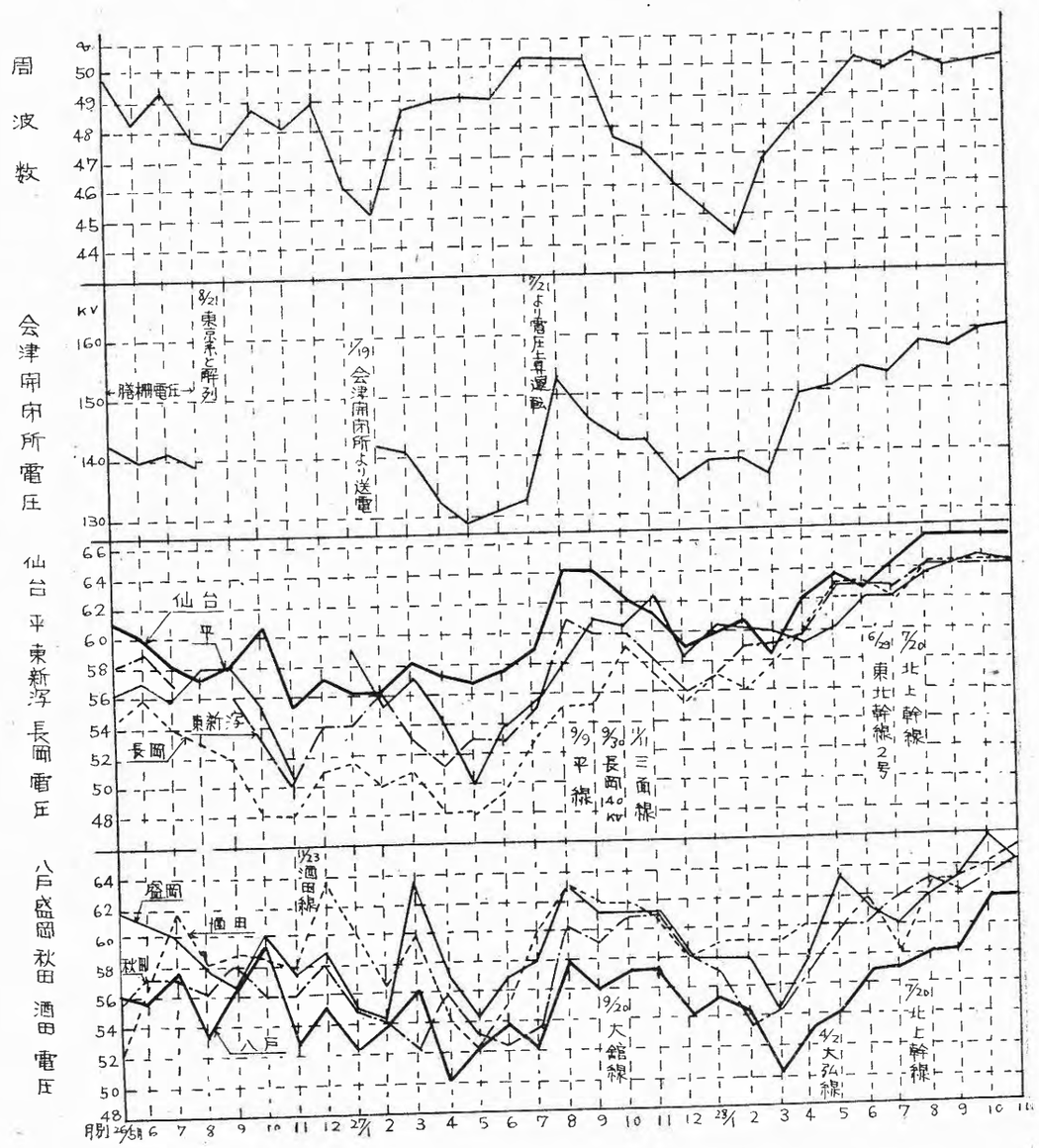
第３図　東北電力送電系統図（60 KV 以上）

凡例

- 既設　60KV
- 〃　140KV
- 新設　60KV
- 〃　140KV
- 新増設発電所
- 〃　変電所
- 他社発電所



第4図毎月第3水曜日午前11時電圧実績（主要地点）



善を計り，又逆潮流は避ける様系統を改廃する。

3. 30 KV 系統は漸次 60KV に昇圧し，変圧器も 30/3KV を 60/3KV に切替えていく。

4. 異系統として分離している 60～ 系統も漸次主系統に吸収し，全系を一元的に運用する。

此の様な方針に従つて実施された潮流改善の主要なものは次の通りである。（第3図参照）

(1) **140KV 系統**

イ．平線及平變電所の新設

鉱山及工場地帯の平地区に，27年9月平変電所 140/60/10KV50,000KVA が完成し，新設平線（140KV,A.C.S.R.160□67 KM 1回線）に依つて送電を開始

した。

ロ．長岡變電所の昇圧

長岡変電所を昇圧して140/60KV 42,000 KVA の変圧器を東新潟から移設し，27年9月千手新潟線から分岐送電を開始したが，従来東新潟から長距離の 60 KV 送電線に依つて供給され，電圧低下の甚しかつた長岡系統は大いに電圧が改善され，現在 64KV を保持出来るに至つた。

ハ．東北幹線の増設，盛岡變電所及北上幹線の新設

28年6月会津開閉所仙台変電所間の東北幹線を2回線に増設し，更に7月には盛岡変電所 140/60/10 KV 66,000 KVA 及び仙台盛岡間の北上幹線（140KV A.C.S.R. 330□1回線）が新設され，系統を縦断する 140KV幹線が略々完成した。この結果従来約200KM の 60KV 送電線に依つて供給されていた北部系統と南部との連繋が強化され，送電損失は激減し，著しく電圧が改善された。

(2) **60 KV 系 統**

イ．酒 田 線

酒田地区と最上川水系の主発電所水ケ瀞を結ぶ酒田線（80□63KM 1回線）が 26年11月新設され，仙台―山形―秋田―盛岡―仙台の 60KV 系統のループ使用が可能となつた。

ロ．大館線，大弘線及久慈南線

青森地区は従来盛岡八戸間の八戸線だけで南部と連繋され，八戸線の過負荷に依つて非常に電圧が低下し殊に末端の青森及び弘前方面は甚しかつたのであるが，田沢湖の電源から秋田北部を縦断し大館を経て弘前に至る大館線（A.C.S.R.160□85KM 1 回線）及び大弘線（A.C.S.R.160□50KM 1回線）が夫々27年9月及び28年4月に新設され，更に28年10月八戸線と平行して太平洋岸に沿う久慈南線（A.C.S.R.160□43KM 1回線）が完成したことに依つて，青森地区は三方面から供給されることになり，電圧は八戸，青森及び弘前共に，63KV～64 KV に改善された。尚大館方面も従来八戸線から分岐する不老倉線と，秋田から能代を経て大館に至る大能線とのいずれかで供給され，送電線回長の長いのと，線路が弱体で電圧も 50KV 前後であつたものが，大館線の新設に依つて大いに改善され，現在は 63KV～65KV を維持している。これらの電圧改善は勿論調相設備の増強に依る効果も大きいのであるが，これについては後に述べる。（大館線の完成後は不老倉線は撤去した。）

ハ．猿 ケ 石 川 線

盛岡線から分岐して釜石に至る猿ケ石川線（A.C.S.R.160□76 KV，一部は既設を昇圧）が，28年10月完成し，既設の送電線とループ使用することに依つて，潮流の均衡が保たれ，電圧も改善された。

(3) **30KV系統の昇圧**

30KV 系統の 60 KV 昇圧は全系統に亘つて実施されているが，27年度以降現在（28年12月）まで，約 115 MVAの変圧器が昇圧されている。

3. 調相機器の設置

変電所に設置されている調相機器は，現在約 256 MVA（このうちR.C. は 39MVA）であるが，電力再編成以後の増加分は約 90MVA で，その内訳は次の通りである。

	R.C. (M.V.A.)	S.C. (M.V.A)
昭和26年度	—	7
昭和27年度	—	49
昭和28年度	15	20
合 計	15	76

（註） R.C.は盛岡變電所に設置したもの

これらの増加設備の大部分は，新潟系統と北部系統（特に秋田及び青森系統）に，前項の潮流改善と並行して設置されたものである。即ち新潟系統について云えば，電力再編成前から電圧低下が重要な問題となつていた系統で（長岡方面で当時45～50KV），このため紫竹及新潟の両変電所に S.C. 25 MVA を設置し，同時に 60KV 送電線の系統整理（大川系と分離）と 140 KV 系統からの受電設備を 30 MV A増加したのであるが，再編成後更に長岡変電所を140KVに昇圧すると共に，S.C. を系統の各所に 30 MVA 増設したもので，新潟系統の電圧は現在全般に 64KV を維持している。（この系統に於いては変圧器タツプが 63KV 以上のものを持つていない変圧器が多いので，現在は之以上の電圧上昇が出来ない状態にある。）又北部系統は60KV 系統の潮流改善及び 30KV 系統の昇圧を大幅に実施し，S.C. もこれに対応して，秋田，大館，弘前，青森及び八戸の各地点に合計 35 KVA を増設した。北部でも現在 63～65KV 程度に改善されている。

次に田沢湖及十和田湖等の貯水池式発電所は，豊水期には殆んど尖頭時だけ発電するので，他の時間は調相機運転をし，自流式発電所の無効電力が制限されるのをカバーして相当の効果を挙げている。この様に調相機運転の可能な発電機は，上記の両貯水池系を含み全系で 104MVA である。

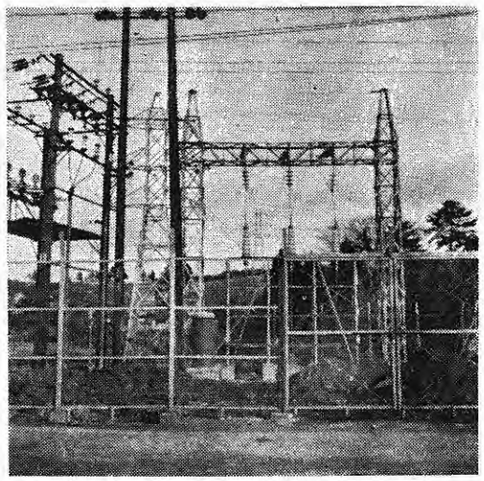
系統電圧が実際どの様に改善されて来たのか，以上に概略を説明した。再編成後の系統電圧の推移は第4図の通りで，これは最も電圧条件の悪い午前11時の実績であるが，徐々に向上しつゝ現在に至つていることがはつきり分る。

60KV仙台北送電線 OF ケーブルについて

電気部送電課　田 中 鐵 太 郎

仙台市周辺に於ける電力需要は戦後急激に増加し特に 20KV 系による主要供給設備は行詰りの状態となり之が抜本的対策として仙台市周辺電力供給設備増強計画が樹てられ既設 20KV 系の土樋変電所，鍋田変電所の 60KV 昇圧工事が今28年９月迄に完成した。

一方仙台市中央並北部の供給源に当る大町変電所，堤通変電所の 60KV 昇圧については以前より種々検討せられて来たが市街地の一部に地中線に依らねばならず今後の課題として残されて居た。今回堤通変電所の 60KV 昇圧に際し，宮城野変電所と堤通変電所を結ぶ 60KV仙台北送電線の一部，市街地に 60KV3 心 OFケーブルを採用し，今秋11月当社初めての架空線，地中線からなる 60KV 送電線を完成堤通変電所の 60KV昇圧工事を完了した。次に今度採用された60KVOFケーブルについて其の概要を記す。



荒巻側架空，地中線接続地点

1. 概　　括

此の60KV3 心 OFケーブルは最近海外で125㎟ 250㎟ 325㎟ 等の例があるが，我国では，27 年東京電力株式会社日比谷変電所と淀橋変電所間に採用された以来，当社仙台北線が第２番目となるもので製作者は住友電気工業株式会社である。

電　　圧　　60KV
区　　間　自宮城野変～至堤通変電所
亘　　長　架空線　9.1 KM
　　地中線　0.84 KM
回 線 数　１回線
地中線種類及太さ　150㎟ × 3 心二重鉛被鋼帯鎧装OFケーブル
埋設方式　直設埋設（コンクリートトラフ使用）
給油方法　重力，圧力，給油併用

2. OF Cable の構造

構造の１例はFig1. 及びFig2 の通りである。

項　　目		単位	数　　値
公称断面積		mm2	150
導体	計算断面積	〃	153.7
	構　　成	mm	37/2.3
	形　　状		円　型
絶縁厚原		mm	8.0
遮蔽銅テープ厚		〃	0.1

油通路径	mm	13.0
バインダー銅テープ	〃	0.1
内部鉛被厚	〃	3.5
紙テープ厚	〃	0.4
補強真鍮テープ厚	〃	2×0.2
防蝕層厚	〃	2.0
外部鉛被厚	〃	2.9
座床ジュート厚	〃	2.0
鋼帯厚	〃	2×0.8
サービングジュート厚	〃	2.0
ケーブル外径	〃	10.8
重量	Kg/M	35.5
ケーブル単長		155M×1，150×1 153〃×3，121×1

Fig. 1

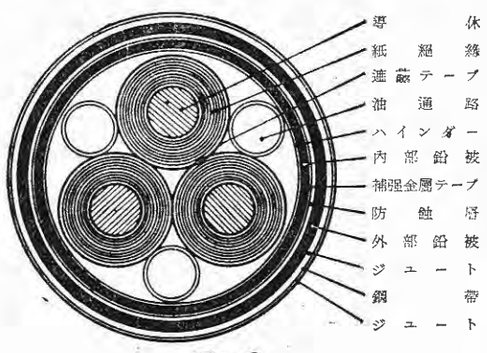


Fig. 2

3. Cable の特性

1）誘導体力率

20°C～80°Cに於て導体と鉛被間に 66KVの$1/\sqrt{3}$ 並びに$2/\sqrt{3}$の電圧を加え測定した結果は Fig. 3. 4. 5. に示す。

電圧　＼　温度	33°C	50°C	70°C	90°C
38 KV	0.264	0.236	0.226	0.226
57 KV	0.261	0.246	0.236	0.241
76 KV	0.271	0.261	0.251	0.256
95 KV	0.296	0.283	0.266	0.271
設計條件	20°C～60°C 80°C		0.5 以下 0.6 〃	

Fig. 3

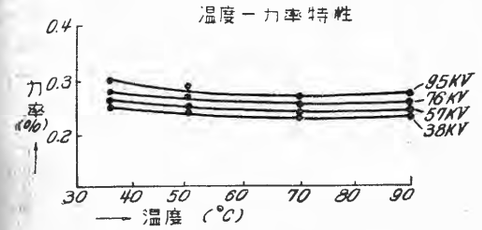


Fig. 4

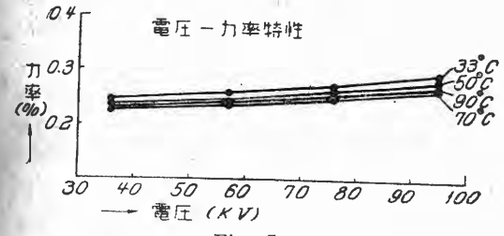


Fig. 5

2）導体抵抗

20°C　実測平均 0.1123Ω/KM
〃　設計条件，許容最大値 0.119Ω/KM
80°C, 50C/S　A.C.　導体抵抗　Rc
Rc＝0.1123×1.236×1.006＝0.140Ω/KM

3）絶縁抵抗

Cable 内外鉛被間に D.C　100V
１分間荷電後
直偏法による測定　54.200MΩ/KM　20°C
設計許容最小値　0.1MΩ以上

4）静電容量

実測平均　0.290μF/KM/1心

$$C = \frac{K}{2\log_e \frac{b}{a}} \times \frac{1}{9} \mu F/KM$$

5）リアクタンス

$$X = \omega\left(2\log_e \frac{2D}{a} + 0.5\right) \times 10^{-4}$$
$$= 0.102\Omega/KM$$

6）インピーダンス

$Z = 0.140 + J0.102$
$= 0.174\Omega/KM$

7）誘導体損失３心当り

$Wd = 3\omega C((E/\sqrt{3})^2 \tan\sigma$
$= 930W/KM$

8）電流容量

布設条件	布設方式	直埋式
	導体許容温度	80°C
	土壌基礎温度	25°C

計算による電流 I は次式より求める。

$$I = \sqrt{\frac{1}{nRC}\left(\frac{T_1 - T_2}{R_{th}} - Wd\right)}$$

但し　n：　線心数
　　Rc：　Cable 最高許容温度に於ける 1cm 当りA.C. 実効抵抗Ω/KM
　　T_1：　Cable 最高許容温度 C°
　　T_2：　基底温度 C°
　　R_{th}：　全熱抵抗
　　Wd：　Cable 1 cm当り誘電体損失
∴　I＝400A（1ct の場合）40,700KVA

9）長時間耐圧試験

10m の試料により鉛被，導体間に 95 KV 6 時間荷電の上引続き３時間毎に10KV宛昇圧荷電し，2.5 KV 荷電後45分で end より３mの所が破壊した。Fig6. 7.は工場にて実験した状況を示す。

4. 給油系統

OF Cable 系統の設計には給油系統の設計が重要であつて給油区間，給油方式，Cable 鉛被厚等を決定するものである。

今度の仙台北送電線 Cable 区間の Profil は Fig 8 に示す如く，比較的平坦地で且つ亘長も短いので油止接続を使用せず Joint はすべて normal Joint を使用した。又，Fig 9 は給油方式の決定に当つての比較表である。

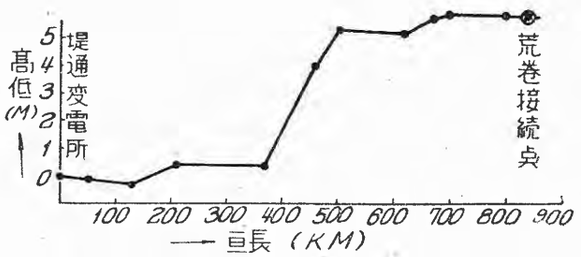


Fig. 8

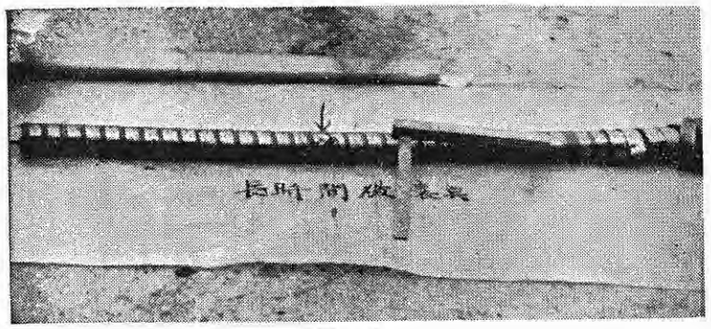


Fig. 6

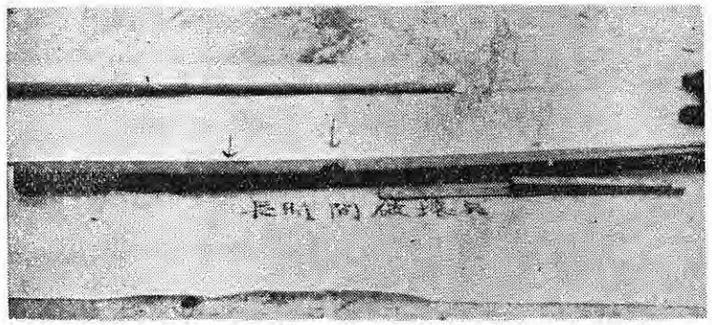


Fig. 7

給油種別	設置場所	ケーブル許容最高油壓	給油槽設置數	ケーブル鉛被最小厚	經濟的順位
P	堤通變にのみ設置の場合	Kg/cm² 2.0	機能不		
		2.5〃	〃		
		3.0〃	40セル×7ケ	4.8mm	5
T	荒巻接續点にのみ設置の場合	2.0〃	機能不		
		2.5〃	40セル×6ケ	4.0mm	4
		3.0〃	〃 ×3ケ	4.8mm	2
	兩端に設置の場合	2.0〃	機能不		
		2.5〃	兩端に各7ケ	4.0mm	6
		3.0〃	〃 各2ケ	4.8mm	3
F.T.	堤通變 F.T. 片端 P.T.	2.0〃	F.T. 7セル×2ケ P.T. 30〃 ×1ケ	3.2mm	1

Fig. 9

即ち給油方式としては，保守上の点も考慮し，堤通変電所に地上14.5Mの Feeding Tank を設置し，Cable 体系全体の油量変化を Feeding Tank にて受持せることゝし，負荷急変時の調整を補ふ為，片端荒巻側接続点に Pressure Tank を設置し，定常時では Feeding Tank の油圧は Feeding Tank との落差で定まる油圧を常に保つ様に動作容量を取り，Cable 内最高油圧（設計許容圧）は 1.8 Kg/cm² とし Cable 鉛被厚 3.2mm で充分耐える様に設計した。

Cable 最高油圧と鉛被厚さの関係は次式より求められる。

$$t = \frac{PD}{2\sigma} \quad (Kg/cm^2)$$

σ：Hoop stress
P：許容油圧（〃）
D：鉛被内径（mm）
t：鉛被最小厚（〃）

次ぎに給油系統の動作特性としては，Cabl 系統に於ける各々の変化は Fig.10 に示す如く約152lとなつた。一方堤通変電所構内に設置した Feeding Tank の特性は Fig.11 に示す如く約110lの有効範囲である。以上の各々の特性からして当初の設計の如く Feeding Tank を2台にして，本系統に対する給油槽の有効油量を 220l とし設計最悪条件時に於ても約65l以上の余裕量を有する様にした。又 OF Cable の事故は絶縁破壊になる前に油圧低下を来す場合が多いので，堤通変電所配電盤に警報発信器を設置し，Feeding Tank より信号ケーブルにより常に油圧状況を指示する油圧指示計と警報発信器とを装置し常に監視出来る様にした。

項目	單位當り油量	數量	合計油量（l）	温度°C 最高	最低	變化	最大油壓變化（l）
ケーブル	1750l/K.M	0.80	1,575	80	5	75	100.0
終端函	80l/ケ	2	160	50	-15	65	8.3
直線接續函	15l/ケ	5	75	50	5	45	2.7
壓力槽30セル	200l/ケ	1	200	40	-15	55	8.8
給油槽7セル	100l/ケ	2	200	40	-15	55	8.8
計							128.6
壓力槽セル内ガス容積變化に依る油量變化							23.0
合計							151.6

Fig. 10

5. Cable 布設について

布設ルートは Fig.12 に示す如く，亘長の割に屈曲の多い街路で幅も狭く既設埋，設物との関係等もあり，Cable の接続点を出来るだけ少なくした外，次の様な要点を基礎として施行された。

尚本系統は2回線となる計画なので，設計はすべて2回線の場合を考慮し設計した。

1) Cable の単長は布設時の張力を考慮し，地形の許せる限り長く 150mを標準とし，Cable 接続点を5ケ所に限定した。

2) Cable 布設導入に当つては，Cable 自体にプーリングアイを予め取付て置き引張々力を 3 ton に抑えた。

3) 埋設に当つては Fig.13，Fig.15 に示す様な構造の直線型，回線型のコンクリートトラフを採用し，曲線型は回り角度を 18° とし Cable 最小曲り半径を150cmに抑え，トラフ自体の強度は各々 3 ton の荷重に耐える様に設計した。

4) Cable の接続函は Fig.15 の如く，Cable の伸縮により鉛被疲労及び1回線増設時の接続作業を考慮し，最小限の大きさを取り Cable 接続部分には二重の防護箱を設け外傷に耐える様にした。

F. T. 動作特性

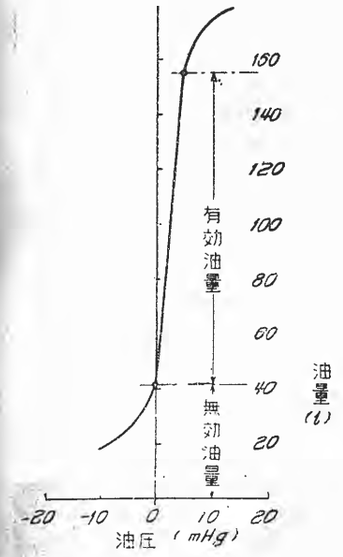


Fig. 11

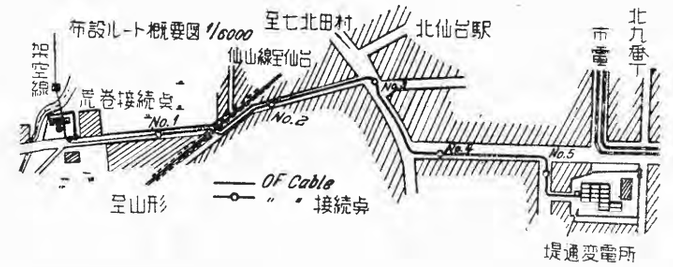


Fig. 12

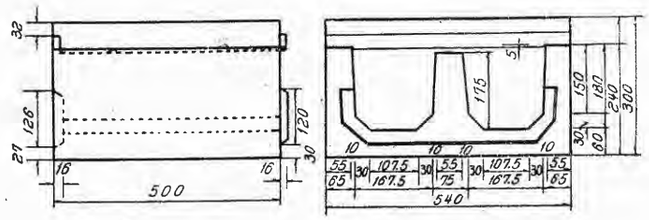
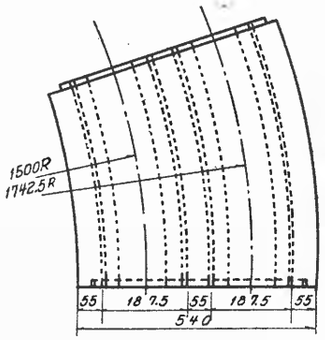


Fig. 13

コンクリートトラフ構造圖



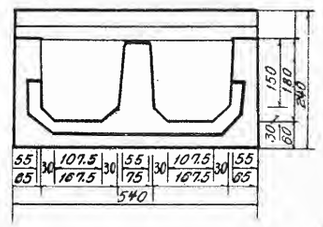


Fig. 14

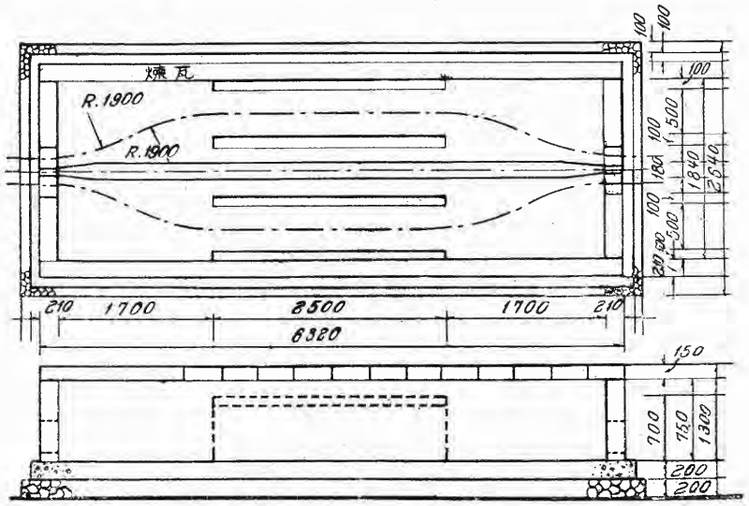
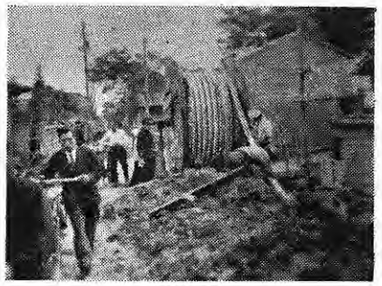


Fig. 15 接 続 函 構 造 圖

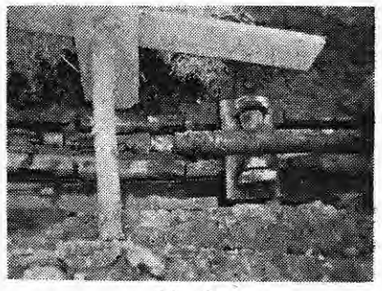
接 続 工 事 工 程 概 要

工種別	區別 ＼ 接續個所	No1 H.H	No2 H.H	No3 H.H	No4 H.H	No5 H.H	荒巻側エンド	堤通變エンド
くせとり	施工日	10/23	10/25	11/6	10/30	10/28	10/20	11/5
	施工時間	4	4	4	4	4	3.5	3.5
接續作業	施工日	10/24	10/25	11/6	10/31	10/29	10/21	11/6
	施工時間	11	11	10	10	9.5	12	11
	天候	曇，晴	晴	晴，曇	曇，晴	曇，小雨	曇，晴	晴，時雨有り
	水壓によるスリーブ伸 m/m / 水壓前長	9/80	10/80	8.5/80	9/80	9/80	4/50	5/50
仕上	施工日	10/25	10/27	11/7	11/1	10/30	10/2	11/7
	施工時間	3	3	3	3	3	4	4
眞空浸油作業	施工日	10/24	10/27	11/27	10/31	10/29	10/21	11/6
	施工時間	6	6	6	7	6.5	9	8
	到達眞空度 m/mHg	0.01	0.007	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03
	30分止試驗眞空度 m/mHg	0.09	0.08	0.07	0.07	0.09	0.20	0.15
施工人員	監督者數	1	1	1	1	1	1	1
	作業員數	6	6	6	6	6	6	6
	人夫員數	4	4	4	4	4	4	4
作業に要した時間		24	24	23	24	23	28.5	26.5

Fig. 16



No. 1



No. 2



No. 3

Fig.16 は接続工事の工事工程の概要と作業記録である。

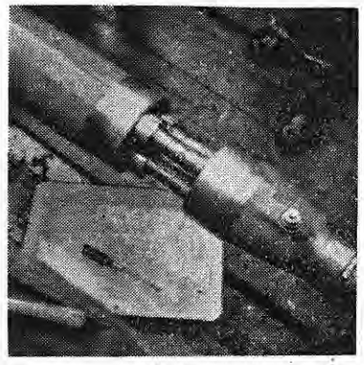
No. 1 は Cable 延線状況

No. 2 はプーリングアイを設け延線の状況

No. 3 Cable は常に油圧を必要とする為布設工事中に於ても小型の Pressure Tank を設置して居る其の状況を示す。



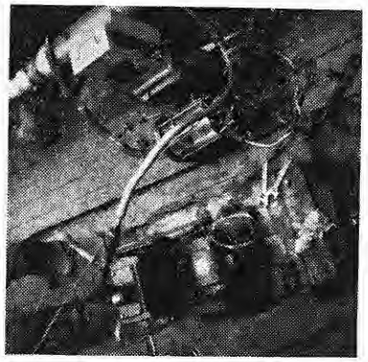
No. 4



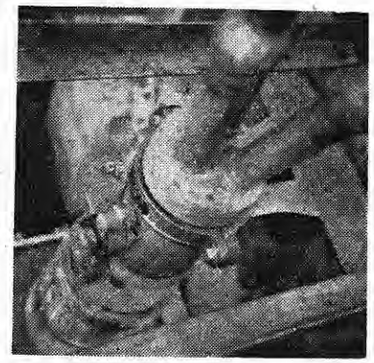
No. 5



No. 6



No. 7



No. 8

No. 4. 5 は接続工事の作業状況である。

Mo. 6 は接続工事の完了した状況で接続函の上層にネオプレンテープ並びに粘着ビニールテープを巻いた状態である。

No. 7 は接続工事完了後接続函内を真空浸油作業を行つて居る状況である。

No. 8 は立上りの状態である。

6. 衝撃電圧について考察

本線路は架空線，地中線の直結した送電線となるので，特に地中線の鉛被の接地抵抗を少く，5Ω 以下とし立上 end 及 Cable 接続点各々に設置した。又架空線は立上 end の鉄構は勿論架空地線により遮蔽効果を充分にし，鉄塔接地抵抗はすべて20Ω 以下に抑え堤通変電所の Cable 立上の近くに標準型避雷器を設置し Cable 内の反射を抑制させると共に変電所機器の保護もかねる様にした。

一般に Cable 自身は他の電気機器に比べて著しく耐圧が高いことは，種々の実験により報ぜられて居る。今度の Cable の長時間耐圧試験についても前記の如く商用周波破壊電圧は 215KV であり，常時対地電圧波高値の約 3.9 倍となり，他の機器に比し数割以上高くインパルス耐圧も，標準波形にて 560KV に耐えて居りサージインピーダンスも数＋オームでサージ性の侵入進波に対しては充分波頭峻度を逓減されるばかりでなく，波高値をも低下させるので，片端の標準型避雷器との並用により充分保護が出来るものと考えられる。

尚当初設計時は更に完璧を期す為に架空線，地中線との接続地点に保護間隙を設置する計画で種々調整試験を実施したが，之れ等動作時に於ける減衰振動の峻度を抑制する装置並びに保守上の面等検討を要する点も有り，後の課題として更に検討を加えることにした。

以上今回実施した仙台北送電線の OF Cable の概要について述べたが，当社管内に於ても更に都市周辺の電力供給設備の増強計画の必要に迫られて居る折柄，今後の計画の参考に供し度い。

（終り）

工業用テレビと当社の試験について

給電部通信課



工業用テレビ機器

1. 工業用テレビジョン

一般にテレビジョン（TV）と云えば，放送用テレビジョン（或いは商業用テレビジョン Commercial-television ともいう）のことを意味するが，最近テレビジョンが放送以外の各分野で広く利用せられるようになり，これ等に使用されるTVを放送用と区別して工業用テレビジョン（industrial-television）と呼んでいる。

放送用TVと工業用TVとは原理的には大差がないのであるが，次の諸点に大きな相違が見られる。

（1） 放送用TVは主目的が娯楽用であり，画面は鑑賞に適していなければならないが，工業用TVは或状態を監視出来ればそれで目的を達するから，画質は鑑賞的でなくて差支えない。

（2） 放送用TVでは撮像装置カメラ部に常に専門の技術者が附添い，良質の画像を送るために絶えず最良の調整を行うのが立前となつている。

工業用TVでは撮像装置は多くの場合無人で放置され，また専任の保守員も置かれずその保守も充分には行われない。

（3） 放送用TVでは迅速な運動現像を適確に送像することが必要であると共に音声も同時に送つている。

工業用TVでは急速な運動体をみることは稀であり，また音声を送ることも極めて稀である。

（4） 放送用TVでは，信号の伝送は無線で行われ，しかも一方的に送れば足りる。

工業用TVでは信号の伝達は多くの場合有線ケーブル（同軸ケーブル）で行われ，且つ前記の如く撮像装置は一般に無人であるのでその特性維持のため受像装置（モニター部）から撮像装置回路を遠隔操作する必要がある。

2. 工業用テレビジョンの機器構成

一般に工業用テレビジョンは撮像装置，受像装置，制御装置，電源装置，照明装置，信号伝送路より構成される。

また，その電気的諸特性の一例を挙げれば次の通りである。

1.	走査線数	525本
2.	毎秒像数	30
3.	走査方式	飛越走査
4.	映像信号周波帯域	4MC
5.	水平走査周波数	15,750~
6.	垂直走査周波数	60〃
7.	同期式	電源非同期

（1） 撮像装置

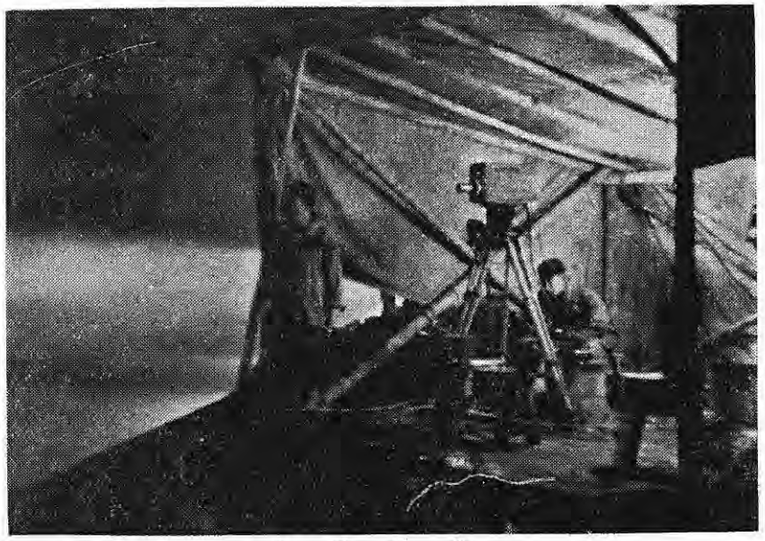
所謂カメラ部と称される部分で，TV装置の心臓部に当り光学レンズと撮像管がその主体である。

光学レンズは明るいもの程よい訳であるが，屋外用として使用するときは，晴天と雨天，昼と夜の照度の変化を補うため絞りの適当な調整が必要となる。また使用目的によつては焦点の調整も必要である。勿論これらの調整はすべて受像装置の場所から遠隔制御によつて行われる。

また，レンズはカメラと被写体との距離，被写体の種別によつて，焦点距離 35mm，85mm，135mm，200mm のものが適宜使用される。

撮像管としては，光電子放射効果を利用する電子解像管 Farnsworth tube or Image Dissector tube と光導電効果を利用するビデイコンの2種がある。

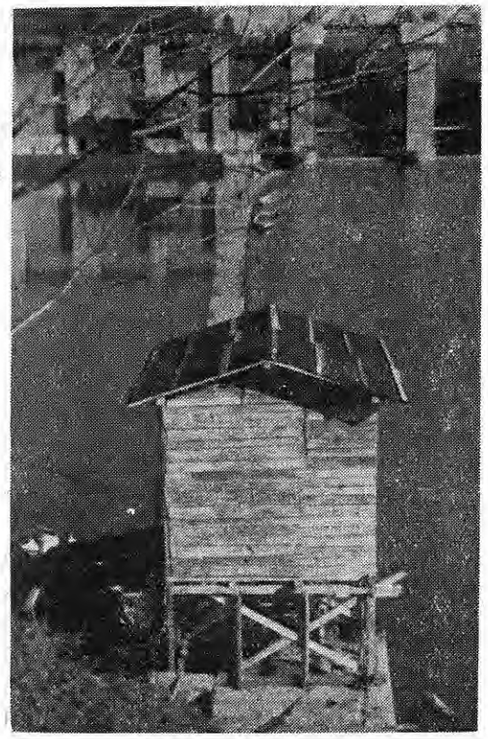
前者は一般に感度は悪いが寿命は長い。わが国においてはこの tube を利用した工業用TVはまだ開発されていない。



夜間撮像

ビデイコンは感度が極めて高く（500ルツクス程度でも可成りの画像が得られる。）寿命も長いので広く工業用TVとして利用されている。

撮像装置の電源としては，その設置場所の交流電源から直接とる方法と，受像装置の置かれた場所からケーブルを通して供給する2つの方法があるが，後者の方が安定した電源から供給できる点，撮像装置を簡易化出来る点において有利である。また同期信号発生回路も撮像装置の中え組込んで映像信号と同時に送る方法もあるが，前記同様の主旨から受像装置の方え組込んでケーブルを通じて撮像装置へ供給する方が有利である。この外，使用目的によつては，撮像装置を，上下，左右に廻転し，パノラマ式に被写体を写すことが望まれる。勿論その制禦は受像装置の場所から行われねばならないが，何れにしても，この場合には照明装置についても同様な操作が可能でなければならないので，これ等の附帯施設に莫大な経費を要する。



カメラを設けた假小屋

撮像と同時に音声を送る場合には，音声は映像信号とは別に有線ケーブルの心線を使用して伝送する。

（2） 受像装置

所謂モニター部と称される部分で，画面の大きさは8吋～14吋程度までが使用される。

受像部には普通のテレビ受像器を使用しても画像がみられるように，接続端子が設けられている。

受像装置は配電盤の如く明るい室内に設置されることが多いので，映像面にはフードをつける等の考慮が必要である。

この外，受像装置からは撮像装置の下記電気的回路を有線ケーブルを通じて遠隔操作できる。

1. 電子焦点調整
2. ビーム電流調整
3. カメラ水平位置調整

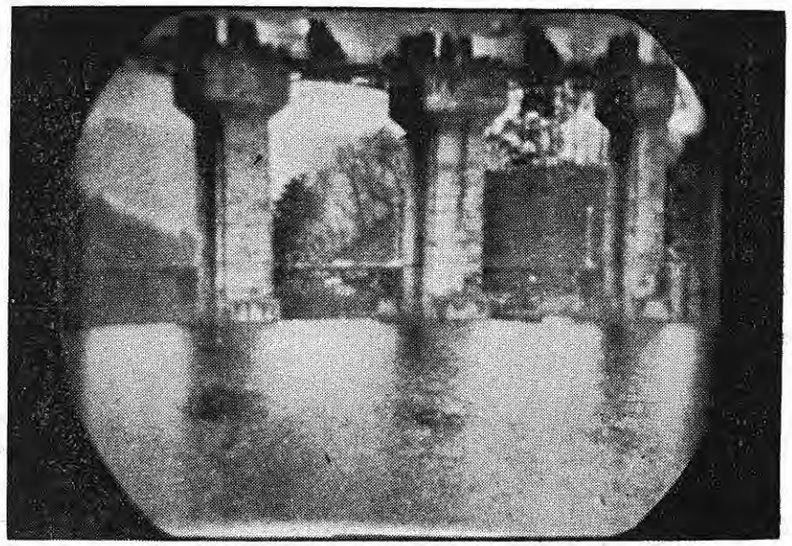
4. カメラ垂直位置調整

（3） 制 禦 装 置

撮像装置の上下，左右移動，焦点調整，絞り調整，照明装置の電源開閉，上下，左右移動等の一連の遠隔制禦を行うための装置で，受像装置と同一場所におかれる。

（4） 電 源 装 置

撮像装置，受像装置，制禦装置に対して所要電源を供給する電源部で受像装置と同一場所におかれる。



受　　像

（5） 照 明 装 置

ビデイコンを使用した工業用TVで被写体の照度が500ルツクス以下の場合には照明が必要である。被写体は撮像装置と併行した位置から照明されたとき最も効果的である。

ビデイコンの光導電物質として無晶形セレンを使用したものは，赤色に対して感度が悪いが，その照明に白熱電灯を使用しても相当な成績が得られる。

（6） 信号電送回路

撮像装置と受像装置を結び，映像信号，同期信号を伝送する外，撮像装置の操作を行うための回路で，一般には18芯乃至33芯程度の有線ケーブルが利用される。その代表的な一例を示すと第1表の通りである。

ケーブル亘長としては，現在1km程度まで考えられているが，それ以上の場合には，経済的な考慮の上で無線の利用を考える必要があろう。

信号伝送路として無線を利用する場合には，その信号伝送路の構成は非常に複雑となる。

3. 電気事業における工業用テレビジョン

電気事業における工業用TVは可成り広い分野に亘つて活用されることが予想される。

その一例を挙げると次の通りである。

（1） 水力發電所の場合

1. 取水口における取水状況（特にスクリーンに対する塵埃の有無）水位の監視
2. 取水口における自動式除塵器の動作状況の監視
3. 水門の開閉状況監視
4. 屋外状況のパノラマ式監視
5. ガバナーに対する油圧，油量監視

（2） 火力發電所の場合

1. 燃焼状況を知るための煤煙監視
2. ボイラー内の燃焼状況監視
3. ボイラーの水位監視

（3） 其　の　他

1. 無人発，変電所，開閉所に対する監視
2. 配電盤計器の一括監視
3. 保安上の監視

電気事業に於ける工業用TVの効果としては，

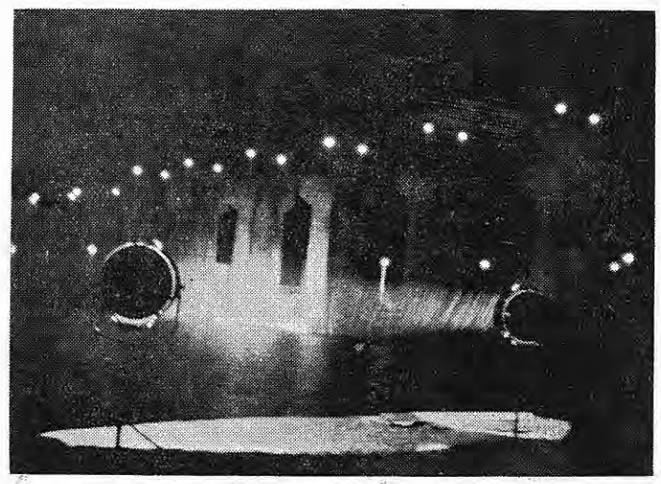
1. 危険防止に役立つ
2. 山間避地における保守員の常駐を廃止して人道問題を解決出来る
3. 保守人員を節約して企業能率の向上を計り得る

等極めて魅惑的な効果が期待されるので，今後益々発展の過程を辿るものとして予想される。

しかし乍ら反面現実の問題としては，その価格が附帯設備（特に照明問題）を含めて可成り高価となつており，その推移の如何によつては実用施設の経済的バランス点が，その運用の範囲を狭めることも危惧される。

わが国の電気事業における工業用TVは現在漸く緒についたばかりで，まだ実用に供されている施設は見当らないが，実用化に対する努力は活潑に払われている。昭和28年11月には東北電力柳津発電所において大規模な工業用TV（静岡大学研究にかゝわるビデイコン使用）現地試験が行われ，非常に良好な成績を納めている。

試験は11月24日より29日まで行われ，30日に会議を開いてその効果を確認した。即ち24日午後10時半東芝小向工場より発送した試験用機材現地到着，翌日荷下し，検査，組立に1日を費し，午後9時総ての準備を完了して画像を出すことに一応成功した。26日本格的試験に入り，左岸の堰堤上流に設けた仮小屋にカメラを取付けあらゆる角度から工業用テレビの効果について検討した。多くの当面した問題から若干拾つてみると。



夜　間　照　明

カメラレンズ——現在のセツトは絞りが手動式であるから，遠隔操作出来ない。試験の結果，監視制御器の電気的な絞りだけではカバーし切れないので，光学的な絞を設けねばならりぬ。

又レンズを交換試験を行つたが，135 mm のレンズでは取水口ゲート2門が同時に見え，85mm レンズでは取水口ゲート全部が見え，50mm レンズでは取水口ゲート全部と堰堤ゲート2門が同時に見えた。夜間の光度，夕方の自然光による光度などの場合を考えて135 mm F 3.5レンズが適当と思われる。又カメラ前面にあるガラス窓に雨滴が附着すると画面がボヤけるが，クリーナーでは不完全なのでいかなる状態でも雨雪が附着せぬ様考えねばならぬ。

画像の質——今回の試験ではtransent（絵に白黒のタテジマが入る現象）があり，歪があり，飽和現象（白がにじみ出る）が起つたがこれは工場調整にて解決し得る。

安定度の問題——スイツチを入れてから安定するまで約20分かゝつたが，これは回路及び部品の問題であるから再考慮の必要がある。

撮像管（ヴイデコン）——今回は静岡大学のUS273，東芝マツダ研究所のA7，A10，東芝応用科学研究所の0001，の各ヴイデコンを試験したが，何れもそれぞれ長短があるが，当社と技術提携の静岡大学の製品を使用した。

照明試験——取水口左端より距離32mの位置に3Kmの投光器，更に9.5mおいて3 Kmの投光器，それより更に8.4mおいて5 KW の投光器をおき取水口ゲート1門づゝ及び堰堤ゲート1門づゝ，500，700，1,000ルツクスの照度で試験した。更に投光器を移動して試験したが，その結果約500ルツクスの平均照度あれば夜間鮮明な画像が得られることが判明した。又昼より夜に移る黄昏には135mmレンズ，絞り全開で50ルツクスでどうやら判別出来る程度であつた，

被写体——被写体を見易くするためゲート，ピーヤ，スクリン等に白ペンキ又は黒ペンキで線を描いて試験を行つた。堰堤の場合は昼間は白は反射して見にくく，夜は白黒同じ程度であつた。スクリーンの場合は白の方が効果的であつた。

11月30日現地に於いて当社側と東芝と合同して試験結果につき結論を持寄つた。主要な議題は次の通りである。

1. 定員問題——これは予想される問題であるが，まだそれを論ずる段階でなく，且つ今回の試験の題目以外の問題である。
2. セツトの性能——カメラレンズの遠方制禦の必要があること。画面の質については今回の試験に於ける程度であると。カメラの上下運動機構が必要なこと。
3. カメラの位置——浮桟橋のウインチ小屋二階（今回の試験位置）に決定した。
4. 照明の方法——カメラの回転につれて必要部分を照明する様な投光器を用いること。その他東芝側よりも意見の開陳があつたが，省略する。

今回の結果に基ずく新しい問題を早急に解決することを約したが，近く本格的にセツトを取付け工業用テレビの恒常的な使用時代えの第一歩をふみ出すことになつた。

又北海道電力に於ては砂川火力発電所，中部電力に於ては名港火力発電所，中国電力にては明塚発電所に於て計画が進められていると聞く。

電源開発建設資金の調達

東京事務所　黒　沼　政　行

1. はしがき

昨年4月，設備資金関係担当者となつてより僅かに半歳余，半智半解の経験ではあり，且つ又日常，金融機関，官庁への使い走りの雑事に忙殺されていたので，今まで之が綜合的知識を纏める暇もなかつた。そこで自らの考えを纏めると共に，他面，建設現場を遙かなる東京から資金面を通してバツクアツプしていることを理解して頂きたく，又建設資金は如何なる道程を経て調達されるかを知りたいと欲せられる専門外の方々のために執筆するものである。勿論，深遠なる金融理論を述べるものではなく，建設資金に直接関係のない方々の参考にする程度のものであり，この方面を担当して居られる向には極めて常識的な日常茶飯事に属する事柄であるから看過して頂きたい。又未熟不徹底な知識から思わざる独断誤語もないとは限らず，この点先輩諸兄の御叱正を願う次第である。

2. 設備資金調達上の役割

当社の設備資金の調達実績（28年4月～12月）によつて見ると次の通り約60%が借入申込から借入実行，本店え送金されている。（単位100万円）

（第1表）　当社設備資金調達実績

	金融機関別	1/4半期	2/4半期	3/4半期	計
本店扱	興業銀行	600	450	450	1,500
	市中銀行	—	100	—	100
	協調融資	875	875	875	2,625
	計	(35.8%) 1,475	(42.7%) 1,425	(48.9%) 1,325	(41.0%) 4,225
東京事務所扱	開発銀行	1,750	1,310	610	3,670
	信託銀行	550	110	180	840
	生保会社	—	190	295	485
	長期信用銀行	350	300	300	950
	計	(64.2%) 2,650	(57.3%) 1,910	(51.1%) 1,385	(59.0%) 5,945
	総計	(100%) 4,125	(100%) 3,335	(100%) 2,710	(100%) 10,170

此等金融機関の内，生保会社及び信託銀行からの借入に当つては，事務所勤務で経験豊富な金融顧問2名が夫々の金融機関に借入の開拓折衝に当つている。当社は他社に比し非常に順調な調達実績をあげている。即ち生保会社借入は他社の追随を許さないので言うまでもないが，信託銀行の上期調達実績を各社別に見ると，（単位100万円）北海道330，東北660，東京750，中部800，北陸230，関西300，中国400，四国200，九州950と他社に比較して好成績をあげている。

処が設備資金の内でもその占める比率が最も大きい開銀資金については後に述べる様に，その資金源が一般国民の税金，財政資金から投融資されるものであるから，9電力に適正公平に配分する建前上，その審査は微に入り細をうがち峻烈なものである。即ち電力会社は各期毎に精密なる設備資金計画書を監督官庁たる公益事業局は勿論，経済審議庁及び開発銀行に提出すると同時に，本店からは水火力，送変配電夫々専門技術者が上京され，此等の官庁，銀行に対して説明をなし，質問に対しては明確なる解答を与えなければならない。斯くして経審庁は電源開発新規地点決定上の参考とし，或は電気事業の設備資金としてどの位調達すべきかという様な大綱を摑むためのデータとするのみであるから余り問題はないのであるが，公益事業局及び開発銀行は直接財政資金の配分を決定し資金交付をする窓口となつているだけにその職責上，審査は峻烈とならざるを得ない。而もこの両者が夫々独自の立場から，例えば語弊があるかも知れないが戦時中の物動計画的観点から，或は銀行家的観点から批判修正を加えて来る。公益局のよく採る手段は工事進捗率とにらみ合せて支払計画を繰延べ資金の削減を行うことであり，開発銀行は又新規着工地点の審査に際しその発電原価から経済性の優劣を突いて来ることが屢々である。こうして両者の審査が併行して行はれた結果，資金配分のための両者打合せに際し，対手の気のつかない修正点を指摘することに優越感を満足させている様にすら考えられる。従つて時偶，断片的資料が一方に出されて，他方に出されていない時，後者は会社側に対し悪意あつて故意に差別をつけたかの様に難詰して来るのが常である。この場合，東京事務所が日常の会社窓口となつている関係上，「つるしあげ」の憂目を見る。こうして計画書提出，説明会からスツタモンダで40～50日かゝつて資金配分が決定するや否や今日，明日にでも資金交付だというので契約書，請書，交付願，借入願その他何やかや書類の整備をせきたてられるのも東京事務所である。

3. 電源開発基本方針の策定

終戦後は国民経済の底が浅くなつて，独立回復後のドツヂ緊縮政策緩和が27年度の消費景気，28年度の投資景気を齎らしたのであるが，その根底には朝鮮特需があつて始めて得られたものであり，単なるみせかけの景気であつたことが，最近政府筋を始め各界から縷々述べられている。政府もこの様な底の浅い経済にはかねてより気が付いていたればこそ，自由経済の建前をとりながらも全産業の設備資金については経審庁をして資金計画を立てさせ，之を目安として経済の運行を図つて来ているのである。

電気事業の設備資金についても電源開発促進法によつて電源開発調整審議会が設置され，①開発の基本計画，②資金の調達配分，③施工主の決定，④開発の規模，方式その他を調査審議することゝなつている。而して29年度新規開発の基本方針に於て謳つている所は「地帯毎の電力需給状態の悪い地点，供給力の上で火力比重の大きい地帯に開発の重点を置く」と言つているが，思うに現状に拘泥する考え方であつて，将来えの思慮考察が欠けているのではなかろうか。即ち政府は今や国際収支改善のため貿易面の縮小均衡を企図しているが，狭小にして生活資源の貧弱な国土に8千万の人口を擁し，而も年々150万からの増加人口が産児制限によりどの程度抑制し得るか目安のつかない現状を思うならば，而して海外移住の多きを望み得ないとするならば，あらゆる国内未開発資源の開発こそ自主達成の長期的目標であり，且つ焦眉課題でなければならない。而して未開発資源の開発は単なるお題目だけでは達成出来るものではなく，一歩々々具体的な着実な手が打たれることによつてのみ成就出来る。例えば東北地方の如く戦前より東北振興の名に於て開発が国策として採り上げられながら，戦争による中断で遅々として進捗しない地方では，開発の前提として鉄道，港湾，道路等為すべきことは多いが，特にあゆる産業の原動力たる電力の山間僻地への普及こそ先決といわなければならない。かゝる見地から新規地点の選定基本方針にもかゝる考え方を織込まれる様希望する。

4. 建設資金の調達

電気事業に於ける設備の建設に要する資金は電気料金収入を以つて充当し得るかの如く考えている者もあるが，既存設備の償却は料金収入で回収し得るとしても，設備の新設，増強及び改良はとりも直さず会社資産の増加であるから，それだけ資本の増加即ち増資によつて賄わなければならない。然るに敗戦後の民間蓄積資本の貧困と株式証券市場の立直り渋滞とによつて巨額の増資は達成不可能なるが故に，建設資金の一部は増資に頼るとしても残余の大部分は外部借入に依存せざるを得ない現状である。外部借入の内でも特に国家資本の投入なくしては到底国民経済の要求する電力施設の拡充を確保し得ない。茲に於て財政資金 only の開発銀行と，民間資金，財政資金半々位の債券発行銀行（興業銀行，長期信用銀行）とが長期設備資金融資機関として登場する訳である。以下設備資金調達機関別にその内容，現状を検討しよう。

（1）開発銀行

開発銀行は終戦後の復興金融金庫から日本銀行の見返資金時代を経て，これらの旧債権債務を承継して出来た銀行で，戦後の経済回復上，又自主達成上必要とする長期設備資金供給を任務とする特殊金融機関である。而して前述の様に財政資金投出資の窓口機関である。

28年度財政出投資計画の開銀資金枠は第2表の通り特別減税国債発行による200億，産業投資特別会計から260億，資金運用部資金（主に郵便貯金）から140億，自己資金（開発銀行回収金，利息収入）260億，合計860億である。この運用計画は電力400億，造船220億，鉄鋼60億，石炭40億，自家発電30億，合成繊維25億，その他45億，予備40億となつている。電力は400億とな

（第2表）　財政出投資計画　（単位 億円）

	減税国債	産業投資	簡易保険	資金運用部	一般会計	財政投資合計	公社公債	自己資金	財政資金所要合計
開銀	200	260	—	140	—	600	—	260	860
農林	—	—	—	50	181	231	—	—	231
國民	—	—	—	35	45	80	—	—	80
住宅	—	—	—	100	80	180	—	—	180
中小金融	—	—	—	20	80	100	—	—	100
輸銀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電源	—	—	—	50	—	200	—	—	200
國鉄	—	150	—	145	—	145	85	—	230
電々	—	—	—	—	32	32	75	53	160
地方債	—	—	190	695	—	885	—	—	885
金融債	—	—	—	300	—	300	—	—	300
特定道路	—	—	—	—	25	25	—	—	25
郵政	—	—	—	5	—	5	—	—	5
勤労者厚生	—	—	—	25	—	25	—	—	25
帝都高速度	—	—	—	15	—	15	—	—	15
その他	—	—	—	—	10	10	—	—	10
合計	200	410	190	1,580	453	2,833	160	313	3,306

つているが，その後九州の水害復旧費として天引5億が差引かれ，結局395億が融資される枠となつている。

之が9電力えの配分については各社の工事進捗計画に見合つた所要資金に応じて按分比例によつて融資することゝなつて居る。同時に資金配分査定の際，その都度進捗実績の計画量に対する過不足を勘案して査定額を加減して行くことゝなつている。本年度開銀資金395億に対し，開銀資金を融資すべき対象となる工事の所要資金総額は約831億と見ているので，その逆算によつて開銀資金は対象工事総所要額の約47.5%が融資される訳で，この比率を Participation と言つている。結局，各社の所要資金査定額にこの比率を乗じたものが開銀資金融資額となる訳である。昨年上期は本予算の決定が延び延びとなつていたため月毎に或は隔月に暫定予算が組まれ，それに伴つて開銀資金の配分も1ケ月分とか2ケ月分とかコマ切れ割当であつた。従つて公益事業局に於ても殆ど毎月資金配分の作業に寧日なく，Participation も或る月は50%を超え，或る月はそれ以下のこともあつたが常に年間計画の線を崩さない様に操作していた。

電力会社にとつて開銀資金の垂涎措く能はざる理由は，一つはその金利が安く，返済期限が著しく長いということ，即ち一般市中貸出金利が年11%程度であるのに対し開銀金利は僅かに7.5% という低利であり，返済期限も長期借入で一般に3～5年位の処，開銀資金は80年という恐ろしく長いものである。又国家資金が投入されているという事実が会社の信用力を高める効果が非常に大きい。即ち設備資金の内開銀資金以外は他の金融機関からの借入によらなければならない。然るに如何なる金融機関と雖も融資先の営業状況，返済能力，信用力等考慮せずに融資する所はなく，この場合，国家資金の投入されている会社なり工事は政府並びに開銀の厳正なる審査監督の下にあり，一朝事あるときは国家がバツクアツプすることを期待し得るものである。従つて民間金融機関としては信用調査の要もなく危険性の少い優良なる貸出先と目する訳である。

(2) 債券發行銀行

債券発行銀行とは所謂金融債の発行で得た資金を一般産業の設備資金，長期運転資金として融資する金融機関であり，日本興業銀行と日本長期信用銀行との二行が之れである。此等の銀行に対しても一部財政資金が導入されて居り，本年度については第2表の通り資金運用部資金から年間300億の金が投下され金融債の半分近くを消化して居り，残余は一般公募によつて資金を集めている。その資金源から見て開発銀行と市中銀行との中間に位するものである。資金運用部引受額は国家予算の決定によつて年間の決定版が出来上るが，一般公募分は時の金融情勢によつて支配され，従つて融資可能額も月々若干の変動を来している。今年度に於ても政府の特別減税国税200億の圧迫によつて金融債の消化も影響を受けざるを得なかつたとも言われている。又運用面に於ては重要産業のみならず，あらゆる業種に亘つての融資が行われて居り，業種間，企業間の配分については銀行独自の判断によつている。但し開銀資金の如き政府直接の干渉はないとは言いながら，財政資金が一部投入されている関係から，監督官庁の希望申出を無下には排除し得ない状況である。特に電力融資についてはその感が深い。

興業銀行は債券発行と同時に預金業務も扱つて居るので長期信用銀行に比して融資額も上回つている。因に同行の28年上期金融債発行額は370億，償還額218億，差引純増は152億，月平均25億と聞いている。

長期信用銀行は昭和27年12月1日に発足，その後28年11月末迄の1年間の実績は次の通りである。

		億	%
長期信用債券消化額		367.00	
貸出	電力	88.95	(23.0)
	鐵鋼	43.22	(11.2)
	水運(造船)	29.67	(7.7)
	電気機器	23.67	(6.1)
	化學	23.28	(6.0)
	石炭	18.30	(4.7)
	食料品	14.60	(3.8)
	繊維、紙、印刷、金屬、ガス、その他	145.31	(37.5)
	合　計	387.00	(100.0)

金融債月平均約30億の内，預金部引受は約12億，残り約18億が一般公募である。一般公募の内地方銀行引受分は地銀の代理貸付として地方へ還元するので直接貸は月平均24～25億程度である。当社は今年度に入つてから月平均1億余の借入実績を上げて居り，特に重視されていると見てもよかろう。

(3) 市中銀行

開発銀行，債券発行銀行等の特殊銀行を除いた普通の銀行を市中銀行といゝ，茲には地方銀行を含めての広い意味の銀行と解釈して頂きたい。市中銀行は一方で預金を吸収して資金源とし，他方之を以つて有価証券投資貸出に運用しているが，その資金源が多く短期性預金である関係上，貸出も短期運転資金に限られている。特に最近は日銀の金融引締，貸出抑制指導方針に束縛されこの傾向は強化されて来ている。即ち所謂オーバーローン（貸出超過）は市中銀行が日銀からの

低利借入によつて得た資金を一般企業体に貸付けることによつて行われて来たのであるが，昨秋以来日銀は市中銀行えの貸出利率を引上げ（高率信用の強化）或は市中銀行の貸出計画の削減抑制を図る様になつてから市中銀行の企業体えの貸出は極度に圧縮されて来ている。然しながら市中銀行と雖も定期預金，通知預金の如き比較的長期に亘つて運用可能な資金については設備資金として貸出し得るものであり，高利の長期貸出でなければ採算がとれないのであるから，当然設備資金供給源として期待し得るものである。

然るに金融面から見た当社の立地条件は東京，大阪，名古屋等大都市に本店を持つ会社と比較して不利な立場にあると考える。即ち仙台に在る市中銀行の大部分は大都市銀行の支店であり，融資は本店の掣肘を受けて居り，又地方銀行は資金量に於て物足らずの感なしとしない。当社は電気料金収入として月約12億の資金を東北一帯から集めているのだから，之を大都市銀行本店との取引に当てゝいるならば，融資面でより有利な立場に置かれていたかも知れない。今次増資手取金を以つて債務償還に当てる会社のある時，当社は之を工事資金に充当するのを見て斯く感じた次第である。

因に当社の市中銀行からの借入は興銀，勧銀，富士，七十七，三菱，住友，三和，協和，第四，常陽，東邦，青森，岩手殖産，秋田，羽後，両羽，北越等の銀行の協調融資を仰いで居り，28年度は35億を予定している。

(4) 信託銀行

最近，小さい信託銀行では定期預金の吸収にもかなりの力を注ぎ，むしろ普通銀行的色彩を強めて来たと見られているが，信託銀行6行についてその運用資産を見ると，(単位億円)

運用資産別	28年2月末	28年10月末	増　減
金銭信託	654	799	+145
内貸付信託	(112)	(280)	(+168)
預　金	657	631	−26
計	1,311	1,430	+119

信託銀行本来の機能を強化し金銭信託，特に貸付信託の著増を見ている。貸付信託の銀行別は次の通りである。(単位億円)

	三井	三菱	住友	安田	日本	第一	計
28年2月末	27	18	36	19	6	4	112
28年10月末	68	54	82	50	14	9	280
増　加	41	36	46	31	8	5	168

貸付信託とは受益証券と引換に一般投資家より資金を集め資源の開発，その他緊急産業に対し之を貸付或は手形割引の方法で融資し，以つて長期資金の円滑な供給を図るものである。電気事業の建設資金もこゝから調達されて居り，当社に於ても古くは昭和27年8月から借入を始め，現在迄の借入額は三井信託25億，三菱信託4億，住友信託24億，安田信託4億，日本信託5千万，合計13.4億に達している。

(5) 生命保險会社

生保会社は周知の様に一般大衆から保険料を徴収し，満期，死亡，解約の保険金支払を除いて残金の大部分を有価証券投資或は貸出に運用して居り，最近は特に貸出の比率が増大している。電気事業の生保会社からの建設資金借入は戦前より実績があるが，戦後は当社が先鞭をつけて27年9月より借入を始め第1回は2.6億，第2回は4.65億，現在第3回の3億を生保18社から逐次借入実行中である。

生保会社は終戦後の悪性インフレでその営業成績は全く沈滞していたが，その後国民経済の回復安定と共に契約高も次の通り著増し，将来は戦前の様な証券，金融市場に大きな役割を果すことも程遠からずと思われる。

生保会社と対立するものに火災，海上等の損害保険会社があるが，此等の会社は造船に対する融資は行つているが，電気事業には融資していない。只，増資の場合には大株主として登場して来る。

主要生保会社保有契約高　(單位億円)

	27年9月末	28年9月末	年間増加額
日　本	1,629	2,350	721
第　一	1,097	1,596	499
朝　日	982	1,297	315
明　治	912	1,243	331
千代田	543	677	134
三　井	466	649	183
住　友	375	638	263
生保20社計		11,535	(28年度末見込14,500億，年間純増4,500億)

(6) 増　資

前述の様に設備資金の調達は本来外部借入によらず増資によるべきであるが，民間資本蓄積の貧困，正常経済えの立直り不徹底，電気事業経営の足踏状態，急速大規模なる電源開発の要請等から，その多くの部分を借入に頼らざるを得ない状況である。然しながら官民共にその理想形態として他人資本依存から脱却して自己資本の充実を絶えず目指していることは事実である。当社今回の増資もこの様な見地から行われ，その手取金使途も建設資金に回されることになつて居り，本年度所要設備資金の約11.7%を占めるものである。之が消化についても前記各種金融機関の協力なく

(34頁へつゞく)

海外送電技術 (I)

送電課 坂本雄吉

歐米の送電技術概觀

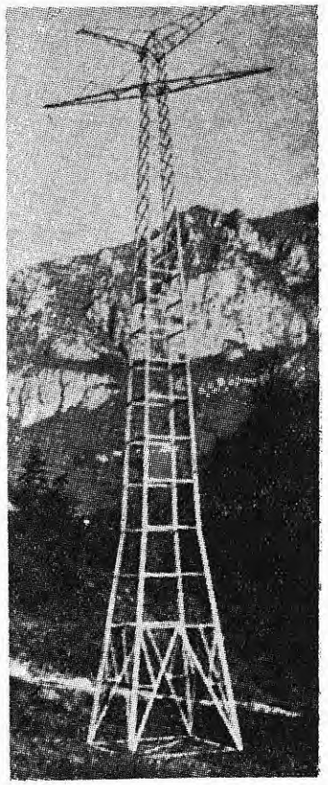
(Electrical West, Vol.llo, No.6 1953)

これは J. E. sinnott 氏(サンデイエゴ，ガス電気会社) の講演を抜き書きしたものである。

電圧問題——水力電源が奥地に大規模に建設される様になり，又需要が大きくなるに従つて送電損失を軽減する為に次第に高い電圧の送電線が建設される様になるのは当然の傾向である。米国に於いては1913年に150KV，1923年には220 KV そして Hoover Dam—Losangels線(1936) では287．5 KV の如く送電線の最高電圧が上昇し，現在オハイオ州のアメリカ・ガス・電気会社では 330KV，又ブリテイツシユ・コロンビヤ電力会社では 345KV の送電線を計画中である。一方欧州に於いては此の傾向は更に大きく，スウエーデン国立電力局では1952年4月から400KV 600マイルの送電線運転を開始し，英国では 400KV の送電線を建設して炭鉱地帯で火力発電により得た電力を負荷地点に送電する事を計画中である。其の他仏独等380KVの送電線を使用している国は多く，送電電圧は更に上昇する傾向を辿つている。

コロナ問題——以上の如く送電電圧の上昇に伴つてコロナの問題が起つて来る。コロナは送電線のポテンシヤルが周囲の空気の誘電耐力を越える時に起り，単に送電損失の面だけでなく，電線の酸化の原因となる事さえある。此のコロナ放電を避ける方法としてはその表皮効果を利用して電線外径を増す方法が考えられて居り此の為中空銅線が使用されて来たが，最近は専ら複導体の使用の方向に向つている。此の複導体は日本でも東京電力で一部試験的に使用しているが，元はスウエーデンで，400KV の線路では 46cm の間隔で複導体が架設されている。複導体は単にコロナ臨界電圧を上昇せしめるのみでなく，線路のリアクタンスを減少せしめる効果を持ち，スウエーデンの場合では26%リアクタンスの減少を見ている。此の多導体送電線は更に導体を増すことも研究されて居り，ソヴイエトでは1辺 40cm の正三角形に配列された三導体送電線が計画中と伝えられている。

高電圧送電線にとつて此の多導体送電線の採用は有効なことであり，その導体の数も今後どの位のものが使用されるか分らないが，電気的性質に於いて有効である一方，鉄塔の高さ，アームのひろさ，附属品等の面で経費の増大を見るので，此の両面からの追求が必要で，今後の送電技術の課題となるであろう。



伊本土・シシリー島間送電線鉄塔

絶縁問題——現在米国では送電線建設費の減少を目的として絶縁耐力を，減少せしめる方向とつている。大体絶縁としては開閉異常電圧を線路の対地電圧の3倍と考えこれに対してぎりぎりの絶縁を考えて居り，碍子箇数は注水内絡電圧が此の開閉異常電圧に耐える箇数より2箇増したケ数にすれば適当であるとの考え方をとつている。今例として此の場合の 154KV 送電線の碍子連箇数を計算すると，9箇となり我国で現在行つている碍子箇数と略等しく，米国の現行箇数より2箇少い値となつて来る。

最長径間送電線の建設（イタリヤ）

(Electric Light & Power, Spring 1953)

これは南イタリヤの Scilla からシシリー島の Charybdis へ Messina 海峡を横断する架空線の建設である。南イタリヤとシシリー島の送電連繋はイタリヤ電力界の1つの課題であつた。此の連繋が実現すると次の3つの利益を挙げることが出来る。

1. 近時シシリー島の工業の発展に伴い負荷が増大し，電力が著るしく不足し，これが工業発展を阻止している形となつている一方，南イタリヤの水力電源の電力は中央イタリヤに近いナポリに送電するという矛盾を持つていたが，此の矛盾は解決し，シシリー島の工業を更に発展せしめることが出来る。
2. 中央イタリヤの水力電源の電力をナポリへ送電することが出来る。
3. 力率が改善され，損失が軽減される。此の課題解決への試みは 220KV のイタリヤ縦断幹線の計画と共に進められ来た。此の海峡を越えて電力を送るのには3つの方法が考えれる。

(1) 海底トンネルによる方法。
(2) 海底ケーブルによる方法。
(3) 架空線による方法

此の中海底トンネルによる方法は施工上は最も容易と云えるが，甚だしく大きな建設費を要し，鉄道用又は自動車交通用の隧道工事に伴つて実現されるべき性質のものである。

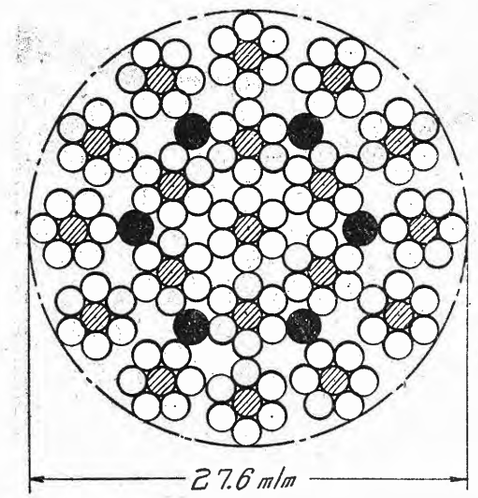
海底ケーブルは次の困難を伴つている。

(1) Messina 海峡は海流が激しく，しかも日に4度流水の方向が変るので，ケーブルを海底に固定することは非常に困難である。
(2) 此の海峡の海底には岩が多く，ケーブルが海流によつて移動すれば容易に機械的に破損する。
(3) 海流が弱く又海底の状況のよい所を迂回すると，余りに亘長が長くなり建設費が大きくなる。
(4) 220KV 用の海底ケーブルは現在ない。従つて両端に変圧器を必要とし，建設費は更に大きくなる。

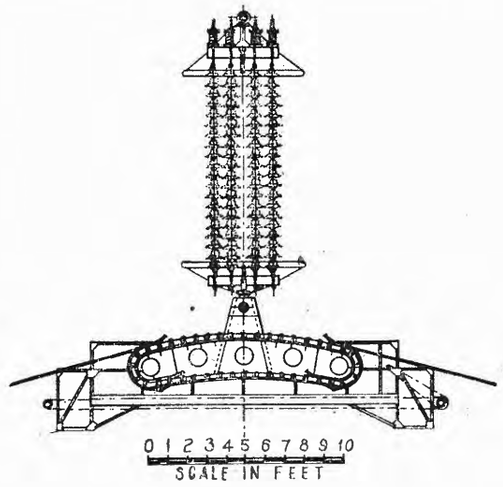
以上の検討より架空線による方法の採用が決定したのである。しかし此の海峡を横断するには最少距離の所でも 3,200m の径間となり，此の地区が世界で最も地震の多い地区であることゝ相俟つて実施を困難としていたのである。最初の計画は1921年に立案された。此の計画に於いては 112m の間隔に6基の高さ 227m の鉄塔が建設され1基の鉄塔が1本の電線を支持し，又鉄塔は支線で支えられることになつていつた。しかし戦後の再検討により次の如く変更され，建設に着手することに決定したのである。

1. 鉄塔には支線を設けない。
2. 電線配列は2段アームに下段4本，上段2本を架設する。
3. 電線間隔は 25m とする。
4. 電線の張力はカウンター・ウエイトにより一定に保つ。
5. 横断位置は径間を最小とすることより鉄塔高さを低くすることを目標として，選定した。此の結果径間は 3,653m となつた。

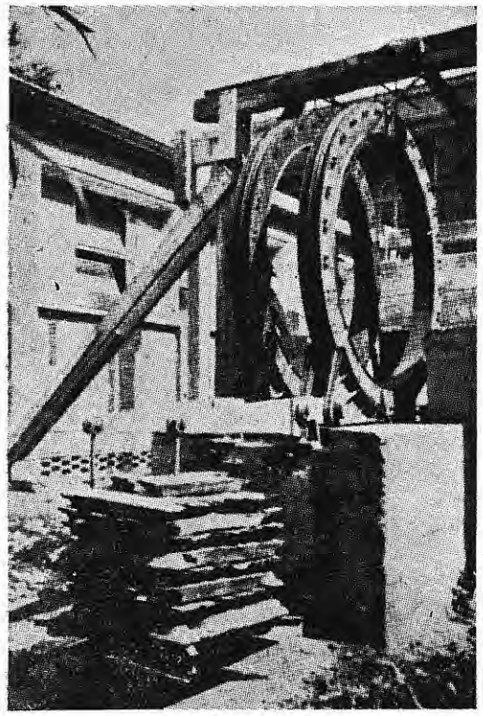
次に興味を惹く鉄塔設計条件，カウンター・ウエイ



電線の斷面圖



縮尺4分の1の模型鉄塔



懸　垂　装　置

構造等について記して見よう。

鉄塔——鉄塔はチヤンネルで建設され高さは224mで下段アームは長さ75mとなつている。基礎は正方形で対角線が電線方向に向く様になつている。想定風圧は40m/secの風速の風の風圧（100kg/m²），又不平均張力は25tonが考慮されている。又地震に対しては鉄塔の固有週期である1.65秒おきに5.6回 250cm/sec²の加速度の衝撃を加えても耐えられる様に設計している。此の鉄塔の固有週期は地震の固有週期より大きく，又風の息の週期よりは小さい様に考慮して定めたものである。鉄塔の総重量は450屯位となる予定である。

電線——電線は鋼心アルミ撚線であるが，24屯という大きな張力に耐える為に第2図の如く特殊な撚線構成となつている。鋼線の切断面積は311mm² 又アルミ線の切断面積は44.7mm² で破壊荷重は56.4屯，電線重量は2.8kg/mである。

電線引留方法——鉄塔は懸垂型で，こゝに使用する碍子は8連で上部には第3図の如くスプリングが設けてあり50屯の荷重に耐える様試験されている。電線の張力はカウンター・ウエイトにより24屯に保持されるのであるが，その為には夏季電線が膨脹し弛度が増した時には電線は移動する。従つて此の方式では電線は従来のクランプの様な方法で碍子に固定することは出来ないので，電線懸垂点には5つの歯車を半径13mの円周上に並べこれに無限軌道の様な鋼帯をかけたものゝ上に電線を支えている。そして此の電線は特別に設置した引留設備に固定されるのである。引留碍子は20ケ連碍子12連が懸垂型と同様にスプリングの作用によつて等分に力を保つ様に組立てられ，83屯で試験されている。此の引留碍子は強力なワイヤーに結ばれ又ワイヤーは直径2.2mの第4図の如きドラムに3回捲いて固定している。此のドラムは24屯の張力を一定に保つ様に設計されている。

両端には別に連繋用の鉄構があり，こゝで横断線は母線と特殊なクランプで接続されるのである。此の工事は現在進行中と報じられて居り，その完成を耳にするのも遠いことではないであろう。尚こゝに掲出した写真はすべて模型又は実験室内に於けるものである。

以上外誌より送電に関した報道2つを抽出しその概要を御報告申し上げた次第である。世界の送電技術は日一歩と進んでいる。鉄塔もコンクリート充填の鋼管製のものが使用され（スイス・ドイツ）又380KVの直列コンデンサーも出現している。

技術に国境なしと云われるが，よいにつけ悪いにつけ海外でどの様なことが行われているかを知るのは無駄にはならぬと思い浅学の小生無理にペンを執つた次第である。

（31頁より）

しては達成することは到底不可能である。

尚ほ社債については現在その手取金使途が債務償還に充当されて居り，建設資金には当てられていないので茲には省略する。

5. む　す　び

本文の発表される頃には29年度予算の全貌も明らかとなるであろうが，この予算を基盤とする政府の財政金融政策によつて電気事業の設備資金も圧縮規制される状況にある。既に開銀資金及び債券発行銀行に対する削減は決定した様なものである。又市中銀行の融資も昨秋来規制が加えられて居り，今後更に圧縮されて来ることは疑いない。

一方，設備資金の需要面を見るならば水火力電源は今尚ほ無制限に電力を供給し得ない状態にあり，且つ又電源開発に伴つて送変配電施設も建設するのでなければ所謂し画竜に点晴を欠くことになる。従つて設備資金の需給バランスは大巾に食い違つて来る。

好調なりし本年度と比較し来年度の設備資金がどうなるか。更にデータを集めて今後の検討材料としたい。

(29.1.15)

未収料金回収の法的措置 (1)

宮城支店　神　田　香　苗

1，ま　え　が　き

最近貿易の不振や特需の減少などに伴つて業界の不況が目立つてくるに従い，電気料金の焦付きも散見されるようになつてきた。元来電気料金の支払いというものは，動力源を電力に求めている需用家にとつては，心理的にも実際的にもほかの債務より優先性があると言つても過言ではない。電気料金が支払えないというときは，その需用家にとつてもう如何ともしがたい破目にまで落込んでいる場合が多く，まして供給即消費という形の継続的取引とも言うべき電力供給の特殊性を考慮すればなまなかの催告などでは回収は覚つかないだろうから，回収の手段としては勢い法律的措置に訴えざるをえなくなるように思われる。従つてこうした電気料金未収回収策としての法的手段について現場の集金担当者の皆さんがある程度知つておかれることも悪いことではないと思う。そこで社誌の一隅を拝借してこういう趣旨から必要と思われる法的措置の概要を平易に浅くひろく書いた積りである。

2. 需用家の信用状況調査

未収回収の法的措置といつても，どのような方法がよいか乃至は可能かということは，ある程度その需用家の財産状態を摑んでおくことが必要である。従つて日頃支払状況が悪く経営じたいもあまり芳しくないような需用家でいつ焦付くかわからないようなおそれのあるものに対しては，できればその所有不動産の登記簿を閲覧したり，取引先を洗つてみたりしてなるべくくわしくその信用状況を調べておくことが焦付の防止にも焦付いたあとの善後策にも必要なことであろう。

3. 債権確保の方法

電気料金をとる権利即ち債権があつても放つておけば時効にかゝつて消滅してしまうし，ぼんやりしていれば需用家の方が素寒貧になつてしまつてびた一文もとれなくなることもある。また受取つた小切手が不渡りになつたからと言つて不渡り小切手や電気料金領収証を裁判所に持込んでみてもおいそれと強制執行ができるわけではないから，ぐずぐずしている間に他の債権者の後塵を拝して取れる筈のものも取れなくなるという場合も考えられる。そこで債権が消滅しないよう，取立てのための相手の財産がなくならないよう，またいざというときはいつでも執行吏を差向けられるようせつかくの債権じたいを確保しておくということが先づ何よりも大事である。

(1) 時効の中断

電気料金をとる債権は，短期消滅時効といつて弁済期に入つてから2ケ年間放つておけば消滅するから，時効期間の進行を阻止する必要がある。これを時効中断というが時効中断の事由となる方法には次の三つがある。

(a) 催告する。これは後で挙証する便宜上，内容証明郵便にすべきで，催告してから6ケ月以内に訴の提起その他の訴訟上の手続を講じないと時効中断の効力がない。

(b) 債務を承諾させる。需用家に電気料金支払の義務があることを確認させることである。これも書面にした方がよいが，債務の存在を認諾したものでありさえすれば体裁は，支払遅滞の詫証文であろうが猶予申入書であろうが時効中断事由として後日の証拠となる。

(c) 訴の提起，支払命令の申立，調停の申立，和解の申立，破産手続参加，和議手続参加，差押，仮差押，仮処分など。これらも訴が却下されたり，支払命令をえてから一定期間内に仮執行宣言の申立を怠つたり，和解が不調に終つたりしたような場合は，時効中断の効力を生じない。

以上が消滅時効中断事由であるが，電気料金債権の場合は，概ね時効にかゝらない前にこのうちのいづれかの措置がとられるだろうから大した重要性もなかろう。

(2) 擔保權の設定

以上のような権利じたいの確保もさることながら，権利行使の客体を確保しておくことがもつと大事である。というのは，需用家が財産を処分したり，隠したりして回収できなくなることも予想されるからである。そこで需用家のある財産を担保にとつておいていよいよというときにはその担保物を競売するなりその

他処分することによつて料金を回収しようという方法即ち担保権の設定という措置が必要になつてくる。利用できそうな担保物権としては次のようなものがあげられる。

(a) 先取特権

これは法律によつて定められた特殊の債権をもつものゝみが債務者のある財産を競売することによつて優先的にその債権の弁済をうけられる権利で，当事者間の私契約によつては，法定以外の先取特権を設定することのできないものである。しかし料金回収策としてはあまり役立たない。というのは，電気は供給即消費という特別な動産である為一番肝心で手つとり早い民法311条第6項の動産売買の先取特権が援用できないからである。従つて有体動産の場合に比べてそれだけ未収を少くする機会がなく結局残るものとしては，理論上は，民法310条の日用品供給の先取特権と同311条第5項及び325条の動，不動産保存の先取特権ぐらいがせいぜいの処であるが，その前者も判例の解釈はどういう立場に立つているかは知らないが，同条の立法趣旨からいつて電気の場合どの程度まで採用できるものか疑問だし，後者にしてもごく限られた特殊な場合しか考えられないようである。

(b) 抵 当 権

抵当権は，その目的物を抵当権者（債権者）に引渡さずに抵当権設定者（債務者）に使用収益させながらその上に優先的弁済権を確保しようという約定担保物権で，不動産のほか，地上権，立木，船舶，自動車，各種の財団，鉱業権，漁業権，農業用動産等を目的物とするものである。抵当権は，一番抵当，二番抵当といつたふうに同じ目的物に幾つかの別個の抵当権を重複して設定することもできる。また，先取特権と同じく物上代位といつて例えば抵当物である家屋が焼失したらその火災保険金に，土地が売買されたらその売却代金に優先弁済の効力をもつといつたふうに担保物が変つてもその交換価値について追つかけて行く性質があるからいわば担保としては，それだけ確実であろう。抵当権は対抗要件として登記又は登録することを要し，債務者から弁済があつたとき，目的物を競売して弁済をうけたとき又は抵当流れとなつたときに消滅する。また抵当権には滌除（てき）という制度があるが不動産相場が逐年高値を呼んでいるこの頃では説明の要もなかろう。

(c) 質 権

質権は，債務の弁済があるまで目的物（質物）を質権者に留置し，弁済がないときは，目的物を競売して優先弁済を得ようという担保権で，抵当権と同じく約定担保権だから契約で設定できる。目的物の種類によつて動産質，不動産質，権利質等があり範囲はひろいが，目的物の引渡を要する点がいわば難点で，未収回収の実際としては，権利質のうち公社債等の債権質，株式質，電話加入権質等しかせいぜい利用できないのではないかと思う。株式の質入はいわゆる登録質といつて株主名簿と株券にその旨記載しておく必要がある。流質契約は，民法上禁止されており，競売するのが普通であるが，電気供給のような商行為によつて生じた債権の担保のために設定された質権については，差支えない。従つて未収料金の物納について先頃本店から指示があつたが，情況と物によつては，流質契約の形で予め確保しておくことも一つの便法としては考えられよう。なお質権も前述の物上代位性をもつている。

(d) 譲 渡 担 保

質権は，目的物の引渡しを要件とするから債務者がその目的物を使用収益することができないし，債権者としても適当な保管義務があるうえに担保権の実行の手段としては競売によることになつている。従つてこうした法定担保物権の不便さを補つて，競売手続の煩を避け，任意処分できる為の便法として，法律上の形としては，債務者所有の動産なり不動産なりの所有権を債権者に移転し，その財産は債務者が賃借して引続き使用収益しながら，実質的の経済効果としてはその財産に担保的な役目を果させようというのが譲渡担保のねらいである。譲渡担保は，現行民法の認めていない担保ではあるがこういうわけで債務者の使用収益が可能である点と，競売によらず任意処分できる点で担保形成としてのすぐれた長所を持つているが，反面債務者が使用収益している分には，債務者所有の財産か，譲渡担保なのか外見は不明であるから，悪質な債務者に出くわした場合は，債権者が不測の損害を被る危険もないではない。

(3) 保 証 契 約

上述の担保権の設定は，物によつて債権を確保しておこうという方法であるが，これに対し，人によつて債権を確実にしておこうというのが保証契約である。そういう意味で前者を物的担保というのに対し，後者は人的担保と言われている。即ち債務者が債務を履行しない場合に，債務者以外の第三者（保証人）が従たる債務を負担すること，平たく言い換えば，かりに電気料金未収の場合保証人が債務者に代つて料金支払の義務を負いますということで，債権者と保証人との間の契約によつて生ずる。しかし料金未収の回収方法としてはさして重要でもなそそうに思われるので詳説は

避けたい。

(4) 債務名義の確保

さていよいよ未収を回収しなければというときに担保権が設定されている場合は，後述するように任意競売ですぐ回収できるが，その他の場合は，強制執行によらなければならないから，差押，競売，弁済という形になるのが普通である。ところが強制執行は先にもふれたように，私証書や手形小切手などでは不可能で債務名義というものがないと強制執行できない。だから債務名義になる書証を握つておくということは，ある意味で同時に，債権じたいを確保することにもなる。債務名義については，後で強制執行手続の説明のとき詳しく述べるが，例えば公正証書，和解調書，確定判決，仮執行宣言付支払命令などはいづれも債務名義であつて，これさえあれば執行文を付与してもらつてすぐ強制執行できる。従つて未収の公算が大きい需用家で適当な担保が取れないか不足している場合などは，公証人役場で電気料金債権につき公正証書を作成しておくことも必要であろう。そのほか後述の如く簡易裁判所え出頭して即決和解をすることも債務名義をうる一つの捷径といえよう。

とに角，比較的簡易な手続でしかも期日も要せず債務名義を確保しておける場合は，するに越したことはないわけである。

(5) 保 全 訴 訟

担保や公正証書などの債務名義がない場合は，通常の民事訴訟手続によつて何度も口頭弁論期日を重ねてから終局判決を得，その確定をまつてやつと執行ということになるのが普通であるが，それまでには相当の期間を要するから債務者の方がどんどん財産を処分したり隠匿したり或いは所有名義を書換えたりしていざ強制執行というときには無一文になつていないとも限らない。そこでこういうおそれのある場合には，強制執行ができるようになるまでの間，なんとかして債務者の財産を一時差押えるか又は現状をそのまゝにさせておくような方法即ち後で強制執行ができるように措置を講ずる必要があるわけである。仮差押，仮処分はこういう必要から生れた制度で，両方併せて保全訴訟又は執行保全手続といわれている。このように保全訴訟は権利の執行を保全する趣旨のものだから，これだけでは未収回収はできないのであつてあくまでも強制執行手続のための予防的な手続にすぎないのである仮差押，仮処分の手続は，いづれも申請書を裁判所に提出するか又は口頭で申請することによつて始まるが以下二つに分けて説明したい。

(a) 仮 差 押

仮差押は，ことの性質上迅速且つ債務者に秘密に行われなければ実効があがらないから，決定にあたつて口頭弁論は行わない。即ち債務者の審訊手続はしない。その代り債権者に請求及び仮差押を必要とする理由について疎明させる。疎明というのは，証明までは行かないが裁判官に蓋然的な心証を形成させる程度に事実を明らかにさせることである。もつと手つり早く言うと裁判官が「成程確からしい。」と思う程度に明らかにすることである。疎明ができないか又は充分でないか或いは疎明があつても必要と認めるときは裁判所は保証を命ずる。保証は，現金又は公債等限られた有価証券を供託する方法で行い，その額は裁判所が決定する。こうして仮差押申請が許容されゝば仮差押命令が送達になり，債権者は，動産ならば執行吏に委任して差押えてもらえるし，不動産ならば裁判所に申請して職権で管轄登記所（法務局）に嘱託し登記してもらえる。こうなれば債務者は，その財産を勝手に処分することができなくなり本案訴訟の終局判決あるまで執行の対象は確保されるという次第である。なお仮差押命令には仮差押解放金額といつて債務者がそれだけの金額を供託すれば仮差押の執行を停止し，又はすでになした仮差押を解いてもらえる金高が明示されており，もしこの場合供託があれば債権者の権利は，供託金の形でその執行を保全されることになるわけである。

(b) 仮 処 分

仮処分には大別して係争物に関するものと仮の地位を定めるものとがあり，前者は，債務者が争いある物件の現状を勝手に変更すると将来権利の行使ができないか又は大へん困難になるような場合になされる「現状変更は罷りならん」という趣旨の仮の処分で，後者は争いある権利関係ことに継続的な権利関係について放つておけば終局判決のきまるまでの間に著しい損害又は急迫した危険があるような場合に，仮にその権利関係上の地位をきめることによつてそれを防ごうという趣旨の仮処分である。手続その他については仮差押と大同小異で，たゞ事前に口頭弁論を開くのが普通である。仮処分申請が料金未収回収の一手として使われることはおそらく特殊な場合に限られると思う。却つて料金支払遅延のため送電停止を喰つた需用家が苦しまぎれに，電気の供給をうけるべき仮の地位を定める仮処分として逆に利用することがまれに見られるようである。

（以下次号）

修理班の運営に就いて

新潟支店発變電課長　石　黒　　守
新潟支店高田修理班長　宮　下　森　太

はしがき

豊富低廉なる電力の供給とサービス第一のモツトーは当社創立以来天下に声明した一大公約であり，之が履行の為め新電源の開発を初め送配電ロスの軽減既設設備の保守の完璧等能率の向上，出力の増強に寧日なき状態である。

100万キロ突破という当社の発電力に一新紀元を画したとは云え依然として需要は供給を遙かに上廻つて一滴たり共溢水を許さぬ状況下に置かれている。かゝる時発変電所の合理的保守の一手段として，修理班の設置が企図されたるものと信ぜられる。もともと旧日発当時にも一支社一修理班が設置されたが機関の性格並びに組織上に欠陥もあり，充分な機能の発揮も見ずに日発解体前後には殆んど修理工場的存在に終始した。良質低廉なる電力の供給は機器の整備改善，細密なる点検手入に依る事故の未然防止，自動化に依る保守の簡易化や機構改革に依る事務の簡素能率化等に依つて経営の合理化を推進されねばならぬことは言をまたない処である。

昭和27年6月社礎充実のさきがけとして行われた第一回機構改革に於いて，高田電力事務所を廃止して管下現業機関を新潟支店に所属せしめ，新構想のもと当社のモデルケースとして高田修理班が設置された。

以下今日までの高田修理班運営の経過並びに現況を述べて読者の御批判を仰ぎ度い。

1. 機関の構成と担当発変電所

第一表　人員構成表

種別	社員	短期傭員	摘要
班長	1		
事務	2		昭28.4事務合理化に依り1名営業所轉勤
電気，機械	7		
機械	3		
工場	4	4	
自動車運轉	1		
保健婦	1		高田地区支店直轉發變電所担當
計	19※	4	※現在實稼動17

第二表　当面の担当発変電所表

發電所 認可出力 KW	個所数 A級	R級	C級	計	變電所 容量 K.V.A	個所数 A級	B級	計	利用し得る最寄工場 A級	B級	C級	計
90,310	3	3	7	13	7,500		1	1	1	2		3

註　發電所　A級は　10,000 KW 以上
　　B級は　10,000 KW～5,000KW
　　C級は　5,000 KW 未満とする
　　變電所　A級は　10,000 KVA 以上
　　B級は　10,000 KVA 未満とする

2. 機關の性格及び任務

イ．性格は支店の技術出先機関ではあるが統轄機関ではない。

ロ．支店の指導下関係各所の要請如何にかゝわらず修理班の発意に依り，各所の技術上の診断勧告。

ハ．常に改修計画の立案をなし予算の編成に当つては，当該機関の長と修理班長は共同で支店へ提出予算案の作製をなす。

ニ．発変電所工作物の修理の場合，発変電所に関する作業責任者は当該発変電所長である。

3. 機器点検手入計画

機関発足に伴い先づ運営指針ともなるべき機器点検手入計画表点検カード，測定基準，巡視簿の作製に相当の日時を裂きそして之れが立案に当つては下記の要項を骨子に作製した。

A．担当全区域に亘つて点検手入作業員の適正配置可能にして年間を通じて流れ作業化する。

B．10ケ年可能電力を考慮した最大限度交互停止の可能時に各作業をあてはめて実際停止を可能ならしむる。

C．設備機械一台の所及全停止以外は不可能なる作業のみ豊水時を選んだ。

イ．機器点検手入計画表

1．機器点検実施基準表

当社水力発電所保守要則に準拠管内機器の実情に則した点検基準を定めた序列早見表の作製。

2．年次別機器点検総括表

各所機器毎の基準序列を年次別に記載した5ケ年間計画一覧表。

3．機器点検人員基準表

各所施設を勘案の上機器分解点検所要人員一覧表。

4．月別点検人員総括表

年間所要人員を月別機器に分類集計した一覧表。

尚分類別として

水車関係月別点検人員表

発電機月別点検人員表

変圧器関係月別点検人員表

配電盤開閉装置関係月別点検人員表

上述の点検手入計画に則り年度初めに当該年度機器点検一覧表を作製して，支店主管課に提出承認の上主管課より年度点検手入計画として各発変電所に指示する。

ロ．測定基準の統一

入口弁，ランナー，ガイドベン，ライナー類，軸承関係，調速機，圧油装置，其の他に分類し各符号整理なし摩耗度測定等の統一を図り整理す。

ハ．機器別点検カード作製

機器分解点検手入の都度前後の測定値を上記測定基準に依り記入して比較検討を容易にし，現在将来の参考データーたらしむると共に，作業班員の脳裡に機器の実態を把握せしめる。カードは引出自在連座式特殊容器に納め，随時随所の閲覧を便にし管内機器状況の縮図函たらしめた。

ニ．巡視点検簿

運転中の機器並びに時間的に分解の余裕なき停止機器巡視の場合機器の要部の状況を項目別に診断記入するもの。

4. 新発足に伴う諸問題の克服

イ．修理班の性格に対する理解

修理班は統轄機関ではないが諸任務遂行の場合，即ち診断勧告，改修計画立案の場合等の技術上の実施面に於てやゝもすれば統括機関的な誤解が生み勝ちの点が多々あり，関係各所の理解と協力を得る為には相当困難な問題であり，順次理解と認識が深まりつゝあるがこの点の調整は今後共一段と努力の必要がある。

又各所の点検手入作業其の他の実施に当つては，一応各所に於ては自己の担当工作物であり自信を持つている処の謂ゆる庭先え乗り込んで当該個所と事前の計画に基き充分話合いの上協力して作業を行うのであるが，当初は仲々100％の理解を得ると云うわけに行かず相等困難な問題であつたが現在は誠実と真剣な努力の結果漸次この点も理解が得られつゝある。

ロ．作業訓練

当機関の構成19名中事務並びに運転手を除いた15名の内旧電力事務所電力係在籍者8名，修理工場勤務者4名，発電所よりの転勤者3名にして概して少壮技術者，技能者にして且つ大部分は机上技術者であつた者が実施技術の実務に携つた為，発足早々は実施効果を挙げるには相当困難であつたが少数の基幹人員を中心にした誘導組合せ作業と真剣な班員の技術探究熱意，一作業終了毎の作業報告会及随時の研究会を通じての結論を次回作業に対する資料心構えとし，又各人毎に1.2項目の研究テーマーを分担し，その研究結論を骨子に研究発表会を通じて相互の啓蒙に務める等した為班員の技術向上著しきものあり，現在に於いては水車関係の諸作業の全部発電機線輪の入替等管内工作物の稀有の作業の他は殆んど班独自で実施可能の段階に達した。

5. 作業概況

昭和27年7月以降28年3月まで暫定措置として新支総々発第467号指令に基き電力事務所廃止後の残務整理新発足に依る修理班諸企画に主力を注ぐと共に，技術関係に於いては勿も角も技術実施面に遅延を来さざる様支店の指導のもと関係各所と協力し万全の努力を傾注した。

28年1月以降の冬期渇水期より豊水期を通じ計画に依る本格的分解点検手入を実施した。点検修理に当つては実施前に判明している資料に基き周到に企画準備して実施されたのであるが，分解前不明確にして分解後点検計測の結果不具合の判明されたものも相当あり，予定停止時間の関係や応急資材調達の不可能，工場加工能力の超過等種々の隘路に阻まれて実施不可能部分も相当あつたが，次回には必ず実施方針を以つて準備調査した。かゝる点検手入回数を重ねることによつて真に信頼感のもてる機器に整備出来得るものと確信する。

尚従来のメーカー任せの据付や仕来り保守に比べて班発足後は科学的に具体的に精密計測による調査診断をなす結果，構造上，能率上の不備点を始め，其の他の不備点が次々に判明したが，これ等を可及

的速かに打開に努力した為効果的には今昔の感を深くし最終的成果の絶大さを信じて疑わない。

発足以来1年有余に於て突発事故以外は殆んど年次計画に準拠して点検手入の遂行が出来た。この間診断結果によつて班創意の対策を実施に移し，発電所建設以来の悩みを解消し安定保守，出力増強に寄与して当班の信頼感を高めた実績も数件あるがその概略の二，三について述べる。

第1例　A発電所発電機振動防止

当発電所は竪軸同期発電機11,000KVA 4台（内1台コンデンサー運転）を備え関川水系の最大発電所にして大正15年12月設立，有効落差 201.9 m，回転数 720 R.P.M 元中央電気当時関西系え送電の目的を以つて設置されたものである。設立当時より各機共常時振動 $^{10}/_{100}$ 偶発振動 $^{45}/_{100}$ の発生あるので今日まで数回に渉りメーカーを招聘して之れが防止対策を講じてきたが依然として安定感を得るに至らなかつた。之れに附随してスラスト軸承（スプリング型）も70°Cを下らず，加之に主軸填座機構不備のため水車側圧が高いので，漏水はグランドから噴出して水車上カバー上を泥沼化してケーシング上から溢流し各部の腐蝕はもとより全負荷時には水車ガイドのオイルパン内へ噴水が侵入するので，負荷制限の已むなき状態であつたが昨年来修理班の推進指導のもとに専門工を招聘して綿密なるセンター修正，水車側圧対策として均圧管増設施行等に依つて最大振動 $^{1.5\sim1.0}/_{100}$ にとゞめてスラスト発熱も一応小康を得，又グランドよりの漏噴水は10,000KW負荷に於いて聊かの悩みもなくなり各部の注油手入が容易になり同所の保守に対する安定感を甚しく高められて来た。

第2例　B揚水式発電所ポンプ振動防止

当所は本邦最初に建設された揚水式発電所にして，豊水時関川及び池尻川の余水を野尻湖に84m揚水し，貯水の上渇水期の出力増加を目的とせるもので，その落水によつて下流各発電所を通じ有効落差 577m に利用出来て渇水期に対する重要なる役割を果している。昭和9年4月の設立にして4台のポンプ(1,130KW×3.2500KW) 3台の水車（1,340×3）3台の発電機（1,500 KVA）1台の電動機（2,700 KVA）を有し総出力2,340KW 総揚水量5.4m³/s 回転数 1,200R.P.M×3台，900R.P.M×1台なり。この揚水ポンプ4台共構造上の欠陥により常時振動 $^{20}/_{100}$ 揚水切替時亦は揚水中空気吸入の為真空破壊による偶発振動は $^{40}/_{100}\sim^{50}/_{100}$ にして，之れが影響によりガイドボールトを折損（1台1ケ年折損ボールト数30本位）噴出水のため機械室は，恰も戦場の様な騒ぎを演ぜねばならずいつも運転員は戦々兢々たる不安な心境にて運転に従事せねばならなかつた。

昨年来之れが防止対策に着手し最欠陥であるガイドベーンの振動原因である処のガイドベーンとケーシングとの密着工作の為ケーシングの座繰，ガイドベーンの肉盛仕上合せセツトリーマーボールト縫綴に伴う補強工作等に砲金熔接鋳物熔接など，未完成時代を脱せぬ施行技術の諸問題を克服しながら一応施工を終えて揚水試験を行つた処，常時振動 $^{2}/_{100}\sim^{1}/_{100}$ 偶発振動 $^{8}/_{100}$ 程度にてガイドボールトの切損事故も皆無となり一応小康を得た。尚真空破壊を防止し偶発振動除去の為揚水中に於ける空気吸入防止対策としては，目下改造主軸填座の創作中にして，之の効果如何が問題完全解決の山である。

第3例　C発電所水車発電機センター修正

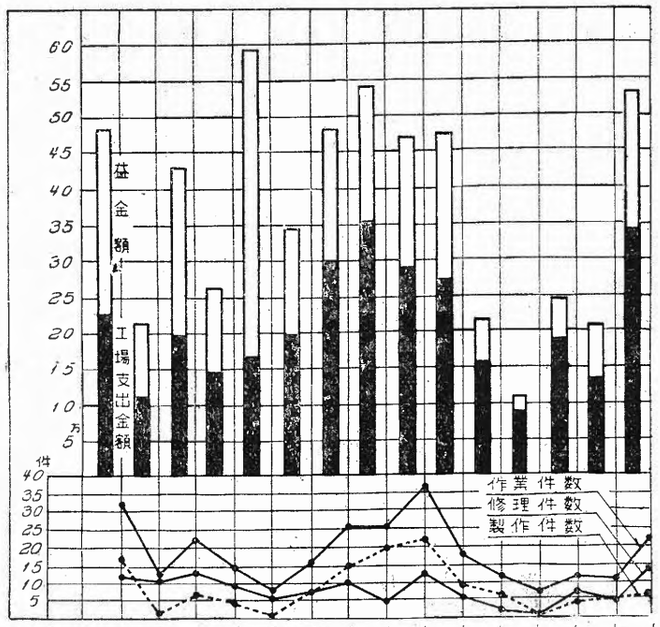
当所水車発電機も常時振動 $^{10}/_{100}$ にして軸承類の発熱が甚しいので診断の結果，建設当時より水車発電機の直結カツプリングはルーズボールトにてセツトされ，尚カツプリング間に 2.5m/m の粗仕上ライナーが挿入されているのが発見された。綿密なるセンターリングに依つて狂ひを修正し，カツプリング間のライナーを取除いたため，水車主軸を発電機側に寄せた。之れがランナーセンターに及ぼす影響は，ランナー両側並行止カラーを不並行カラーに製作替に依つてランナーセンターを調整した。又カツプリングボールトはリーマーボールトに取替した結果，各部の振動は零となり，軸承温度も下り，バランスし成績は良好となつた。

尚従来 #1 #2 機は同一出力であり乍ら，水車カバーライナー，ガイドベーンは夫々寸法異り互換性なきものを改造をなし，同一寸法とし互換性を持たせた。

第4例　其の他

独創考案として，水圧鉄管のエアパイプ凍結保護装置，ガイドベーン調整用簡易エキセンピン，手動式発電所用の調速機ベルト切断保護の機械的スリーブ，落下式装置，ブレーキシユー消耗時の安全ストツパ等は当班のさゝやかなる考察になるものゝうちの二，三のものである。

第5例　班附属修理工場稼仂内容表



件数 ／ 金額 月別	27 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
作業件数	32	13	21	15	8	16	26	26	26	18	13	8	12	11	22
製作	14	11	14	10	7	8	11	11	6	8	4	7	5	6	10
修理	18	2	7	5	1	8	15	15	20	10	9	1	7	5	12
工場支出金額	226	116	197	145	162	186	278	360	280	265	165	96	194	133	342
外註相當金額	489	212	431	267	596	397	488	542	469	475	223	115	249	213	536
益金額	263	96	234	122	434	211	190	182	189	210	108	19	55	80	194
工場稼働班員	135	252	258	299	216	216	156	223	279	199	130	120	127	132	170
臨時工	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	25	3	85

註　金額単位　1.000円

6. 修理班発足の効果

イ．点検手入に依る溢水電力量の軽減

周到に企画した年次計画作業の結果下記の如き溢水電力量の減少を得た。

自昭27-10～28-9年間

水系実績可能電力量　592,362,000KWH

25年以降3ケ年実績停止率平均　1.67%

8,478,425KWH

自昭27-10至28-9実績停止率　0.68%

4,087,000KWH

年間減少電力量　4,391,315KWH

ロ．点検手入実施率の向上

従来も点検手入は相当計画的に実施して居つたが，点検手入当該現場の作業人員数及び実施予定時期の選定は必ずしも理想的でなかつた為，実施率の低下もまぬがれなかつたが，修理班発足後は飽く迄年次計画必実施の熱意を以つて当り，且充分に検討した作業工程表に則り準備作業の完璧並びに作業員の集中化に依つて予定工程と実施工程は完全に一致させ得る為に予定計画は殆んど完遂させ得る。

ハ．作業内容の充実及び効率の上昇

当該個所の見解にのみ陥り勝ちな従来のあり来りの点検手入に比すれば，修理班では各所の実施経験と専門的研究の基礎の上に立つた作業を，而かも科学的計画的に行うから修理加工は勿論調査計

第 6 例　自27－10 至28－9　停電作業統計表（直轄分）

項目＼月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	点検台数	機器数
予定件数	33	29	32	16	19	11	23	18	21	28	18	14	232	(66)
内 3,000KW以上	28	22	26	11	16	10	18	13	14	16	17	11	185	(41)
内 3,000KW以下	3	4	6	5	3	1	4	5	6	9	1	3	39	(25)
譯 田口變電所	2	3	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	8	(0)
實施件數/實施率	9/17.3	7/58.6	10/31.3	11/68.8	15/78.9	19/17.3	8/34.8	5/27.8	9/42.9	20/74.1	16/88.9	15/107.1	1,801	
内 三千KW以上 予定分實施	0	7	1	2	11	4	2	2	0	1	5	2	110	(28)
内 三千KW以上 前月分 〃	3	0	0	4	0	3	4	0	4	5	2	5	0	
内 三千KW以上 予定外 〃	3	9	5	4	2	6	5	2	2	2	5	5	31	(5)
内 三千KW以下 予定分 〃	0	0	0	0	0	1	1	0	3	5	1	1	19	(17)
内 三千KW以下 前月分 〃	0	0	0	0	1	1	1	1	0	5	0	1	4	(0)
内 三千KW以下 予定外 〃	3	1	4	0	0	2	0	0	0	1	3	1	6	(0)
譯 田口變電所 予定分 〃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	(0)
譯 田口變電所 前月分 〃	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
譯 田口變電所 予定外 〃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
未實施件數	33	22	31	14	8	6	15	15	14	10	10	6	92	(0)
内 三千KW以上 給電上	27	13	13	5	1	2	0	0	0	0	0	0	14	(1)
内 三千KW以上 當該現場の都合	1	0	0	1	3	3	7	5	10	9	7	3	58	(10)
内 三千KW以上 資材未入荷	0	2	12	3	2	1	5	7	0	0	3	2	0	
内 三千KW以下 給電上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内 三千KW以下 當該現場の都合	1	4	6	5	2	0	2	1	3	0	0	1	14	(0)
内 三千KW以下 資材未入荷	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
譯 田口變電所 給電上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
譯 田口變電所 當該現場の都合	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	(0)
譯 田口變電所 資材未入荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
予定停止電力量	542	320	145	0	176	0	1,519	1,974	1,401	2,372	170	2,372	10,991	
實績停止電力量 (a)	316	0	196	162	18	248	269	311	237	119	1,489	882	4,087	
水系實績可能電力量 (b)	40,449	41,768	38,464	33,413	29,415	53,703	55,540	64,714	60,890	61,956	58,771	57,329	592,362	
a/b %	0.7	0	0.5	0.5	0.06	0.4	0.5	0.5	0.4	0	2.5	1.5	0.68	

（註） 電力単位1,000KWH。各月の未實施件數を翌月以降の予定件數に更に計上する。

測要点が点検カード測定基準に依つての記入等惑う事なくスムースに行われるから，内容の充実した作業が能率的に実施出来る。

尚専門工具の利用と熟練度の上昇と相まつて流れ作業化した処の無駄のない作業が行われる結果，作業効率は上昇して来る。

ニ・ 作業期間の短縮

点検手入並びに事故復旧作業に於て機動的に人員資材の集中が可能なるため作業期間の短縮は当然である。

7. むすび

修理班は新設機関であつて之れが効果的期待を遺憾なく発揮するには，関係機関の理解はもとより班内容の充実と班員の技術向上は最緊要の問題である。そして班自体の活動が迅速円滑に進め得らるゝ様な方途に対し，今後種々の隘路が除去されねばならぬ。

即ち尚一段と性格の明確徹底化，運営方針の一段の確立，予算の確立，所要工具並びに応急資材の速かなる充実，精密測定器の早期購入，班員の技術向上の為専門メーカーへ技術習得に派遣等が徹底化される時はその運営は益々能率化されて，設備機器の信頼度を高め所期の無事故良質の電力の確保が出来て，真にサービスの改善は期して待つものがある事を信じて疑わない。

当社の建築を語る

土木建設課　増田建司

問　建築に関しては一般にあまり認識されていないような傾きがあると思われる。今日はその意味でまず建築の一般的な概括的なことからお話し下さい。

答　そもそも近代建築――20世紀の建築は現代思潮の発端に密接な関聯をもつているのです。1905年ブレリオが，英仏海峡を飛行し，アインシュタインがその方程式を発展させた等は，20世紀文化の扉を開いた劃期的な出来事でしたが，新原始主義（Neo-primitive）の絵画が1905年頃から起つたのも偶然ではありません。そして19世紀のアカデミツクな象徴主義のものを否定して原始的な，固有的な，又内在的なものえの探究が始まり，ピカソ，ブラツクによつて Cubism（立体派）の運動が起り「色彩と形態」との純正な表現形式を確立し，（1908年 Cubism の名称獲得）更に自ら機能する機械の動的な，力学的造形美に対する関心となりAbstruct（抽象的）芸術となつて発展しました。

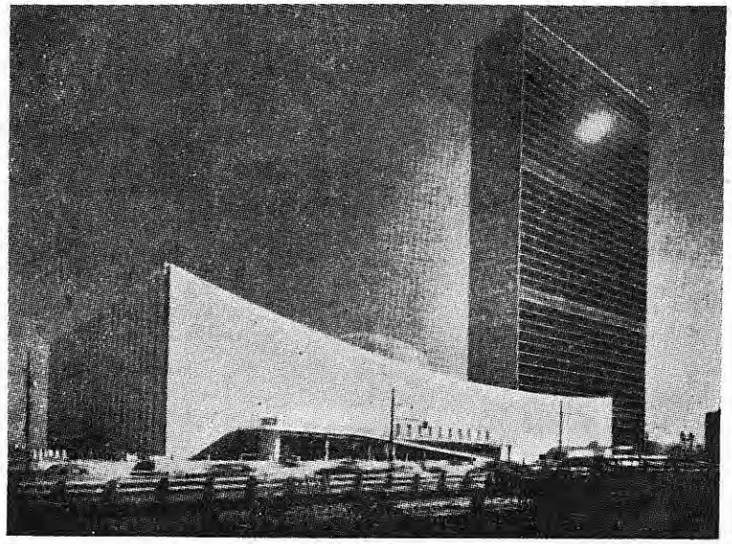
同様のことが建築に於ても起りつゝありました。フランスのオーギユスト・ペレーが1903年コンクリートによる最初のアパートを建てゝ以来，工学，技術の進歩は鋼筋コンクリート構造の自在性を開拓し，立体派と抽象派芸術の影響を受けて，正面だけの平面的装飾でなく，立体に一機械のそれのような機能的形態に重点が向けられるようになり，今日の建築の主流である Functionalism（機能主義）建築のヨーロツパに於ける発端となり，その妥当性，国際性より世界的に流行しました。工学は又建築の機能的要求より起る種々様々な形態にそうべく深奥に迄達しました。そしてルネツサンス，（復興主義）折衷主義に至る，凡ての様式建築は否定され，かつて支配者の権力誇示の道具であつた建築が，自身のオリヂナルな特性に従つて僅か半世紀の間に，時代の内的構造の結晶体として発展を遂げました。

ところが近代建築運動も第二次大戦を境として第1期運動は終末に近づきつゝあり，安定期に入つた今日，Functionalism はアメリカを舞台として高度の工学文明のもとに工学的建築として第2期的段階に入ろうとしてをります。

問　新建築とは一言にして言えばどういうことですか。

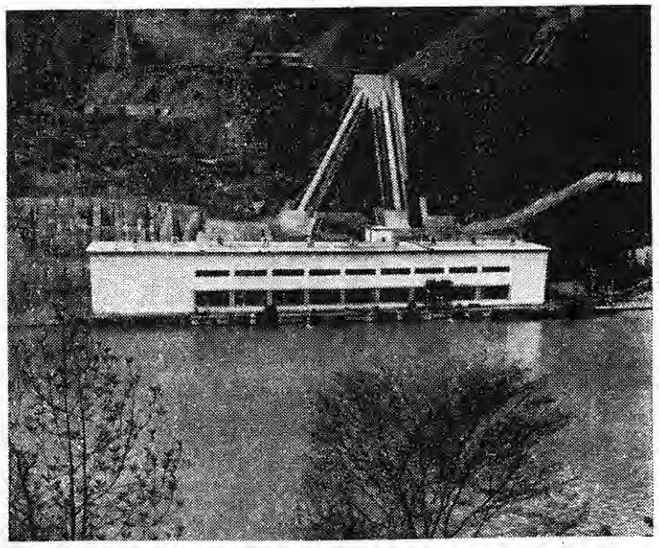
答　近代建築の意想の沿革を，時代的に考えて来ました。そしてFunctionalism が主流であると共に変遷期の段階であることを申しましたが，このイズムが国際性をもたれることになつたのは科学的基礎に立脚した各国共通の技術で，共通の材料，構造によつてつくられるものであることゝ，なんといつても大きな業績はフランスのル・コルビユジエの超時代的暗示と，不滅の作品の連続の影響であると申せます。1921年に彼の詩的なスローガン「家は住むための機械である」「機械は機能的完全体であるから美である。優秀船，航空機の合目的美，即ち機械の教訓により建築を正面装飾でなく形態えと一変させたのです。又ヨーロツパの人達は日本の桂離宮を称えその開放的手法にも学んだ。そして竪長窓に替つて横長窓の明朗さをスチールとガラスとコンクリートとの幾何学的構成により美的に表現した。

コルビユジエは1907年頃前述ペレーの門下に入り2



國連会館（ル・コルビユジエ作品）

年近く学んで後，ギリシヤ，イタリーえの研究大旅行をはじめ人間の偉大な文化的業績に学び，その感激を現代に再現させたのです。その仕事はフランスを中心として全ヨーロツパに南米に，そして戦後はアメリカの工業力と技術の力により機能主義の限界を超えて工学的建築へと進歩発展せしめ，国際連盟館とマルセーユのアパルトマンは30年以前，彼が世界中の建築家を驚倒させたその感激の実現であり，新時代えの初歩的段階であると考えます。戦後吾が国ではレーモンドによりリーダースダイジエスト，武さんにより仙台の公民館，レジヤーセンター，丹下さんにより広島の平和記念館，前川さんの日本相互ビル等が新建築であると申せましよう。最後にアメリカの建築について一言申します。ナチズム及びフアツシズムに脅かされたヨーロツパの建築家は大陸をその最もよい逃避場所とした。今世紀の大建築家の殆んどがアメリカに渡り，その資源と経済力を工学と技術の力により自由に駆使したので，ヨーロツパ的機能主義はアメリカに於て始めて大きく発展しつゝあります。



沼澤沼發電所

問　当社の建築物について何か話して下さい。まず沼沢沼発電所について。

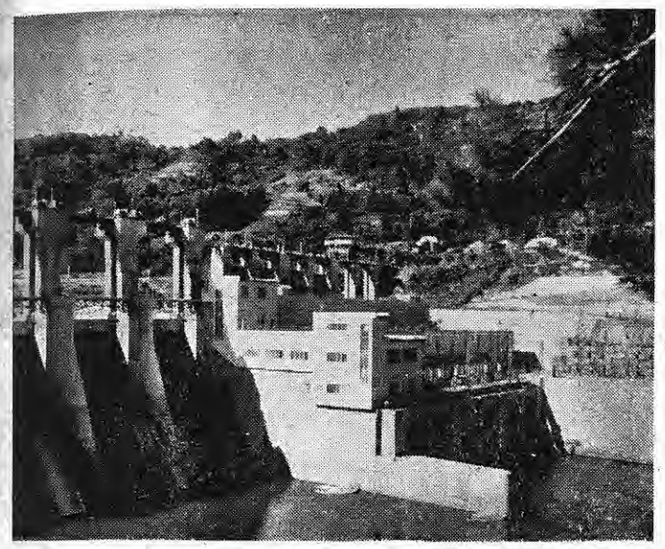
答　沼沢沼発電所は排水口が揚水の際は取水口になるわけですから，建物の床が水面より下6メートルのところにあります。一部水中発電所というわけで，又山の側は斜面が急傾斜になつているので，この建物は両方の面から水圧と土圧とを受けるのです。又発電機とポンプが横に並んで，これが2台あるので自然建物が横長になります。それで山側からの土圧に対しては建物の外側にドライ・エリア（乾堀）を作つて土圧の圧力を軽減するようにし，同時に川の側よりの水圧に対してもこのエリアによつて圧力を軽減せしめる様にしました。建物のヒサシには端に銅板を張つて凍害に備えました。よくこういうところには塗ものやタイルなどを張つて，それがつらゝや寒気のためはがれて失敗するものですが，沼沢沼の場合はこれがうまい具合に行つたようです。昨年春の建築学会の見学の際にもこれが好評を得ました。これは一種の無抵抗主義とも言うべきもので，雪や水に対してこれを防ぐというよりも，その浸透を予想してこれに抵抗しないで排除する方法です。つまり風土と環境の特性を考慮に入れて，これに合せるという主義で，水中発電所としての美しさを表現するように，横長の窓と白い壁面のマツスを強調して質素な材料を使いながら美学的な点を高めたつもりです。更にこれに水中発電所としての美学的な点を高めてゆきたいと考えました。

問　次に片門と柳津の場合について。

答　これらの場合はダムと発電所とが並列しているという，恐らく発電所としては初めてのケースで，設計に当つても土木の方と何度も接衝し，ようやく決つたような次第でした。建築の方としては背中にダムを背負つた特殊なものですし，まずこの条件を満たすための設計を基として，更に種々の制約，構造的にも期間的にも困難を伴つた多くの制約を一つ一つ克服して行かねばならないわけです。ダムと密着しているので水の滲透ということをまず考えなければならない。それで壁を2重にして水の滲透に備えましたが，これも水を防ぐというのではなくて，流れ込む水を誘導して排出する方法をとつたわけです。これもつまり自然の大きな力に抵抗しない方針をとつたのです。

問　本名，上田は現在進行中ですが，これについてその構想なり何なりを。

答　これはまだ出来上らないので，出来ないうちから何やかやと言うのは遠慮しましよう。たゞ此の度は鉄骨使用を許されたので，この点が従来と異るところでしよう。これは工期の短縮上非常に有効です。最近の発電所工事はすべて工期が短縮されているので，この為の工夫が要るのです。土木工事でドラフトを埋め終ると，直ちに電気工事の水車据付が初まりますが，建築も同時に初まるのです。夏瀬発電所の場合はこれが非常に調子よく行つて工期を5ケ月も短縮できました。本名と上田の場合も同様に行けばよいと思つています。



柳津発電所

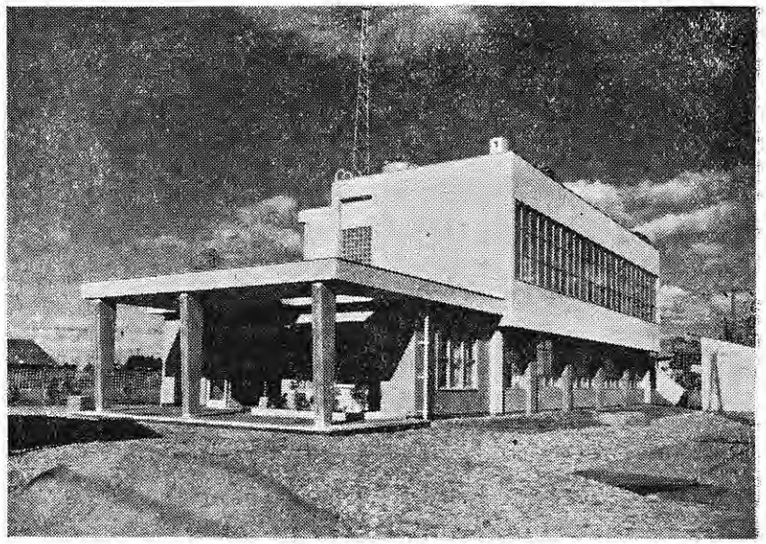
問　次に盛岡変電所について。

答　変電所は電気機器がたくさん並んでいる所ですが，電気は文明の原動力で文化の高さを端的に示すものですから，その容れ物である建物も又高度に文化的である必要があります。明るくして清潔で，而も変電所としての機能を満たすものでなければならない。それで二階は60センチのハネ出し構造（Cantilever）として，窓は連続窓として柱を外へ出さないで中に入れる式にして軽快さと明快さを与えました。玄関にちよつとした植木がありますが，これも玄関とテラスを兼ねたつもりで，まあぜいたくにならぬ程度に文化的に考えています。室内，殊に配電盤室などは壁一ぱいが窓になつているので，非常に明るくなつています。色も明るいものを使つています。最近色彩調節ということが云われて居り，まことに結構なことですが，今のところこれといつて感心したものは無いようです。建築上から云つてむしろ進歩よりも後退ではないかと思われるようなものがあります。色彩調節はもつとよく研究して新建築に適わしい色を使いたいものです。いずれにしましても盛岡変電所は今後の職場の見本のつもりで作つたものです。施工上で変つた点は二階の大梁を受けるために，梁間に4インチのパイプを3本使つてコンクリートに埋込み，型ワクの取外しを早期にやることを考えましたが，これは施工者の清水建設さんでも感心して，今後この手を用いようと云つてましたよ。

問　今後建築にどういつたことを又どんなことを希望しますか。

答　今後はやはり一般にはコルビユジエが拓いたような工学的であり感動的なものゝあるものが主となるでしよう。実にコルビユジエという人は何百年に1人というような天才であります。それから建築というものは極度に材料に制約されるものですから，たとえ優秀な設計でも材料がこれに応じなかつたら，建築することは出来ない。それで日本の産業が高度化して，新しい資材が量産されて，自由に大胆に新建築をやつて行きたいものです。現在は設計の進歩に比べて材料が貧弱なので，我々も自由にやることができないのでいろいろと設計にコントロールの必要があるのです。自由に大胆に，設計したいというのが我々の希望でしよう。このことについてはいずれ又何か書いてみたいと思います。

～　～　～



盛岡変電所



～新装の新津営業所入口受付～

岩手支店

◎水澤變電所の新設

水沢町を中心として，その附近の町村は来る３月の市制施行を前に産業開発，観光施設の整備等が計画され，それに伴う電力関係の負荷も急激に増加が見込まれるに至つた。又一方，岩手県の総合開発計画に基ずく多目的ダム第１号の胆沢ダムが電源開発会社により完成し，胆沢第１発電所が発電することになつたので，当社の馬留，岩柳両発電所が運転を停止せざるを得なくなり，その代り胆沢川送電線を通じその電力を一応当社に於て購入使用することになつた。

以上の様な理由により，従来の水沢変電所を廃止し新にその西方約500米位の地点に66 KV，9000 KVAの変電所が新設されたものてある。従来の4,500KVAに比し，その出力が倍加せられ，且は，30 KVA系統より分離された為，周辺の30KV系変電所及び，黒沢尻変電所の運営上にも寄与する所は甚だ大きいものがある。

竣工式は12月19日に関係者多数の参列を得て挙行せられ，市制の施行第１歩として，その将来が祝福された。（N生）

◎JODFの誕生

昨年12月25日，出力１KW，周波数 940KC をもつて，全国一広大な岩手県のすみずみまで，その電波を送つて，後進県の遅れを取戻すべく，岩手ラジオが初放送を開始した。

石川啄木を生み，宮沢賢治を生んだ文化のエリヤ，総合開発のエリヤとして今後の活躍が大いに期待されるものである。

山又山の岩手，ズーズー弁の岩手，あまりパツとしない岩手県も，おくれ乍らも一歩一歩の牛歩を着実に示すものとして，一寸招介する次第です。（N生）

○岩手支店管内囲碁将棋大會

かねて社内各方面より要望されていた管内囲碁将棋大会を，新春１月９日，10日に亘り花巻温泉青葉館に開催した。

支店及び各営業所よりの強豪選手36名は予選を経て決勝までいづれも真剣そのものを眉宇にたゞよわし，９日午後３時開会の挨拶に始り終始熱戦をくりかえし



盛岡営業所視察りの勇士達

無事盛会裡に10日午後４時終了した。成績次の通り。

囲碁の部

予選

A組リーグ戦の結果

5戦5勝　成瀬　幸吉（岩手支店）

B組リーグ戦の結果

5戦5勝　家子　精一（福岡営業所）

5戦5勝　佐藤　宗造（盛岡　〃　）

決勝リーグ戦の結果

団体優勝　盛岡営業所

〃準優勝　岩手支店

個人賞

1　等　佐藤　宗造（盛岡営業所）

2　等　成瀬　幸吉（岩手支店）

3　等　藤沼　善治（花巻営業所）

4　等　柳田　定治（宮古営業所）

5　等　久保源一郎（大船渡営業所）

将棋の部

予選

A組リーグ戦の結果

5戦5勝　山形禎治郎（岩手支店）

B組リーグ戦の結果

5戦5勝　沼崎　健裕（釜石営業所）

決勝リーグ戦の結果

団体優勝　岩手支店

〃準優勝　水沢営業所

個人賞

1　等　山形禎治郎（岩手支店）

2　等　小野寺　力（一関営業所）

3　等　沼崎　健裕（釜石営業所）

4　等　吉田　民男（花巻営業所）

5　等　千葉　三郎（水沢営業所）

（K生）

南部様「地獄門」

—おかんの墓—

—時は徳川慶長の年間に遡る。—

南部は福岡の城主（岩手県二戸郡）九戸左近将監政実が南部信直に叛旗をひるがえし，その一族畠山重勝は事の成らないのを悟つて従僕三平に後事を托して自殺し果てた。そこで重勝の娘おかんは遺言によつて三平と結婚した。その後慶長２年信直が，いまの岩手公園の場所に盛岡城を築営するに当り，三平は人夫となつて仂くうち両足を負傷して起つことが出来なくなり，養女一子を抱えて生活に窮するや，人夫頭の高橋軍太が美しいおかんによこしまな思いを寄せるので，この難題の免れ難いのを知つたおかんは一策を案じ夫三平を殺害したならその意に従うと軍太を欺き，おかんは三平の姿に仮装し馬に乗つてしめし合せた時刻に岩手郡御堂観音に詣でた。その帰途いつわられたとも知らぬ邪恋の軍太のために１発のもとに殺されたのである。時におかんは女盛りの28才，貞節おかんの血潮は山里の青草を赤く染めたと云う。」



副社長寄贈の碑

これは南部築城にま

つわる貞女おかんの物語りである。——語り終えたる住職の顔は，誠に感慨無量げであつた。時と場所こそ違えど，かの袈裟御前と盛遠の史実にも似て南部様「地獄門」と云えよう。今の世に，身に泌みる悲話である。

この顕彰碑は，盛岡市内油町大泉寺の境内にあり，今でも，盛岡女性のほこりとなり築城悲話として伝えられている。

昨年10月偶々盛岡に於て電気三学会の東北支部連合大会が開催された。出席中の白川副社長は余暇をさき，親しく住職を訪い，碑を尋ね彼女が徳を偲ばれた際のことである。

動もすれば戦後すたれ勝な道義を思い，此の際彼女の婦徳を一層世に紹会し，併せて冥福を祈るべく墓碑を寄贈された。社員一同副社長の人情濃やかなるに接し，感激した次第である。　（M．1生）

◎裸 参 り

盛岡鎮守，八幡宮の歳祭に昨年に始まつた裸参り（社誌第10号参照）が本年も続行された。暖冬異変という恵まれた？天候の為か，見ている方でも昨年よりも気楽に見られたが，併し寒風が肌に刺すように迫り仲々のことであつた。本年は盛岡営業所から22名チリンチリン歩一歩毎に気合いを込めての寒修行，本年も無事社業の完遂に邁進することの出来ますようにとの念願，只々厳粛の一字に尽きるものである。終戦前は毎年の事乍ら終戦後昨年から復活されたこの行事は，盛岡にはなくてはならぬものの一つである　（N生）

秋 田 支 店

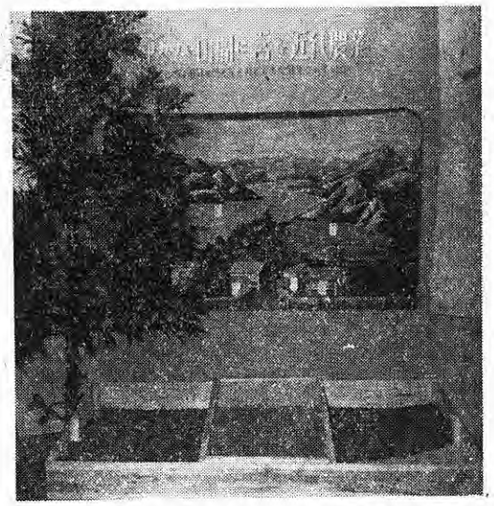
◎ラジオ東北と放送契約締結す。

コールキイン JOTQ，出力1KW，720サイクルのラジオ東北が秋田魁新報社を中心として設立され，11月1日から放送を開始した。その受信世帯数は12万7千戸に及び，山形県，青森県の一部も聴取可能となつている。秋田にラジオ秋田ならぬラジオ東北と東北の名を冠省したのは仙台の民間放送がラジオ仙台として発足したためのようであり，最近ラジオ仙台も東北放送と名を変えたので秋田民間放送であるラジオ東北と混同しないように御注意願いたい。

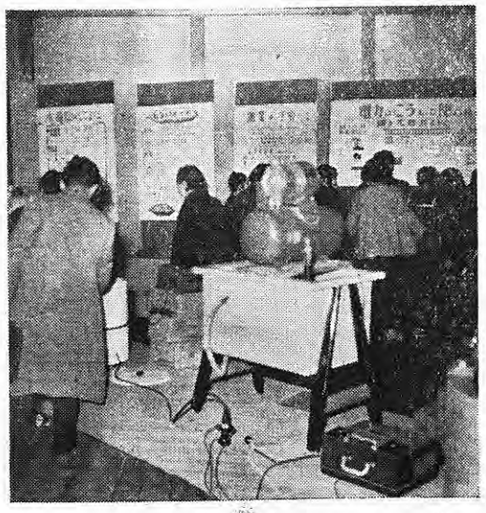
秋田支店はラジオ東北と放送契約を締結したが，それはタイムセール毎週土曜日午後5時30分から15分間スポット毎週火曜午前8時のニュースの後，毎週木曜午後6時の前30分間であつて，甘美なオルガンと電気の合理的な使用その他を中心として電波にのつているもので，秋田県民に対する東北電力のアツピールは好調である。

猶附記したいことは，東北電力のテーマソングの必要性が社内で色々に問題にしたような噂があり，淡谷のり子の「雨のブルース」が良い，いや，ショパンの「雨だれ」だとか兎に角テーマソングが「雨」に関連があつたもので，同放送に対する社内の期待も多く，今後の成果が極めて注目されている。

○雨の種苗交換會



会期中終始，雨に降られながらも，11月14日までの会期中40万人の人出ににぎわつた，全国にその名をうたわれる秋田県の第76回種苗交換会は秋田県雄勝郡の湯沢町で行われた。



冷害に拘らず，農民の出品数は9,603点に及び戦後の最高で，今年の種苗交換会の傾向としては「農村の単一経営から合理的営農えの脱却」が，その会を貫らぬく傾向であつたようであり，この傾向にマツチした東北電力の電気展示会は極めて好評を得ていた。その展示会は「僅かな電力をどうすれば合理的で，能率をあげ得るか」をテーマとし，その実例として電力を合理的に使用している篤農家の実績を中心として説明したものであり，附帯して「農村の電熱利用の一こま」，「静かな山間に営む近代農業」等のテーマによつて構成され，加うるに種々の電気器具の展示を行つたのである。従つて秋田県は勿論，他県からの訪れたこれら40万農民が長く尾を引き続々とこの展示会を見たことは，これらの人々に近代的営農に対して，極めて強い示唆を与えたであろうと想像される。

○PR映畫のびゆく東北電力好評

「のびゆく東北電力」「光を生む力」「只見川」等当社のPR映画は秋田市を終り，能代，大館，本荘，大曲，横手の各管内を巡回中であるが，秋田市では映写の時間上，スケジユールに組入れられるのが仲々面倒であるが，秋田以外の郡部では各映画館とも観迎しており，その反響も極めて好評である。殊に文化映画的なフイルムが一般受けしている実状で，巷間では当社のPR映画は他会社にぬきんでているとの噂を呼んでいる。

○全支店俳句短歌大會

第6回全支店俳句大会は去る12月12日午前10時より秋田市駅前観光ホテル会議室で盛大に挙行された。

この日集る者は，横手，大曲，能代，本荘及び地元の秋田営業所，支店を合せて合計30名，心配された天候も幸い雪にも雨にもならず，気温も近頃としては暖かく誠に恵まれた1日であつた。

定刻に，同じ建物の別室で行う短歌大会出席者も合流して，支店厚生係長の開会の挨拶で大会の幕は開かれた。つづいて支店長の含蓄ある挨拶があり，更に組合代表として黒田乙巳氏が一言述べられて，いよいよ短歌，俳句に分れての真摯な芸術の祭典え進んで行つた。

今回初の試みとして，席題を講師近藤白及先生の出題になる「息白し」で1人2句以内，作句時間1時間として行つた。予想もしていなかつたむずかしい題なので流石の天狗宗匠連もいさゝか苦吟の態に見受けられたが，臨席の支店長を初め厚生係長誉ての竹風宗匠，根本電産常任，今日の大会をこゝ迄運んで下さつた藤の力なる鯨岡厚生係氏等も，鉛筆の尻をなめたり，額に八の字を刻んだりして産みの悩みを味つている図は，会社側も組合側も電産も電労もなく誠に，和やかな姿である。そこにこそ芸術のウレシサはあると云うべきであろう。

さて，席題披講迄時間もあり，先生の帰る都合もあつて，順序を変更して先生の選句を発表して頂いた。今年こそはの支店組の悲願も空しく，栄冠は4度秋営組の頭上に輝いた。就中独りよく天，人，佳作と全句入選して大量9点を獲得した高瀬武治郎氏の活躍は，真に目覚しいものがあつた。終つて記念撮影をなし先生は県庁用務のため中座された。

残つた一同は席題の互選を脹かにくりひろげ，先生の選にもれたウラミをこゝで取り返えさんものと点数の行く班に一喜一憂，明暗夫々の表情の中に，滞りなく大会の目的を果し，賞品授与に移る。

今年新に購入した，若狭三郎作「野兎」の賞牌は，得意満面の秋営天狗の手に帰し，そのハナをいよいよ高からしむる結果となつた。

第1位秋田(営)12点，第2位本荘(営)5点，第3位(支店)4点，第4位能代(営)1点，

本荘は優秀な作家も多数擁している点で秋田に劣らぬものがある，次回を目指して一段の精進期待したい。能代，大曲はいささか練習不足の観あり，不断の練磨を望みたい。横手は今川翠峰氏の孤軍奮闘，往年の名手秋山麓朗先輩を頂くにしては陣容甚だサビシ過ぎる。又大館は毎回1人の参加も見ないのは残念至極，文化人がいない訳ではあるまい。否所長は支店管内切つての文化人だし，小谷木溪水氏も昔取つた杵づか，大いに文化振興のため頑張つて頂きたい。何と云つても不甲斐のないのは支店の天狗連，武運拙なくと言えば体裁は良いが，毎年々々苦杯を喫しているようでは，高からぬ鼻が益々低くなるばかり，ハナハナはづかしい次第，インフエリオリテイ・コンプツクスを脱却して捲土重来されんことを。

次に当日の作品を記してペンをおく事にしよう。

近藤白及先生選

天位　外套の背丈たらして燈につま立つ
秋田営　高瀬武治郎

地位　茄子の紺女患は白き指そらす
本荘営　大平胡洞子

人位　北風止みぬ振子の音に夜をあらため
秋田営　高瀬武治郎

佳作　凍雲の上の空路へビラ撒きて去る
秋田営　田中天里郷

〃　枯芝は明るくピンポンよく弾む
能代営　佐々木朴丘
〃　川霧のながるゝ中に馬沈む
支　店　吉田行太郎
〃　鵜護る岩冬浪沖に白まりつゝ
支　店　斎藤　莫愁
〃　刈田径厚き懐中時計出す
秋田営　高瀬武治郎
〃　歯削らる玻璃戸激しく氷雨打つ
支　店　白山　隆一
〃　砂利採りの足ゴム長の中にて凍つ
秋田営　田中天里郷
〃　毛糸玉ころがる距離に坐す幼女
本荘営　大平湖洞子
〃　海に降る雪あり若くして嫁ぎ
秋田営　小川　朱風
〃　野分中山羊縄だけの落日追ふ
支　店　千葉　広誠

◎席題「息白し」互選高点句

一席　白さ息かけて稚き子の字格
本荘営　中山　朧月
二席　息白し工夫の鶴嘴錆置かず
支　店　岡本　梧楼
〃　息白し降車の群れに立ちまじる
秋田営　小川　朱風
〃　一生を馬夫とし急ぐ息白し
支　店　斎藤　莫愁
三席　息白く厨夫鶏さく刃をみがく
秋田営　田中天里郷
〃　息白し低き厨に今日始まる
〃　沢井　和子
◎同　上　近藤白及先生選
天　息白し若さ惜しまぬ指骨の音
秋田営　小川　朱風
地　土間堅く家人を待てり息白く
〃　高瀬武治郎
人　送り出る子の息白し口づけす
支　店　吉田行太郎
佳作　息白し始業の汽笛遠くより
〃　広川胡頽子
〃　輓馬息白く歩道に音のすむ
横手満　根本　泰夫
〃　白き息かけて稚き子の字格
本荘営　中山　朧月
〃　息白く降車の群れに立ちまじる
秋田営　小川　朱風
〃　息白く目礼交すビルの角
能代営　神尾　重光

◎只　見　川

桐畑の一葉一葉やダムに落つ
選者白及
胡頽子記

短　歌　の　部

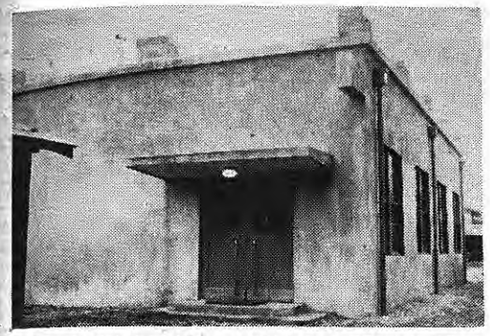
短歌の部は何時も相変らずの顔ぶれでした。俳句と一諸ににやると何時もであるが，短歌に詠草を出して下さつた人も俳句に出席なさる様で短歌の方には引力が少ないらしい。作品は雑詠二首で約50首集まり選者は「あららぎ」の大黒富治先生に御願しましたが選の結果は，宗匠の小倉，阿部，赤羽氏等の地位はゆるがず，いづれも高位で実力のほどを発揮されました。次に天，地，人，佳作，互選高位を記してみました。

天　預定水位やや上廻る田沢湖の灯に光る白き砂ふむ
小倉映二
地　耐用年限既に過ぎたる発電機過負荷に耐えて今日も廻れり
赤羽侍二
人　冬陽射し照り注ぐとき屋上の女人夫は見えて小さく
阿部　明
佳作　体系も思索も持たぬ我なれや批判となれば口を噤みつ
神尾重光
〃　一一五段のらせん状階段登りつめれば重く曇れる日本海見ゆ
太田瀬徳
〃　送電の時刻せまりて高架線今一息で張り終えむとす
渡辺敏之
〃　徴塵なき光に立ちてカンナ燃ゆたかぶりたりし愛情の如く
田代儀輝
〃　点灯の喜びを知りて六月経つ蛇喰部落の紅葉見て過ぐ
小倉映二
互選　秋光に父母を並べて撮影す母は僅かに父に寄りけり
佐々木利雄
〃　はなやぎて人生論ずる乙女等はかたえの吾にかかわりもなし
沢井和子
〃　菊の香の匂ひ身近かに感じつつ訪れくればミシン踏む音
渡辺敏之
儀輝記

山形支店

○山形給電指令所の竣工

山形県下給電操作を一手に握り冬の渇水期に処しその対策に万遺憾無きを期し日夜作戦を練つている給電

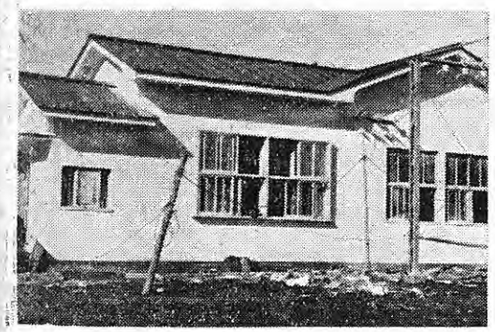


指令所は従来山形支店の3階に陣取つて指令を発していたが昨年10月より支店構内に鉄筋コンクリートの耐震，耐火の近代的スマートな指令所を建設中であつたが暖冬異変の雪の無い天候に恵まれ工事も順調に進捗し1月14日より移転工事が初められた，1刻とても中絶出来ない給電指令は折から襲つた寒波に割当の困難を克服して1月17日一切の移転工事が完全に終了した。

今後新設の指令所から指揮される給電操作は予想される渇水期を迎えて其の活躍が一層期待されると共に所長以下所員の張り切り振りが美しいものがあります。（O生）

○向町變電所竣工なる地下資源開發の態勢全し

山形県新庄営業所管内の陸羽東線沿線一帯は瀬見発電所の単独送電であり送電線の末端では 2,200V の状態で50K 程度の新規需用にも応じられざる不満足の需給状態を打開すると共に124万KWHに及ぶ電力損失を解消するために送電線8粁余の建設を含め1,400万を投じて向町変電所を新設中であつたが之のほど出来上り同地方一帯の要望に対応出来ることになり明るい見透しが実現された。



向町変電所の構成次の如し。

容　量　1,500KVA
制御方式　再開路方式による手自動式
変圧器　500KVA～3台

（大場）

○電気料金一本化と割当制度廃止の意見書山形県議會を通過

県営の野川発電所の発電を眼前に控えた12月の山形県議会では電気に関する種々の論議が数多く為されたがその中で県議員鈴木伝六，須藤重三郎の両氏は電気議員とも称される程に県議会の権威者である之の両氏の提出になる電気料金一本化と割当制度廃止の意見書は12月25日満場一致を以て決議せられ山形県議会としても新年早々に政府並びに国会に対して猛運動を展開する予定である。

意見書は東北の実状よりして料金制度を一本とし火力発電費を負担せしめらるゝことの不合理性をとき更に東北の地下資源開発の為にも電力割当制度の矛盾を廃止して合理的な電力使用を為すべき施策をとるべきであると述べられており電気料金の改訂が予想される現在最も適当な時期であるとて強力に実現せしめるべく運動を致す考えだと鈴木議員は語つた。（大場）

○新年謡曲大會
山形支店の謡初め

1年のうち約4ケ月が雪に埋れる山形地方では，冬になると昔から，あちらの家からもこちらの2階からも聴えて来る，日本古来のさびのある厳そかな謡の声は今流行のジヤズや流行歌とは異つてなかなか味のあるものが感じられる。

山形支店の謡曲班のど自慢会とも言うべき新年謡曲大会が去る1月9日葉山温泉で開催された。われこそはと集るもの斎藤，注連両課長を筆頭にして20数名白銀の蔵王山を前にして日頃ののどを充分にうならせて幕を閉ぢた。

番組の一部を照会しよう。

新年謡曲大会番組

鶴　亀　一　同
羽　衣　斎藤・荻野
加　茂　井上・中村・工藤・水戸
弱法師　橋詰・窪田
船弁慶　水戸・荻野・菅野
熊　野　武田・注連・斎藤
仕舞（狸々）　注　連

以　上　（O　生）

○山形營業所　行事二題

1. 寫眞作品展

山形営業所恒例の写真作品展も愛好者の激増と溢れ



るばかりの意欲により本年で第4回を数えるに至り，自由なモチーフの発見と特異なセンスに天狗連の腕を競い次の通り盛会裡に開催された。

期　　日　12月26日より3日間
場　　所　山形営業所
出品点数　90余点（4ツ切版）
出 品 者　36名
入　　選　11点，佳　作　15点

2．新 年 宴 會



意義ある新年を迎え新進の気新たに御用始式を皆様と1緒に行つたのち今年は特に漸新な趣向をと会場に舞台を設け女子社員有志の日ごろ精進している日本舞踊仕舞に絢爛の幕をあけ加えるに課長の令嬢や愛妻の舞踊の披露に花をそえ満場の拍手をあび，続いては有志諸君の自慢の珍芸を入り替り立ち替り舞台1杯に繰ひろげ爆笑哄笑の裡に本年度の意義ある1日を終つた。　（K　生）

福島支店

○東山保養所増改築落成

只見川電源地帯開発に伴い，健康保険組合の温泉保養施設を，会津東山温泉に設置が要請せられ，瀟洒な保養所が出来上つたのは，昭和27年11月1日でしたが，爾来電源開発の進行に伴つてその利用率は急増



し，その狭隘が嘆ぜられるに至り，昭和28年10月20日総予算1,5000万円を以て，増改築に着工，昭和28年12月23日完成をみたものある。

即ち，従来階上が6畳，8畳，4畳半の3間階下が4畳半，6畳の2間で約14人の収容力の処，今次増改築により，階上は6畳，10畳，7畳半，6畳半の4間，階下は10畳，7畳半，6畳の3間で約27人，従来の約倍の収容力となり，浴槽も更に1ケ増設されて面容を一新し，広く健保の保養施設として御利用の程を期待している由。（写真は同保養所玄関口）

○町村合併新市の誕生

福島県では3月31日迄に第1次町村合併計画を推進中であるが，4月から県内に次の新しい市が実現の運びとなろうとしている。即ち，

小名濱市　本県唯一の開港にて，近年大工場が続々誘致せられ，東北の京浜地帯ともいわれている。

原市　原町が1町4ケ村の合併により，人口4万の新原市となる。

内郷市　内郷町は人口39,400で県内最大の町でその年間貨物輸送運賃は全国で第8位と称されている，常磐炭礦都市である。

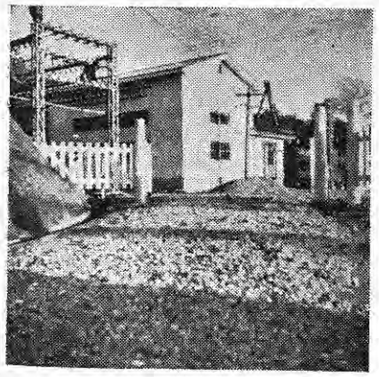
須賀川市　昭和15年頃から唱えられていたもので，此度こそ実現の運びになろうとしている。

喜多方市会津で若松市についで，今度近隣6ケ村の合併により，人口約4万の市となることになり，電源開発に伴う，一大飛躍を期待せられている。
等々更に噂によれば出来る可能性が増大している所もある。

○ヘリコプター訪問飛行



福島支店出身の2名操縦士によつて，年末旧職場訪問飛行が行われ，昔の同僚の出迎える，日東紡績福島工場グラウンドに飛来，街々は数十回に亘る低空旋回飛行に人気を集中されて，東北電力デーになつて了つた。（写真は福島市郊外に将に着陸せんとするところ）



○川俣變電所落成式

旧臘12月9日，軽自羽三重では日本一を争つた，生糸の町，川俣に左掲写真の様なスマートな変電所が新築され，3万3千ボルトの1千KVA主要変圧器3台を配し，更に予備変圧器1台を設置した自動式であり，同地方業者に発展を期待されている。

新潟支店

○新津營業所新築

11月22日は私達の営業所の竣工式が行われた日でした。この日私達は希望に満ちて祝盃をあげました。実際，今までの営業所は，大正10年の建物で，それに変電所を改造したものでしたから，老朽甚だしい上，狭隘で54坪（建坪78坪）の事務室に，人が互押の様に詰り，お客のサービス等は，充分に行われなかつたのです。数年前から私達は，サービスを本位とする営業所に適格な建物が新築される様念願しておりました。それが，今回実現されたのです，敷地1,284坪建坪252坪，その設備においては東北電力随一ではないでしょうか。応接室2つ所長室，大会議室，小会議室，医務室，理髪室，休養室，不燃倉庫等今までの営業所に無かつた部屋が並び，ボイラーからは湯飲場やタイル張の浴場へ茶湯が送られております。それよりも私達を驚ろかせたのは，明るく大きな事務室です，事務室の両側は7尺5寸のガラス戸で，その下が書類戸棚になつており各人の書類は全部



入れられる様になつております。そして容溜や受付が広くとられている点は，私達の希望が全くかなつたと云つてもよいでしょう。私達は喜びに胸ふるわせております。　（新津営，沢田　光子）



今更東京の経済的特殊性を以処で長々と御説明するのもどうかと思われるし，仕事の話しを申上げても始まらないので，秋田の山中の現場から東京へ出て来た男が見た事感じた事を少し書いてみることにする。

其の昔，学生時代経済学部に籍を置いて居た友人の言に依ると，ラツシユアワーがある事が，大都市としての経済学的成立条件の一つであると。経済学的かどうか知らないが兎角，昼と夜の人の分布がべらぼうに異る特異現象に附随して発生する朝夕二回の人口流動のラツシュ・アワーを持つ事に於いて，確かに東京都は大都市たる資格を有するわけである。処で，此の都市条件成立に一役買つて居るラツシュ・アワー形成の一細胞たる都民氏は，そう呑気にラツシュ・アワーの学理的価値に想いをはせているわけには行かない。ホームに入ると先ず自分が乗換えるか又は降りるべき駅の出口が電車の前の方か後の方かを考え6両とか8両とか連結した国電の乗るべき車両が定められ，それに応じて電車を待つホームの位置が選定される。次に電車に乗ると降りるべき駅のホームが右側か左側かにより電車内に於ける位置が定まつて来る。若し此の選定を誤つたら，それこそどえらい目に遭う。駅へ着いて，あわてゝ反対側のドアへ泳ぎぬかうとしても，もう遅い，先ず二つ三つ先の駅迄持つて行かれる事受合。自動開閉ドアなる文明の利器は，文明の利器に共通したあの非人情さを持つて反対側のドアは絶対に開けないから，地方の通勤列車に見かける様に，ホームの反対側へ飛降りると云う芸当は出来ない。尤も，桜木町事件以来，非常コツクがそれと分るように明示される様になり，こいつを引張ると扉が手で開けられる仕掛けになつて居るはずだから，此れを試してみるのも一法かもしれない。但し此れは，明示してある通り飽くまで非常用であるから，よくよくの場合でない限り，使用は御勧めしない。

さて，三駅，二駅の乗越は別として，電車の前に乗ろうと，後ろに乗ろうと，ホームを歩く距離は同じではないか，乗車駅のホームを歩くか降車駅のホームを歩くかの違いに過ぎず，エネルギーの使用は同量で又降車駅でホームを歩く距離の長短による時間差は僅か十数秒に過ぎぬではないか，とおつしやられるかもしれない。真に御尤も，通常の時間に於いては正に其の通りであるが，仕事にも例外がある様にラツシュ・アワーともなると改札を出る迄の歩行所要時間がぐずぐずすると，とてつもなく延びて来る。丁度特殊喫茶店のコーヒーが，昼間テイータイムと称する時間にはノーチツプ50円也なのに，宵闇迫りネオン瞬く頃ともなると，とたんに200円にとび上りチツプの1000円もふんだくられるのと同じと思つたら間違無いだろう。たいていの駅はホームと改札口の間に標高差があり，此の為に階段がホームの端近くある事になつて居るが，此の階段なり改札口の容量は決してラツシュ・アワーの瞬間最大乗降人員なんてもので設計されては居ないものらしい。少くとも当初の設計はいざ知らず，現在はそうである。其れ故，階段の上り口，降り口に来ると，とたんに人波の進行が鈍り，今迄粗であつた人間の間隔が極端に密になり，これがホームを次々と後方へ伝播する事正に粗密波の実験をやつて居る様なものである。此の密の最後部が階段に到達する頃には1分前右の間隔に次から次へと入つて来る電車から，次の材料がホームに吐出される事になる。何高が1分が何だと云う勿れ，此れが乗換駅だと，やつと次のホームに出たとたん電車が発車し，次の電車を待つ間又1分余を要して2分余りのロスとなり乗換の2つもやると，5，6分の差を生ずる結果となる。それならば余裕を見て家を出たら済む事ではないかと云う駅だが，それがそれ〴〵凡人の浅ましさゝ理窟通り出来ない。一度心を入れ替えて早く家を出たら，ラツシュがピークに至らない時刻で，電車の停車時間も短くなり予定よりずつと早く事務所へ着いてしまつたので，馬鹿々々しくなり，以後専らラツシュ・アワーにラツシュする事にした。

ラツシュ・アワーの経済的定義を講義したくだんの男は又，こう云うセンスが無意識に身につく事が又都会人たる条件の1つだとも付け加えたので，どうやら俺も一人前の都会人になつたのかと内心自惚れて居る。

東京事務所は，丸ビルから有楽町方面へかけてずらりと並んだ旧三菱のビル街の，丸ビルよりの外れに近い仲13号館の中にある事は先刻御承知の事と思いますが，明治年間にドイツ人の建築技師が設計したと云われる此のビル街は，静かに眺めると明治の持つ文明開化の古典調と，エキゾテイシズムが混じつたロマン性を持つて居る。戦後自動車と共に東京に激増したビル建築の，近代性の持つ単純化された表現の白々しさに比べると（コルビジエの近代建築には暖か味があると云うのなら，貧乏日本の安建築に比べてと訂正する。）ずつと親しさを覚えるのは，何もおらが東北電力が此の建物の中にあるからだと云う為ばかりではないでしよう。戦前カメラ雑誌に此の通りが，よくモチーフとして選ばれた写真を散見したが，画の方ではあまり問題にされなかつたのか，小生の目にふれる程画かれては居ない。若し，日本の東京に，一生パリーを愛しパリーを画き続けたアル中のユトリロの様な画かきが居たら，きつと此の街の画も沢山出来ただろうと思われる。処で，此のユトリロ調を味わおうとするには，余程朝早く此のビル街に立たなければ駄目だ。別に光線の具合がどうのと云うのではない，例の自動車と云うやつが9時を過ぎる頃には両側の車道にぎつしり並んでしまい，ロマンスの夢は完全にぶち毀される次第。今東京都内にある自動車の数は，数字は忘れたが，戦前警視庁が効用限界として制限した台数に復旧したらしい。円タクの便利になつた事は値段を別にしたら戦前並，此れ以上自動車が増えると自動車に乗るより歩いた方が早くなりそうだ。

処で，此のビルの懐古調のせいではないが，東北電力になつて人数が増えた関係上，地下室に業務課が頑張る事になつた。地下室と云つても純地下でなく室の上の方に窓があるのであるが此の窓を開けると目の上に，舗道が広がり，専ら通る人の足ばかり眺めると云う事になる訳だがちよつと風が吹くと道路のほこりが遠慮会釈なく吹込んで来る寸法。おまけに，御丁寧にファン迄取付けてあつて，夏の暑さにはせめて道路のほこりでも吸寄せ納涼の一助にと云う仕掛けだから肌寒くなる。幸い，ビル建築ブームのお蔭で東京事務所も第2鉄鋼ビルに宿望の移転先を得て3月には引越しをする事になつたので，此の地下の人々の涙ぐましき苦難の物語も終止符を打つ事になりました。今度は5階の室を占領するので，都塵の比較的濃度の薄いおいしい空気を呼吸出来る予定。東京駅八重州口の堀を埋立てた跡に建築中の此の第2鉄鋼ビルの兄貴分の第1鉄鋼ビルは，直ぐ隣りに並んで居り，すでに完成済で営業を開始して居るが，此のビルの地階に「あしえ」と平仮名で書いたカフエーがある。話の泉の渡辺紳一郎氏の解釈によるとフランス語のアシエー（鋼鉄，英語のステイール）を平仮名にしたもので鉄鋼ビルにあるカフエーだからこうした名前を付けたのだろうとの事，真偽の程は別として，兎角最近のフランス語ばやりの世にありそうな事。反米感情に基ずくインテリの無気力なレジスタンス，一部階級の昔からのフランス第一主義等々が，混然と漠然と原因となつてミーハー族の世界にフランス的なものゝ流行を作り出してしまつた。カフエ，バー，喫茶店から美容院，洋品店，洋裁店等にフランス語であればフランス人がきいて変でも，日本人がきいて語呂がよければ何でもかまわぬ。街角にある街路名の標識をはじめ，店名その他に英語は珍らしくない，これに支那料理屋の支那語カンバン，国際都市東京は果して何国の町なりや。

近く都条令で騒音防止の規定ができ，地区により何フオンと最高限界を規定して，世界第一の騒音都市という香しからぬ汚名を大東京の肩書から抹殺しようとのことらしいが，既に軽犯罪法第1条第14号で立派にこの騒音防止の規定が存在することは知る人ぞ知る所。但しこの法規の空文たることは一歩東京の街へ出てみれば誰でも分る処である。街角の広告放送，ぎつしり並んだ自動車の警笛，パチンコ屋，相も変らぬ狂騒曲を朝から晩まで奏でゝいる，この頃騒音防止の問題が各方面でとりあげられたのは，さすがに騒音不感症の都民の耳にも度外れになつて来た為であろう。

騒音をきくと脈膊は7倍になり，腦溢血は急増，唾や胃液の分泌が減少して消化不良を起すと物の本に書いてあつたが，都民には皆その症状が見られることになる。ところがこの病気にかゝると中毒性となりより強度の騒音に刺戟を求めるらしい。この頃急に盛んになつたジヤズ・コンサート，その聴衆の99%が例のトカク問題になるテイーン・エージヤーだから騒ぐとなつたら正に想像を絶する。数千の腕白どもを一堂に集めて演奏が初まる。演奏が白熱するとこの熱した気分がそのまゝ聴衆に乗り移り大波のように拡がつてゆく。これをエクサイトすると称するが，口笛，金切声等ハチ切れそうな若さの溢れた熱つぽいバカ騒ぎが頂点に達する頃には，演奏なんかどうでもよくなる。これが相撲場でなくて幸い，もしそうだつたら舞台は座ブトンの山となることであろう。

戦争初期の頃，交響楽団が収入不足を補う為かシーズンオフの夏にプロムナードコンサートと称して，昼間日比谷公園野外劇場で演奏会を開いたのをきゝに行つた事があつた。夏の事とて周囲の樹木に居を構えるアブラゼミが人間どもの演奏におかまいなく鳴立てたのが気になつた記憶があるが，それとこれと考え合せると，今昔の感がある。　（業務課　高畑克巳）



12月23日の佳日に仙台盛岡間マイクロウエーブ通信施設の竣工式が行われた。場所は盛岡市多賀園である。来賓として国分岩手県知事はじめ地元の名士たち，東京から電波庁や通産省の代表など参列して盛大な式典であつた。

東北電力のマイクロ施設はあらゆる点に於て斯界の先端を行くもので，昨年完成した会津仙台間の設備も，事業用として極超短波を使つたということで当社の進歩性を示したばかりでなく，無人中継所とか自動交換機への接続とか，研究室内の問題でのみあつたものを大胆に実用に供したことで識者をおどろかせたものであつた。今度の仙台盛岡間施設はその会津仙台間の施設から得た経験を生かして，細部に亘り改良の実を挙げたもので，この実用面に於ける研究の結果がいかに研究室えの刺戟となつているか分らないのである。このことは祝賀式当日の祝宴に於て東北大学の教授，通信研究所長の渡辺寧氏がスピーチを試み，東北電力が日本最初のマイクロウエーブの実用化を大胆に実行し，さきに会津仙台間の施設に於て，我々研究所が予想した通りの成績を挙げたのであるが，これは日本の通信技術が真に実用化したことを如実に示されたもので，幹部の方々の英断には深い敬意を表する次第である。それから数ある電力会社の中でも東北が最初にとりあげたこと，このことは最近の釜石に於ける日本最初の1万キロの電気熔鉱炉とともに，新らしいものがこれからどしどし東北に於て試みられ，全国に先鞭をつけることで，まことに東北のためによろこばしいことである。と述べられ，満場に深い感銘を与えたが，まことに並居る東北電力社員の胸に誇りを与えるものがあつた。

さて仙台盛岡間極超短波無線通信設備は，北上幹線の完成により益々需要の旺盛となつた北部方面えの連絡が頻繁となり，従来の通信線によつては到底その必要を満足せしめ得ない現状を一挙に解決することを以つて直接の目的としているが，一方当社の通信設備の最後の目標である東北七県の完全な連絡への一環としての意義を有する。現に仙台東京間には着々と工事が進行し，近く実用化されるが将来は青森，秋田，山形，新潟と連絡回線を構成することになつている。今回の工事は総工費8千9百万円で，仙台と盛岡に端局を有し，石巻と一関と日詰との夫々近郊に無人中継所を有するもので，保守上，経済上の立場より有利である2000メガサイクル時分割パルス位相変調方式による23通話路回線であり，その23通話路のうち4回線は盛岡，一ノ関間に使用し，各局の打合用として1回線，残り18回線を仙台盛岡間の回線に使用している。28年12月21日実用化試験局として電波庁の検査に合格し，直ちに使用に入つているが，その通話効果の良質なこと，連絡の迅速なことは，既に本店と岩手支店の社員が身をもつてよく知るところである。

石巻附近の鷲峰山中継局と仙台局との間の伝播に於ては，松島湾の上空を亘るので水面の影響によるフイーデイング(ロス)が起ることが予想された。そこで電波庁の技官，東北大学の協力により慎重な試験を行つて調査したのであるが，結局影響なしという結論を得た。こうした深い配慮によつて出来上つた設備であるが，試みに一関の東北方にある藺梅山の無人中継所を訪れてみると，標高148メートルの丘であるが，頂上に31メートルの鉄塔があり，これはパラボラ・アンテナとしては今のところ最高のものである。鉄塔の一番上には石巻に向けてパラボラが取付けられ，その反対側の鉄塔の中頃に明神山局向のパラボラが取付けてある。白い四角なコンクリートの建物は中継用の機器を収めてある。二重壁によつて外気と遮断され，常時温度は20度，湿度は60パーセント前後を保持するよう電熱器，冷凍機を備え，自動操作によつて保温保湿を行うが，その監視に温度計5個，湿度計2個が取付けてあつて，温湿度が上下した場合には自動的に警報を発する装置がしてある。無線機は日本電機製で最も進歩した学術上の成果を残らずとり入れ，玄関を入ると正面に設備されている，細長い盤にとり付けられた無数の器具，入り込んだ配線，背後に廻るとこれは又数え切れぬほどの真空管，いずれ精巧な機械であることは，素人目にも明らかである。左手には伝送セツト，右手に配電盤があり，その傍にも一つの無線装置があるが，これは将来ヘリコプターと無線連絡するための150 MC のセツトである。これ等が3本の蛍光灯に照らされて居るが，普段は無人のまゝ放置せられるこの中継局も，人間以上の頭脳的な働きをするわけで，近代科学のはかり知れぬ進歩には何か妖しいものすら感じられるのである。

盛岡の端局は岩手支店の構内にある。中津川のほとり，古めかしい家並の間に近代的な鉄塔がそびえているのは，又一風景たることを失わない。二階建の新しい機械室の二階は交換室や休憩室など，階下には自動交換機室などがあるが，マイクロの機械室はその隣の僅かなスペースに設けてある。真新らしいセツトが室の中に立ち並び，中継所と違つて端局らしい暖か味がある。無線機は中央にあり予備機が現用機と並んでいる。その真空管の数はおびたゞしいものであるが，きいてみると200本ぐらいあるらしい。各中継局のを合計すると約1000本あるというから大したものである。

さて，12月23日の午より初まつた竣工祝賀式は2時頃に盛会のうちに終り，見学者は続々と見学に来たのであるが。複雑な錯そうした機構を見ては専門家以外はたゞ感心するばかりである。係員はハリ切つての近代科学の粋をルル説明するのだが，一般には雑音のない澄明な話声がスピーカーから流れるのを聞いて大いに感心するのである。　（K）

本名・上田水利権訴訟に終止符

東京電力との申合書發表

只見川の本名，上田地点の水利権は昭和27年8月に福島県より当社に与えられ，当社は直ちに発電所建設に着手して爾来18ケ月，上田は今や通水する段階に立ち至つている。この両地点の水利権は昭和4年当時の東京電灯に与えられていたものであつたが，これを承継した東京電力はその既得水利権を福島県が取消して，これを当社に許可した行政処分をもつて違法なりとしてその取消を求め，福島県知事を被告として，27年8月福島地方裁判所に提訴し，本名，上田の昼夜兼行の突貫行事とは対照的に1年半の日子と7回の審理をもつてしてもなお審議が終らず，今後も相当長期間の法廷抗争を予期されていた。ところが去る1月18日東京東北両電力会社間に申合せが成立し，長い間の抗争に終止符を打つことゝなり，次のような発表があつた。東京電力は福島県当局の同意を得て1月22日，福島地方裁判所に取下書を提出し，これによつて名実ともに水利権訴訟は終了したわけである。

……

昨年7月電源開発株式会社，東京電力株式会社，東北電力株式会社，三社間に於て只見川電源開発に関し，再建途上にある日本電気事業の発展という，大乗的見地より相協力することに意見の一致を見たる所謂三社協定の趣旨に基き，東京電力株式会社，東北電力株式会社に於て種々折衝を重ねて来たが，29年度電力需給計画を急いで設定する必要もあり当局のアドバイスもあつたので，下記の通り意見の一致を見た。

記

1. 東京電力株式会社は，福島県知事を相手方としたる上田本名両発電所の水利権に関する訴訟を自発的に直ちに取下げの手続をとること。
1. 東京，東北電力会社管内に於ける電力需給の状態を勘案したる結果，下記要領により第三融通契約を締結して，東北電力は東京電力に対し，電力を供給すること。

(イ) 供給電力量　昭和29年度　110,000,000KWH
〃　30年度　135,000,000　〃
〃　31年度　160,000,000　〃
〃　32年度　160,000,000　〃
〃　33年度　160,000,000　〃

(ロ) 契約期限　昭和29年度より5ケ年

(ハ) 料　　金　原価主義により算定す
（大体1KWH約4円の見込）

(ニ) そ の 他　両者間に於て協議決定す。

尚，両者は今後一層親善関係を保ち相協力して事業の遂行に努力する。

馬のはなし



松岡志郎

今年は午年，最近はエトが復活して逆コースだなゞと神經を病む向きもあるが，別に邪魔にもならないし，初めもなく終りもない無味無色の時間の流れに12の動物を並べて色ゞりあやなすのも惡くはない。松岡氏に執筆を乞うた所以である。同氏は人も知る馬術評論家であるが日本馬術協會理事であり，嘗て国体馬術関東代表として數回出場のベテランである。（編集幹事）

―馬の起源―

「コロンブスが，アメリカ大陸を始めて発見した頃は，アメリカ大陸には一頭の馬もいなかつた」という事は馬の歴史をきく度にしばしば聞かされる言葉である。これには，あとから「馬のふるさとはアメリカであつたのに」という言葉がつけ足される。

馬の最も祖先とされているものは，中部アメリカの第3紀層中の「アルテエオケン」時代の化石の中に5趾を持つ馬の化石が発見された。これの大きさは犬か狐ぐらいであつたといわれる。のちに最初は5つであつた趾が4趾に変化しさらに3趾となり，第4紀層になつてはじめて今日のような前蹄後蹄共に1趾の馬が現われたのである。それ故現在の馬は第4紀層時代から始まつたと言われている。

馬の祖先は北米で出来て，或る時期にまで進んだものが昔陸続きであつたと考えられる今のベーリング海峡を渡つて欧亜の方へ移り，南方で今日の馬の形にまでなつたが，北米の方の馬は何の原因かわからぬが氷河期の始め頃絶滅して東半球の馬が遺つたのだといわれている。

我が国には有史以前に馬が居たのだろうか？万葉集抄に「我が国の馬というものは，人代に及びて百済より奉りしに始まりたるなり……」とあり，又政事要略には「倭国無牛馬……」とある。然るに鳥居竜蔵博士が熱田の貝塚から，馬の下肢骨を，長谷部言人博士は鹿児島出水貝塚より馬歯を発見した。そしてこれらはいずれも石器時代のものであるといわれる。そうすると古事記の天の斑駒の神話も架空のものではないらしい。もともと動物の種類は生存競争のはげしくない島嶼では一度出現したものが渡来すれば，それが永く保存せらるゝことがある代りに新なる種類が出現するようなことは少ない。所詮島嶼は新種の避難所であつて出現地でない，という見方からすれば大陸から家畜として渡来したに違いない。

応神天皇の時代百済から馬を輸入し，軽坂上厩で飼というのが，記録の最初ということになる。

―馬の心理―

馬の精神作用は，人間のような推理力を欠く事は明かであるが，或る程度の判断力と強い記憶力をもつている。

馬の動作をみていると単に本能という言葉で片付けられないものがある。その顕著な例は牧き馬にみる。牧き馬とは，牧野や自由交配を営む父馬のことであるが，彼は配下の母馬を監督しつゝ草原を彷徨する。偶々他の父馬が来襲して母馬を奪取されそうだと，母馬を1ケ所にとりまとめ，絶えずその周囲をまわつて防禦し，又は勇敢に斗争する。若し，自分の意に従わず，乱入の色男に気をとられたり監督圏外に逃げようとする母馬があると甚しく折檻する。

馬は憎愛の感情をハツキリ表わす。憎むものには突進し噛みつき又は尻を向けて蹴飛ばす。愛される人が近ずくと温顔(？)をもつて接し帽子をクワえたり頬ペタをなめたり，袖を引つ張つて巫山戯けたりする。又放牧の馬同志の中には必らず親密の数組があり，各組必らず常に特定の馬からなり友交蜜の如きものである。互に遊戯し，角力し，痒いところを咬み合い離れないようにくつついている。之れと反対に又，仲の悪い同士の数組もある。

馬の恐怖心は相当大きいもので，馬扁に蚤で騒ぐというぐらいだから，吾々の想像もつかない位で木の葉の微動，小鳥の飛ぶ音に驚き，嗅気に恐れ，接触に怖れる。

もつとも，この恐怖心があるから，馬は周囲に注意深く崖から落つたり，穴に突込んだりする失敗がないわけであり，鞭や拍車の恐怖を知るからこそ騎手が安閑としていられる。馬は記憶力の強い動物である。一度通過した路は忘れることはない，道に迷つた時，馬にまかせて帰り得た例は屢々経験する。一度失敗した障害物は飛ぶことを拒否するし一度虐待されるとよくその人を記憶し敵意を示すものである。西洋では5ケ年後に復讐した例を挙げている人がいる。

―馬の馴致―

馬に鞍を乗せたり銜をかませたり，人を乗せたりすることは馴致の第一歩で，こゝでは曲馬団に於ける馬の馴致法の一つを御紹介しよう。

調教師が意のまゝに馬を使いこなし，各種の運動を行わせるのは調馬索で教える。意志を伝えるには合図によるのである。長鞭及自分自身の体の操作によつて合図する。調教が進むと観客には殆んど見わけのつかぬ軽い合図で充分である。

調教には忍耐強くなければならないが，馬の賢愚が大いに関係することは言を俟たない。常に賞罰を明かにして疲れさせて駄目である。馬がハンカチを取り上げる様に調教するには，砂糖で甘くした部分を唇にくわえさせ，数分間口を抑えておく。こうすれば直ぐ馬は覚える。これを落させるには唇に指を挿入して開かせる。勿論その都度褒美を与える。これを繰返えすとあとでは褒美を求めてハンカチを拾い又手渡すようになる。

国旗や数字を選り出させるには，やはり手と鞭の操作で合図するのである。簡単な数の計算で答えを求めるのは普通行われる詭術である。数を表示するのは，前肢を持ち上げる度数をもつてする。前肢を持ち上げるようにするには，鞭で前膝の後面に触れ，之れを合図に肢を挙げる様に教える。これを繰返すときは終りには鞭の膝の方への微動によつて肢を挙げる。所要の数だけ合図すればよい。

イエス，ノーの答を求むるには，イエスと呼ぶと同時に鞭をもつて頭部を軽打して肯頷させる。ノーと呼ぶと同時に鞭の端を耳の中に突込み首を横振りさせる。その都度褒美を与える。これを繰返えすと，後には軽い鞭の操作で首を縦にふり，或いは横にふるわけである。イエス，ノーを教え，停止，進行を了解すれば，その組み合せで種々の詭術を観衆の前で行うことが出来る。

―馬の習性―

馬という動物はもともと草食動物だから自分から敵に，攻撃するようなことはない。武器らしいものをもたず原則として逃げる一方のおとなしい動物なのである。性質もきわめて臆病で，敏感で警戒心が強く，孤立を嫌い，なにごとも集団をつくつて行動する習性がある。

水を飲んだり，草を食つたり，休息したり眠つたりするときにも沢山集まつて，そのなかから必らず一頭又は数頭の見張番が見通しのきく小高いところに立つて警戒を怠らない。危険と感じたら，いち早く嘶きながらこれを仲間に知らせるとともに，自分も集団に馳せ参ずる。

逃げるいとまのない場合は，互に協力してこれに当る。こうした場合多くは牡の若者が前に進み出て防禦にあたる。

又他方，各自めいめい何かと警戒を怠らずことに群中には年長の強力な牡馬がリーダーとなる。一団の行動はこの馬に従つて行われる。この例は馬産地の牧場で見られる鈴かけ馬と呼ばれるものである。

馬の警戒心の強さは，風向きに注意して風下に風下にと居を定めることによつてもわかる。見なれぬ場所にくれば，リーダーに従つてあたりを一巡し安全なことを確めてから，次の行動にうつる，休息の場所などもほとんど決つているばかりでなくそこえ行く道も馬道と呼ばれるふだん自分たちが歩きつけた道以外は容易に通ろうとしない。季節的には，夏は水草を追いながら涼を求めて山頂にいたり冬は寒風をさけて谷間の日当りを選ぶ。田舎の一本道を自動車で走つてみると畔の馬が驚いて自動車と並行して走り横に危険をさけることがない。これは一歩でも他の馬に先んじて命を助かりたいという馬の天性かも知れない。

（昭28.1.15日） 東京事務所

腑に落ちぬこと



土本善平

○

去年の暮にはまだ間のある頃だつたと思うが，吉田

首相は，独立日本の均衡経済の途は，まずもつて，電源開発によらなければならない。従つて，今後も国の施策の一環として電源開発に重点を置くべきであると述べている。(各紙所載)

この故か，当時，岡野通産大臣に対し電源開発計画並びに目下の開発状況につき報告を求められた。岡野大臣はこれを公益事業局に命じたため，同局関係課は，この報告資料の作製に大童となり，あだかも歳末をひかえ一入慌しい数日を否数昼夜をこれに打込まれたと聞いている。この情報は，電源開発に他社を抜いて，すさまじい熱意と，実績を示しつゝある東北電力の社員の一人として，まことに欣快事であり1954年への期待を一層猛ましく感じたものである。

しかるに，一方においては歳末から今春にかけての新聞報道は，29年度予算を一兆円以下とする政府の方針を明らかにし，経済界においては，極めて悲観的風説が伝えられるに至つた。

もとより，1954年の金融政策は，伝えられる諸材料から判断しても決して楽なものでない。金融引締め，デフレ政策との見透しを持たないではなかつたが，吉田首相の以上の言動からして，重点投資としての開発資金に特別の配慮が期待されたのである。

だが，予算編成の大詰近くになるにしたがい，緊縮方針の総則のまえに，財政投融資は無ざんにも大削減を喰わなければならなかつた。

もみにもんだ只見川開発も，やつとその緒についたと見る間もなく「田子倉，奥只見，黒又第一の開発計画は全面的にストツプする重大危機に見舞われるばかりでなく電力会社自体の新規開発事業も軒並み見送りを余儀なくされている。」(河北新報29.1.12日所載)「大蔵省原案では電力開発5ケ年計画は6年ないし7年にのびるほかない，最悪の場合超重点的に工事をしなければならぬだろうが，現状では只見は望みがない。」中島公益事業局長談（河北新報29.1.12日所載）

これはどうしたことであろうか。つい1，2ケ月前に電源開発こそ産業振興の基礎であると強調し，電源開発の緩まんをたしなめられた吉田首相であつたのに……既にその当時，29年度は緊縮政策に入ることが決定的とされていた時機であつた筈だのに……。

総てが金の世の中とは云いながら，無いと云えば無い，有ると云えば有るのが金である。一律天引政策により，産業の土台が崩れないようにしたいものである。

○

行政機構改革は官庁事務を簡素合理化するものであつて，われわれは双手をあげて賛成し，その結果を期待し成功を祈るものである。しかし，このことは決して容易なことでない。省の廃合による人員整理の問題がこれに伴うから一層問題を複雑にすることは争われない。従つて幾世代に亘り歴代内閣がこの問題を採り上げながら竜頭蛇尾のそしりを残す所以でもあろう。

自由党の増田行革委員長が「官僚出身者だから行革がやれる。よく知つているからこれこそ公平に総括的に案が立てられる。」という言分はいちおう聞きおくとして，前2回の行革の際にこれらの議員（註，官僚出身議員）の一部の人が猛烈な反対運動にまわつたこともかくれもない事実である。

吉田首相は，年頭の記者会見で，行政整理の必要性を口をきわめて強調した。首相は「放つておくと国が役人だけにならないとも限らない」「一人の役人のふえることは単にその人の給与だけの問題ではない」「元来役人が仕事をしようという根性が間違つている。」と極言した。また「機構を縮少し改革しなければなんにもならない。」ともいつた。今度行革に当つて各省側から〝人員の点はある程度止むを得ないが，機構の縮少だけはかんべんしてほしい〟という意向が出ているようだが，たしかに官僚機構というものは機構さえ残存していると人員や内容はすぐに満たされてくるものだ。(朝日新聞29.1.12日所載）断片的ではあるが首相の言葉はたしかにその通りである。

しかし，行政整理，機構縮少といつても，現行の諸法令が簡素改廃されない限り全く無駄であり不可能に近い収獲しか得られないのでなかろうか。

殊に近来，各国会毎に制定される法律案件の数は夥しいものであり，当事者間においてすら，これを空んじるものが果してどれ程あるのであろう。このように累加される法律の運用に必要な役人の数は当然これに比例して増加するものである。一方において監督法令を強化しつゝ他方において，これを運用する役人の数を減らそうとすることに何かしら主客顚倒の気がして理解しにくいものがある。

試みに電気事業に関連する諸法規を見ても，目下改正を立案中と聞く法令ですら（電気法，河川法等）その取締条文にどれだけ進歩，進歩といつて悉ければ合理性が考慮されているのであろうか。電気事業者はピンからキリまで官庁の許認可を受けなければ動けないことばかりである。電力会社の自主的意思によつて動ける部分は，まあないと云つてよいのでないか。辛うじて自主的な創意と工夫によつて独立会社らしい動きをなし得る面があるとしても，それはグツとしばられた枠の中のことでしかない。丸で占領下の日本の姿を今に見る思いがする。

具体例をあげないが，このようにピンからキリまで事業者を監督しなくてはならない法制下においては，御役人の数が相当数に及ぶことの必然性を持つものであつて，逆に言えば，このような法秩序の下では相当数の御役人によつて迅速に事務処理をされなくては事業者の欲する時機に欲する方針で事業を進めることすらできないのが現状である。

電源開発工事の場合を例にとつて見ても，許認可を要すると規定されている事項は，それぞれの許認可を受けない限り一切の準備が整つていても行動が許されないのである(当然のことではあるが)。他方電源開発工事は期間の制約を受けるから極めてスピーデーに敢行しなければならない。又自然にいどむこれらの工事は，自然にさかろうことなく機宜に適した処置を随時とらなくてはならぬ場合が多い。これらの処置が当初設計に予見していなかつた場合は設計変更という言葉で処理される範ちゆうに入ることになる。だからといつてこゝで工事を中止し，変更認可をまつてから続行することを要求されても現実には不可能（一切の影響を無視すれば別であるが）なことがらである。

兎にも角にも，電気事業経営面の一切に亘つて前にも述べたように監督行政を必要とするとの前提に立てば，行政整理は寧ろ電気事業者をちつそくさせる。行政整理を現内閣が真剣になしとげようとするなら，それ以前に法令の改廃により監督取締行政を簡素化する方向に持つてゆくべきであるまいか。

要は，諸法令による取締規定により，民間側では書類作製に多数の人員を配し，官庁側はこれを審査監督する人員を必要とするのであるから，先ずもつて，監督法規を簡素化すべきであり，その結果は監督行政に必要とされた機構も係官の数も自然の帰結として減少し得るのである。街が雑踏すれば，交通整理の警察官もそれに比例し多数を必要とし，人通りがなければ交通整理の必要もないのではないか。

一方において，監督法規の強化を図り，一方においてその衝に当る機構と人員を縮少しようとあせつても纏まりにくい話と思う。まず法令の簡素化が考えられなければならないのでないか。

日本人は，ピンからキリまで監督や取締を受けなければ何一つ出来ない人種であろうか。監督，取締をする人も日本人である筈なのに……合点のいかぬことである。　（本店総務課長）　(29.1.13日)

健康について(I)



菅野義三

I.

私は昭和7年に肺病の宣告を下された。自分の場合をそう感じたが，この病気は医療費，療養費，栄養費等にサンザン金を使い果して，そのあげくに斃れてしまうのがお定りの様だから，一旦之に罹ると不治の病に罹つたという絶望感や，早く治りたいと願う焦りから，精神的に参つてしまう場合が少くない。

常に云つて居る事だが，病気と云うのは気の病であつて体の病ではない。と云う事は，医者も必要であるが，医者にのみ，医薬にのみ頼ることは考えものであると云う事を前書して，昔から伝えられていることで，私のノートの中から拾つてみたい。

1.　病気は何時治るか……食事後は1番病気が進行して，空腹になるに従つて治癒力が発揮される。云いかえると，食事量を少くして空腹時間を永くさせることが必要である。次に睡眠時間を多くとること，もし睡眠が出来ない場合には空腹時間を永くすればよい。

2.　1日中で何時病気が危険か……

(イ)午前9時から午後4時迄に発病したのは，大した心配はない。治りも早い。急病でなく慢性の場合はこの時間に熱が高くなり悪くなる様だ。

(ロ)午後4時から午後9時頃迄に発病したのは，前の(イ)の時間の発病より注意を要するが生命に関する様な病気ではない。慢性病の人は少しづゝ熱が下つて来る。

(ハ)午後9時から午前2時頃迄の発病には警戒しないと治りがおそい。生命にも及ぼすことがある。直ちに医者に相談して貰うこと。普通は1番熱が低くなる時

である。

(ニ) 午前2時から午前9時頃迄に発病したのは軽重に拘らず直ちに医者に相談してみないと一命に関する場合が多い。

(之を信じて昨年家内が発病し電話不通のため医者に連絡に行つた所を，私の洋服一切を盗まれたことがある)

3. 1年中で何時発病が危険か。

(イ) 春（危険期）2月中旬頃から5月の中旬頃に発病したのはよほど注意をしないとなかなか治りにくい。慢性症は治るか悪くなるかのどちらかである。

(ロ) 夏（普通疾病期）5月中旬頃から8月の中間頃迄に起きた病気はあまり永くかゝらないで済む。慢性病は少しづゝよくなる。

(ハ) 秋（進行期）8月中旬頃から11月中旬頃の発病は，養生がよいと案外早く治る。慢性病は急に食欲が出て全快に向うことが多い。

(ニ) 冬（警戒期）11月中旬頃から2月中旬頃の発病は，強く来るが，一面治りも大変早いもので慢性病はドンドン治つて行く。

以上のこと文句は下手だが述べてみた。けれども未だ自分としての統計とるまでは行つていないが，60%近くは当つている。まだ一寸疑問の節もあるけれども冬事業場で周囲の病人について統計を取つて貰いたいと御願いする。

Ⅱ

さて，誰でも健康でありたいと願つて居るが，平常健康に対して注意，研究，然もそれを実行して居るだろうか，病気になつてから泡を喰つても始まらない。今健康に就いて実行して居る事は半年とか1年，2，4年先に行つてから始めて，効果が出るものである。逆に云えば今の油断が半年或は3，4年後に因果が廻つて来るものと考えて間違いない。健康法，強健術養生に限つたものではない。総て何事でも「知つて居る」だけでは駄目で，「知つて居る」と云うことは「実行して居る」ことである。頭脳で知つて居るだけでは知つた事にはならない。私も知つたことは，すぐ実行に移さなければ気が済まない性格を持つて居る。以下述べることは実行した事，又は他人様に実行して貰つた事実に過ぎない。前回にも述べた様に私は少年時代に非常に弱かつた—あの顔で—と云われるかも知らんが，一番始めに実行したのは岡田式静座法である。雑誌「実行之日本」が紹介したのであつた。此の記事と高等商業学校の橋本教授が書いた書物によつて入門した。正座して眼をツブつて腹式の深呼吸をするのだが息を吐いた時に下腹に力を入れて下つ腹をグツとセリ出すのである。そして毎朝冷水浴をやる。之をやると，無意識の中に坐つたまゝ座敷の中をピヨンピヨン飛び廻つたり，下つ腹に組んだ両手が上下したり，甚だしい時には組んだ両手が離れてブルンブルン振れ廻つたりした。が当時は之が堂に入つたものとして悦に入つたものだ。江口と云う友人の紹介で名前が思い出せないが東京青山の電車の交叉点にあつた何とか云うお寺に毎週水曜日の午後1時間に亘つて元祖岡田虎次郎氏に直接指導を受けた。前に堂に入つた体の動揺はすべきものでないと注意をされた。その時の岡田氏の体格はビール樽の様に太つてツヤツヤして紅顔色でチヨボヒゲを立てた実に堂々たるもので呼吸する時の呼気，吸気の音がその前に坐つて居る私の耳にも入つて来る。当時は誠に羨ましい限りであつた。

静座法に入る前の岡田氏が疲れた貧弱な体格の写真を見て居つたのでいま目の前の岡田氏の体格を見せられては，是非せめてその半分位の体格になつてみたいと暇さえあれば静養に余念がなかつた位焦つたものだ。所が9月に始めて，翌年の3月に入ると間もなく氏は腎臓病を患つて寝込んだと聞いてビツクリした。そして40日も経たないで亡くなられた。こうなつても少々フクレ上つた自分の下腹をなでながら静座法に夢中になつて居つたが決して体は太つて来なかつた。岡田氏を紹介した江口君等もツルの様に細い体格の持主だつた。而も満足な体の者では何も好んで健康法などに飛び込む筈のものでないが，兎角静坐法に対して疑問を持つたが，後で食事療法を調べて出てきたものが冷水浴とか冷水摩擦をやつて居ると必ず胃腸病か，腎臓病を患う。然も永くやつて居ればジワジワそんな病気が慢性になると知つた。そう云えばその頃私の生れ故郷の町役場の助役さんが，城跡のお堀で毎朝冷水浴をやつて居られたが，腎臓炎で亡くなられた筈だ。色は黒かつたが体付きは岡田氏の様であつた。何か一つの実例を摑んだ時には周囲をよく連想してみると何か一つの統計が出て来る。余談になるが，私の女性に対する性名判断？等も手近かの1人の名を記憶して置き同名の女性に会つた時に，その人の境遇を前の人と同様であるか否かをブツツケてみる。そうすると大体似た様な境遇をたどつて居るものである。

Ⅲ

岡田氏が斃れられた後は急に此の静坐法がすたれてしまつた。青山のお寺の集合も遂に解散してしまつた。

それでも私は釣瓶井戸から冷水をかぶることだけは止めないで居つたが，大正7，8年頃からと記憶しておるが，中江房五郎氏の自彊術が流行し出して来て居つた。之も雑誌実業の日本で照会されたものだつたが，何とかして堂々たる体格になつてみたいと，今から考えると当時は確かに一種の強健性？神経衰弱に罹つておつたのだから，是をやつてみようとした。その頃丁度今のビタミン剤の様にヨード剤が流行しておつて盛んにヨード剤が宣伝されておつた時代だつた。私も何回かヨヂノケンと云う奴を注射して貰つた。当時の下宿代が月13円50戔位の時代に1回2円50戔也の注射代も大きく懐に響いておつたばかりでなく一度ヘボ代診に空気を注射されて面喰つたが，之が動機で今でも，会社の保健婦さんに笑われておるが注射は大嫌いになつてしまつた。色々の予防注射等もやつたことにして貰つて済ましておるが，時々バレテ厚生係長さんからお目玉を頂戴しておる始末である。今後何年か経つたら，今のビタミン等も誰も見向きもしない時代が来るだろう。

ともかく自彊術をやつてみることにした。之の健康法は体操の様なもので11の動作からと云うか11種の運動の組合せからなつておつて，一種の運動は8回か又は10回かの号令を掛けてやることになつて其の順序も定つて居る。この11種を2回繰返すのが普通である。裸体で男はパンツ一つ女は深いパンツか短かいアツパツパを着て指導者の号令によつてスツタンパツタン体操をやる。電車の巣鴨停留所の近くに120畳敷の道場があつて之に毎朝4時半頃起きて50分間位テクツて行つて30分間位運動して帰つて来てから朝飯を喰つて学校に通つたものだ。巣鴨に在る道場と云うのは体が非常に弱かつた金鷲消火銃製造をやつておつた十文字氏が，自彊術の揉み療治によつて大変丈夫になられたので，一般にすゝめるため始めは工員だけに当てゝあつたものを公開した。之れが自彊術を盛んにしたことは確かだ。運動を始める前には必ず大小便を排泄することにしてある。之を肥料にして売却した売上代を以て維持費としておつた。岡田式静座法で下つ腹をフクラマして得意で居た私の体を見て之は不自然な体格だと云つて，坐つたまゝの形の仰向けに畳に背を着けた所に指導者が腹の所にまたがつて乗かり腹を下から上の方にグイグイと揉み上げて呉れる。大変気分がよくなつた。道場で縦横に列を作つて運動をやつておると指導者が来て姿勢のとり方を教えたり首と左右の肩とコツンコツン打ち付けて呉れる。之れがとても気持ちがよかつた。殊に十文字氏の娘さんにして貰う時は胸がドキドキしたものだ。14，5才の若者から70才位のヨボヨボ年輩の男女が集つてやるのだが，お年寄は大変喜んでやつておつた。半年位も続けておつた。火鉢も欲しい季節の日曜日に直接中江氏が道場に来て指導されたことがあつた。その時初めて中江氏に接したのだが，色の浅黒い小柄の体がガツシリしておられた。運動が終つてから座談会を催したが，冷水摩擦や冷水浴は止めて，朝起きると同時に裸で口一杯に冷水を含んで此の水を天井に向けてプーツと吹き飛ばしてそのシブキの中に立つておればよいと云われた。そして此の11種の運動を順序を間違いずに然も各動作が8回とか10回とか定めてある通りに意識せずに間違いなくやれる様になれば千里眼，透視が出来るやうになれる，と云うのだ。色々の人が出て行つて中江氏の前に坐つて質問するとスラスラと答えて呉れる。

Ⅲ

私も中江氏をテストしてみようと，先生の前に出て行つた。「あなたは幼ない時代に椅子があると思つて腰を下した所が，それがなくてドシンと亀の子（尾低骨）を打つた筈だ。それが為年に3，4回は紅い絹糸の様な血が着いた大便が出る筈だ。是には第七動？の運動—脚を中開きにして中腰になり双膝に双手を置いてドンドンと尻を下に落す運動—に力を入れなさい」と云つた。今日でも腰髄が脱臼して背髄骨が不正なため腰が疲れて一よそに使うためでないですぞ—正しい姿勢が永続き出来ないで不作法をして居る。

又曰く「あなたは自分の希望しておる学校に入れない，思わぬ学校に入る」と。なる程，その後毎日注意して居つたが今日になつても時々中江氏の云われた大便が出る。又結果から見て考えても居なかつた早大に落付いた所を見ると当つて居た。その質問の時に，私の長兄が北米に行つて居つたが，本人も帰国したい，親も寄る年浪で帰国させたいと云つておつたから，帰国するか如何を聞いてみた「帰国は出来ない。妻を迎えに来る様でも帰り切りにはならん」兄は帰つて日本に落ち付くと云つておるのにと考えたが，一旦帰国して妻帯すると又飛び出した結果から見ればその通りであつた。所が中江氏も死亡してしまつた。病因は知らなかつたし，知らうともしなかつた。学校を終えて1985KVA発電機2台と3333 KVAサイクルチエンジヤー1台とある発電所の主任心得として就職した。学校の成績も善くないので卒業も望み薄い。大正14，5年頃は不景気のドン底に入る一歩手前であつて就職も容易でない。

私の様な者は田舎武士になる以外に道なしだ。親戚，知人を頼つてやうやう履歴書を出した。元来私は悪筆な為字の上手な友人に依頼して毛筆の履歴書を書いて貰つて提出して置いた。所が同級生も同時に出したものだが当時の支店長はその同級生と従兄の間柄だ。その先生も字は上手ではない。私のが上手に書いておつたため，採用試験に呼出しを受けた所，支店長曰く「君の履歴書が紛失したからもう一度書いて呉れ」と仕方なしにバレルのを観念して筆を採つて二行ばかり書くと，その支店長がクスクス笑い出して「もう結構だ，余り字が上手なので技術屋には珍らしいと思つて書かしてみたのだ」と人の悪い—どつちが悪いか—ことを云つたが，どうせ満足な成績で卒業出来るのではない。可愛想に思つたか採用になつて辞令を拝受して学校に帰つた。卒業試験には口答試問があつたが，是は学科試験の悪い者を救い上げる為の試験であるが，当時私共の様なカンニング組は之で振い落すのだと考えて居つたので，試験室に入るとスグ採用辞令を出した所がエンマ帳を見て居つた部長教授がクスリと笑つて「よかろう」と云うのでホツトした次第で，今日でも既に死亡して居る母の夢よりも，学校の試験を受けてはらはらして居る場面を夢見ることが多い。話しは大変脱線してしまつたが中江氏の如く透視する能力は必ずしも何人にも備わつて居るものと考えられる。只之の能力を引出し得ないのは人間に我慾があるためだと思う。万物の靈長だと称して居る人間がヤレ科学的だの理論的だのとワメキ立て，天気予報さえも満足に出来て居ない，寧ろ地方地方によつて昆虫の生息でも研究した方が電気屋として大切ではなかろうか，発電所の諸君で此の様な考えを起された方なきや。若しあらば一代でなく代々の其処の勤務員に研究資料を残して続けられたし。２ケ年半ばかり発電所生活中チヨンガー時代には大変無茶な生活をしたものだ。貰つた月給は大抵非番発電所員との酒となつた。広い主任社宅にポツソリと１人で居るので淋しい。非番の所員さんと湯豆腐位で一杯やりながら色々と歌を教はつたものだ。そもそも飲ん兵衛の看板を掛けさせられたのは，水槽に雪が流れ込んで出力減少するのを防ぐ為人夫に流雪つゝきをやつて貰つたが，こちらが付いて居ないと固められて仕舞うので，付き切りで居る。之が終つて社宅に帰つても独身者の悲しさ，電気風呂は（当時は風呂だけが電熱を許されておつた）入れる様になつて居るが火の気の無い所に戻るので，つい１升酒ビンを抱いて風呂に飛込んで内外共に暖つた所を入りながらチビチビやつて居つたが，一度事故があつて所員が迎えに来て見付かつてしまつた。之が又所員先生気の毒に思つてか，声も掛けずに帰つたのを知らなかつた。此の時以来「飲ん兵衛」のレツテルを貼られたのだ。善いレツテルは貼つても悪い面のレツテルは絶対に貼らぬこと。言葉の力の偉大なることを追つて述べることゝする。

（以下次号）　　（秋田支店長）

お正月斷面圖



佐藤鉄歩

1

正月２日，田村さんは親戚の者が経営する轟商会に年賀に行つて，応接間で特級酒らしい好い酒を御馳走になつている。この商会は繁華街柾谷小路に面していて，田村さんは窓に向つて座つて居るので，見ようと思えば街の情景がよく見える。

元日は街を行く人の８割迄は赤い顔して好い気嫌になつているが２日となるとそれが５割迄減つて居るようだ。

ひよつと見ると，60年輩の和服の男が，千鳥足でひよろひよろと街角にさしかゝつたと思うと，雪とけのアスフアルトに辷つて横倒しに倒れた。その直ぐ後から紺絣の着物に縞のもんぺ，あねさん被りの30前と見える八百屋らしい女が自転車で疾走して来て，それを避けようとして避け切れず，輪は触れなかつたがペタルで頭を踏みつけたらしい。自転車ははずみを喰つてよろよろつとしたが，その女の人はちよつと後ろをふり返つてみたきり何と思つたかその儘全速力で逸走してしまつた。そのふり返つた時の赤い頬がその瞬間田村さんの目に深い印象となつて残つた。

あつと田村さんが声をあげると同時位いに商会の若い者が２人街へかけ出して爺さんを助け起して居た。みると右耳の側から頬にかけてドロドロと血が流れている。

「早く，はやく，巡査の来ぬ間に病院へ送り届けろ」と商会主は窓から首を出して大声で指図する。

爺さんは，和服の左半分を泥だらけにして右頬の血を押さえ乍ら，割合いにしつかりした声で，

「いやいや，傷は大したことはないから，病院などは止めて，家え届けてもらいたい」と言う。そこで早速商会の３輪車を出して爺さんを乗せて走り出した。

「警察が這入ると，犯人捜査だの，証人だのと，うるさいことになりますからね」と商会主は豪放にあはゝゝと笑つた。

2

後で聞いた話だが，翌日商会の者が見舞旁々，様子を見に行つたら，爺さんは物々しく顔中を繃帯して居たが，それでも大元気で「おいらア，若い時から酒は強い方で，今でも気は確かなつもりだが年には勝てねいや，体が言うことを聞かねいのであの醜体さ，なアにあれが自転車であつて幸いよ，若しバスかトラツクでゞもあつてみねい，あれつきりお陀仏ぢやねいか，え？考えてみれア命拾いだつたよ全く，いやめでたい話だ」と言つて家人に呆れられ乍ら，このわたか何かで大いに祝盃をあげて居たと言う。

3

正月３日，田村さんは街で所用を済ませて何考えるともなく家路をさして歩いている。

色の変つて今時流行らない２重廻しに足駄がけで，トコトコと歩いている。

と突然お尻のあたりに，どしんとひどい衝撃を受けて，よろよろつと２，３歩よろけて漸く踏み止まつたものゝ，とたんにぶすつと足駄の足緒が切れた，それでも僅かに倒れることだけは免れた。「自転車だナ」と瞬間にさう思い乍らふり返つてみると「とつつあん，済まなかつたね，かんべんねⅰ」と若い溌溂たる声の主は，何と昨日の自転車ひき逃げの頬の赤い女だ。紺絣の着物に縞のもんぺ，あねさん被りも昨日其儘の姿だ。自転車につけた馬籠から，にんじんや葱がはみ出して傾いているのを気にし乍ら，息をはずませて謝つている。矢張り彼女は八百屋さんに間違いなかつた。

「お前さん，余り走り過るからいけないんだ」と田村さん思わず心の憤まんを吐き出す。「でもね，とつつあま，おらア忙しいもんだすけ」と言うのを聞いて，気の弱い田村さんは，タイヤの泥がべつとりついている２重廻しの尻のあたりに手をやり乍ら「それもそうだナ」と直ちに同調する。こゝで田村さんは，昨日お前さんが引き逃げしたあの爺さんは大した怪我でなくて，直ぐ家へ帰つた位だから心配せぬ様にと言つてやろうと思つたが，いやいや然うでない，何も知らない顔して居る方がよつぽど功徳になると思い直して「やあ，それでもこの泥の中に転ばなかつたので助かつたよ」とつくづく赤い相手の頬を見入り乍ら歯の欠けた口を開いて意味もなくあはゝゝと笑つた。

4

正月４日，会社で新年のお祝いがあつた。冷酒１合の利目で，ほろ酔い気嫌になつた田村さんは，午後から悪友と連れ立つて，これから豪い人を訪れ，大いに賀正の実を挙げんものと街へ出た。

今回の御用始めの式は新らしい試みとして，４線式中継同時送受話拡声方式を採り入れたとのことで，社長，各支店長の年頭の御挨拶が聞けるものと，胸を膨らませて期待して居たところ，宮城支店さんのさんさしぐれがはつきり聞えた以外には，雑音，鳴音が多く，たまに大きい声が出たと思うと途切れたり，何とも聞きとり難いもので，何だ，川の中で屁を放つてるようではないかなどの囁きが起る位であつたが，これも紺屋の白袴の類いかな？　東北電力の通信技術は聞くところに依れば日本一だと言う話だから，次の機会には何とかもう少し伝送帯域を拡げて，雑音や鳴音のない，安定した交換放送が聞けることだろうなどと，考え込んで歩いて居ると，はるか向うの街角を，顔中繃帯した和服の爺さんが，千鳥足でひよろひよろと横切つて行くのが見えた。それからまた間もなく，紺絣に縞のもんぺ，あねさん被りの八百屋さんが，例の通り自転車に馬籠をつけて颯爽と，田村さん達を追い抜いて行つた。

こんとんとして，見当もつかない今の世相であり乍ら，矢張り何かしら大きな軌道に乗つて運行されて居る実相の一端を見せられたような気がして，田村さんは悚然と襟を正す気になつた。

（１月５日記）（新潟支店土木課）

財務日誌抄



J. N 生

×月×日　社誌 No.14 の配布あり。拝見す。経理屋さんの執筆少し。御忙しいのか一寸淋しい気がする。

×月×日　経理屋について考えて見る。時々自分でもいやな商売だなと思う。人の尻拭い許りしてくそ面白くないと考える。経理屋さん以外の事務屋さんに経理にお変りになりませんかと水を向けますと必らず算盤が苦手だとか借方，貸方がわからないと御答えになるのが普通のようです。

必らずしもそんなに毛嫌いなさらないでもよろしいでしようと申上げたくなります。

経理屋も当社では会計屋，財務屋と大別されます。会計屋は難しい勘定科目を振り廻し高度に進化した財務諸表の形に仕上げを致します。之れに反し財務屋は至つて原始的な大福帳を記帳し金の調達をし，その支払を致します。一方建設経理屋が居りますが会計屋と財務屋の中間を行くものと御承知願えばよろしいかと存じます。

×月×日　師走の風が冷たく懐に響く。電産の座り込みが本館玄関前で行われている。法王庁の出店日銀さんから御呼び出しの電話が掛る。慌てゝ労務課長さんに御連絡し渋々出掛けて行く。時の話題それは電産ストであつたわけです。この頃は何処の銀行に御邪魔しても話題は電力料金の値上げとストライキのことに落着きます。ひと頃は只見川問題でなければ夜も昼も明けなかつた時もありました。財務屋は利息勘定でもして居れば間違いないだろうと御考えになるかも知れませんが外に出ますと会社のことについてオールマイテイだと思われている訳でもないでしようが矢鱈に聞かれます。そこで自分の会社のこと或いは電力のことについて知らないと思われたくないので何でも浅く広く知ろうと努めるようになります。専門家の方につまらぬことを伺いに上る場合があるかも知れませんが素人だと思召して外に話して差支えない限度で御教え願いたいと思います。又社内のことで積極的に外に宣伝した方がよい事柄は資料の御寄贈を御願いしたいと存じます。

×月×日　商売とは云えこうもよく毎日あちらこちらの銀行さんからいろいろな資料を頼まれるものだと思う。考えて見れば自分達が親類に僅かの金を借りに行くときでさえ金は何で要るのか，どうして借金を返す当てがあるのかと長々と御説明申し上げ納得して頂けなければ御金は貸して貰えないのだから何億円と云う大金を御貸しになる銀行さんの御依頼のことだからと諦めて資料作りに専念することに致しました。

×月×日　某課の方が銀行さんから融資を受けたいのだがと相談に来られる。御気の毒だと思い乍ら御答えする。「財務課という処は借金のことについては重役さんがお纏めになつた御話の事務的な手続を進めるところで銀行さんを御照会申上げるような潜越なことは出来兼ねます。何卒貴方の方で銀行屋さんにコネクションを御付けになつて下さい。なおその後の事務的手続のおわかりにならないことは御説明申上げましよう」と。

×月×日　東京事務所から電話あり。開発銀行の契約書を明朝までに調印を済まし東京に届けなければ当月の資金の貸出は間に合わないと。堀副社長は今夜でなければ帰仙されない。幸い東京事務所のお嬢さん方が今夜帰京される。仙台駅発11時の準急で発つて頂くことに無理にお願いする。副社長の駅にお着きになる時間を秘書課で調べて頂く。今夜の10時である。10時まで時間つぶしに日の出地下劇場で映画を見ることゝする。映画の最終回は9時40分である。安心して古い映画「落葉日記」を観賞する。岸田国士の原作で美しい淡々たる映画で昔観た「暖流」と云う映画を思い出し主演の角梨枝子も好演であり映画にフランスものの味があるように思つた。映画が終ると大急ぎで駅に駈け付け堀副社長の自動車に乗せて頂いて会社に戻り調印をお願いし，片平荘に待機していた事務所のお嬢さんに契約書をお渡ししてほつとする。

×月×日　長い間お世話になつた某大銀行の融資課長さんが東京に御転任になるので御見送りする。街の綺麗処がずらりと御見送をしている。矢張り金融機関の方は大したものだと思う。御同行の津島恵子さんに似た夫人と可愛いゝお子さん達が印象に残る。

×月×日　久し振りで残業をして帰る。遅いのに子供達がまだ起きている。

6つになる姉が「お父さんまた御酒呑んで来たのでしよう」と，下の妹が「どれどれ顔を見てやろう」と口を揃えてやり込められる。親爺がつかりである。

×月×日　暮も愈々押詰つて来た。工事現場視察中負傷された課長も何ケ月振りかで御出勤になる。傷がまだ十分に癒えないのに御職掌柄ら無理をして出ておられるのだ。人の気も知らないで少しでも多く預金を貰いたい銀行屋さん，今月の月末の支払いを心配するメーカー，土建屋さんが入り変り立ち変り陳情に課長の前に座り込み動かない。立場を代えて考えれば商売々々で仕方がないと思うが商売も又辛いものだとつくずく考える。これから歳末数日はお互に盛々実々の戦術が展開されることであろう。　（本店財務課）

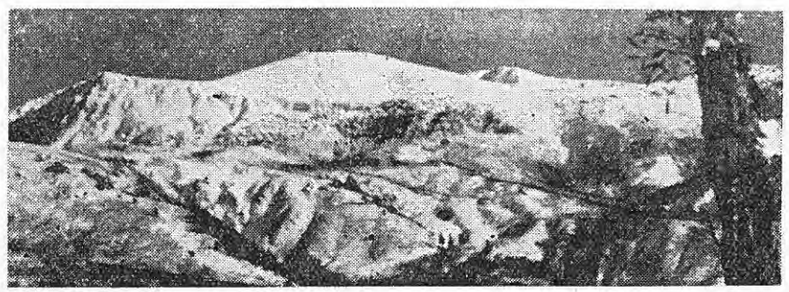
冬の藏王山



小松悦次郎

雪のない正月を迎え，ひたすら大陸の季節風を待ちこがれるスキーマニヤに御同情申し上げます。でも今日の山形には朝からサラサラした粉雪が降り続きスキーのメツカ蔵王も間もなく滑れることでしよう。モンスターの芽も漸く生れ始めたとのこと是非お出でをお待ちします。

シーズン到来と共に思い出されることがあります。丁度昨年の秋蔵王に登つた折のこと地蔵岳の頂上に「りんどう」の花と風雨にうたれ色褪たピース1箱がそえられ白木も新しい慰霊碑が3柱，西の方運命の蔵王沢を見下してさびしく立つておりました。夏ならば未だしも度々登つた厳冬の蔵王を思うとき何か身近に感じられるものがあり心から冥福を祈らずにはおられませんでした。



この遭難地点の一寸下俗称フサ小屋附近でこんなことがありました。風速12米位の吹雪のとき地蔵岳より熊野岳頂上に登るべく鞍部に出たとき猛烈な西からの吹雪に吹きまくられ視界は零に近く，行つても行つても同じ場所を廻つてることに気付き位置を見失つてしまいました。苦斗の末漸く夏道指導標の頭が2寸位氷の上に見付けホツとしたことがありました。昨年の遭難者捜索隊の猛者連でもこんなことを繰返しております。美事な樹氷が発達する所程風雪の熾烈さと天候の激変性を物語つております。当社の「蔵王の家」が出来てから他店所からの利用者も随分多くなり誠に結構でありますが，より一層楽しい思出のスキー行であらしめたい為にも又特異な気象条件下で特に仙台側から山形側にツアーを試みる人達のうちから遭難者を見ていることからも参考迄に冬山蔵王の面目の一端をのべてみたいと思います。

蔵王の山型と気象条件をみますと蔵王火山群は刈田岳から北の方に熊野岳地蔵岳三宝荒神岳と順次に連立した山嶺が奥羽山脈分水嶺として横たわり，各山嶺の間にはそれぞれ谷地形を挟んでいます。かうした地形に伴く定向風は西風で常に山形盆地の静かな大気を吹き上げるように山嶺を襲い，特に鞍部状の処は谷に当つた大気が密度を高めて上昇風となり山蔭に越える風道に当つてるから風速が大きいばかりでなく，吹上膨脹によつて起る気温の低下が著しい為に危険をもつた地帯となつております。十二分の準備と訓練そして危険に臨んでの精神的平衡を失わないこと。更にパーテーの協力団結は冬山に登る人達にとつて欠くことの出来ない必須条件ではありますが，冬山は夏に比べ人間の活動能力が勝からず減退し気象の変化は又山容すらも変えてしまう強風と降雪の悪戯を始め，予測もつかぬ千変万化が高い稜線や雪深い渓谷に起つており去年の冬其処を通過したと云うことで今年も同じ状態を予想するととんでもない目に遭わされることがしばしばあります。

このようなローカリテーをもつた気象の激変性をよ



藏王山における風雪危險地帶圖

く意識することが遭難に対する第一の防衛であると思います。

藏王の主なスキーコースの概況を申し上げますと藏王温泉から三宝荒神岳下俗称カレ沢迄に「大平コース」高鳥コースを通りドツコ沼県営山の家を通る「紅葉峠コース」ドツコ沼より大平コースに出る「御成コース」高鳥コースの夏道をたどり「7曲りコース」更にドツコ沼から東沢村を経て山形市に出る「宝沢コース」等でありますが，以上のコースは最盛期に入れば指導標も完備し特異な気象の変化のない限りコースを見失うことはまずないと考えられます。

更にカレ沢から地蔵岳鞍部迄は一本のコースになり鞍部からツアーコースとして名号峰を経て宮城県峨々温泉に至るコースと熊野岳，馬の背，刈田岳の背稜を通り峨々，青根温泉に至るコースに分れています。

快晴の場合，経験者なら楽々展開する樹氷美を楽しみ乍らツアー出来ますがガスの多いときは先ず刈田岳廻りコースは見合わせ名号嶺コースをすゝめます。このコースも吹雪いたら断念し無理をしないことです。今年から地蔵鞍部名号峰間のツガ松の片方を切り落し指導標としましたが安易な依頼心はさきに申した通り天候の変化により危険な場合が多いと思われるので経験者や確実なリーダーがある場合を除き未経験者にはおすゝめしない方がいゝと思います。

ツーアコース中奥羽山脈の分水嶺をなす名号峰刈田岳を仙台側に下りしばらくしてからは季節風もやわらぎ山形側程の危険はうすらぎますが今冬東北大生2名の左工門沢における雪崩の遭難を出していることからしても安易な判断は出来ないものと思います。

今シーズンから藏王温泉においても遭難防止対策をねり，遭難者発生の場合の処置や気象予報の告示，之れに伴う縦走者への警告等考えているようですが藏王温泉周辺でも数々のゲレンデがありスキーの醍醐味は充分満喫出来ますし快晴の日ならば当然樹氷帯まで登り藏王の真面目に接して頂きたいのですが，吹雪のときに無理して樹氷帯に登つても樹氷の魅力は半減してしまうことが多いと思われますので，ゲレンデスキーを楽しまれる方は先ず無理をしないこと又藏王における山スキーの豪壮さを味わいたい方は常に最悪の事態を想定して猶且つ凡ゆる変化に対処し豪も誤りなく綿密なプランを遂行し得る技倆と体力と装備を兼備することがもつとも望ましいことゝ考えられます。

（山形営業所，総務課）

音樂斷想

— 28年の音樂界回顧より —



池田信夫

◇外国演奏家ラツシユ

昨年の我が国楽壇は，終始外国演奏家の来日で，あけくれて居つた感があります。実に多くの，外国の著名演奏家が，我が国へやつて来た年でした。

まず3月に，ドイツの名ピアニスト，ワルター・ギーゼキングとハンガリア生れの，名ヴアイオリニストのヨーゼフ・シゲテイ，4月末には「百年に一度の声」の主と云われております，黒人のアルト歌手，マリアン・アンダーソンが，5月末になると，ドイツの名チエリストのルードウイツヒ・ヘルシヤーがやつて来ました。そして秋ともなると，又ぞくぞく外国の演奏家が，やつて来ました。アメリカの名ヴアイオリニストのアイザツク・スターン，ピアニストではフランスの名ピアニストのラザール・レヴイとイギリスの名ピアニストのガツトナー・ソロモンそして10月に入つて，ドイツの名バリトン歌手ゲルハルト・ヒユツシユ，それにフランスの名指揮者ジヤン・マルテイノンの来日等々，実に多数の名演奏家が来日したわけです。こうした結果としては，しまいには，消化しきれないような，状態に思われました。

実際こうした外国の大家の来日は，結構な事ですが，程度問題で，あんまり来すぎると，自然飽きが来るのでしようし，又聴く方でも，私などの様に，経済的にも，まいつてしまう者も出て来るわけです。

今ではアメリカから，日本に来るのに2日，日本からヨーロツパへ行くのに，2日ないし3日ですから，アメリカで演奏するのも，日本で演奏するのも，大差がない状態で，昔の様に，外国から日本に来るのに往復1ケ月以上ものムダがあつた時代とは異いましたから，こうした面からも，多くの人々が来る事が出来るようにもなつたのでしようし，おまけに，旅費，滞在費こちら持ち，ともなれば，なほさらのこと。

しかしよく考えてもらいたい事は，こうしてギヤランテーが高くなる事は，来る人にばかり有利な状態では，結局入場料が高くなるのですから困つた事です。何時もこうした名演奏家の演奏は一部の限られた人々にのみ，聴いてもろうのではなく，もつと多くの人々に安い入場料で，聴いてもろうのでなければならぬと思います。

今年もまた，昨年におとらず，来日演奏家が多い様で，私が承知している範囲でも，今年はブタペスト弦楽4重奏団，フランスの新進女流ピアニストのジエルメーヌ・ルルー女史，黒人ばかりの男声合唱団のデボーア合唱団，3月にはドイツの名ピアニストのウイルヘルム・バツクハウス，5月には名指揮者のヘルベルト・フオン・カラヤンの来日，秋にはドイツの名ピアニストのウイルヘルム・ケンプの来日等々の来日があるそうですが，こうした名演奏家の演奏を，広く好楽家の皆さんに充分楽しんでもろうように，考えてもらいたいものです。それと同時に我々は，こうした来日名演奏家に心を取られることなく，我が国の楽壇を，より一そう育て上げる事を，忘れてはならない事と思います。事実昨年は器楽の方面は，まつたく来日演奏家に押されて振わなかつたのも，やむを得ない事かも知れませんでしたが，しかし演奏家自身にとつては，より反省の年ではなかつたかと思います。

◇ほこらしき歌ごえ

昨年来日した数多くの名演奏家の内で，特に多くの人々からしたしまれ，そして戦後なんとなく，心のよりどころを失つて居るかの我々に，深い感銘を与えてくれた人は，ドイツの名バリトン歌手ゲルハルトヒユツシユでしよう。昨年12月1日仙台に於ける演奏会に於ても，再度の来仙にかゝわらず，おそらく昨年度仙台に於ける最高の人を集め，そして彼は祖国ドイツの古い歌曲を，ほこらしげに聴かせてくれたのであります。そして人々は，楽しい興奮に，ひとゝきを過したのでした。彼が歌うシユーベルトの歌曲を聴いては，限りない人生の楽しさや，悲しさが全身に流れるのを感じさせられるのでした。見知らぬ国の生活が，ひしひしと，身にせまつてくるのを，おぼえたのでした。いまさらこの大家の演奏や，シユーベルトの歌曲からうける，このような芸術的ふん囲気について，申上げるのも，おかしなことではありますが。

生活は日ごとに進歩しておりますし，音楽の形式も，それにつれて変化して来ることは，当然のことではありますが，しかしことさらに，新奇をよそおつた現代音楽の不自然なリズム，ジヤズの騒音が町から町へ流れているのを聴かされている，そわそわした，現代の生活は，たゞひしめくだけで，心のよりどころを，どこか失つているような気がしますが，ヒユツシユをきいて，忘れかけていた人の心にきづき，いまさら感嘆もさせられるのです。

最近の日本は外国文化の表皮だけが，かさなりあつて，まつたく歴史のない，文化がはびこり，なかには祖国を忘れかけている日本人もいるような時，ヒユツシユは彼の祖国ドイツの古い歌曲を，いかにもほこらしげに歌つて居りました。その中には，ドイツ民族の生きた血が流れつずけており，決して見失うことのない，厳然とした自立の精神が，みなぎつているのを感ずるものです。

われわれの過去にも，あれほど高度の歌曲が，一般の生活の中にあつたでしようか。私はわずかに民族の命脈を感ずるものがあるのは民謡であろうと思いますが，しかしその中にも，残念ながら日本民族のほこらしさは，みつからないような気がしております。

◇〝古〟と〝新〟の対照

戦後のある日，ラジオで名曲レコード放送を聴いておりますと，ヴアイオリンの磨きぬかれた音色，鋭い技巧，そして意識的な歌いくずしもなく，濁りなく淀みのない歌わせかた，そして太くたくましい跡，技巧

にだけ走るでもなく，明快健康にして若々しい迫力ある演奏におもわず，今までに聴いた事のない演奏家だと直感し，それがアイザック・スターンとアナウンスされて，はじめてスターンなる偉大なる若い演奏家が，戦時中の我々の知らない内に生み出された事を知つたものでした。其後は機会あるごとにレコードによるラジオ放送或いは直接レコードを通して注意して聴いておりましたが，聴けば聴くほど，驚かざるを得ない，すばらしい演奏に驚かされておりましたが，若い頃から夢中になつておりました，クライスラーやテイボー，そしてフーベルマン等の演奏に比較して，これほどまでに完璧にして非の打ちどころのない演奏ではあるが，どうしても何か，物たりなさを感じておりましたが，昨年10月24日直接演奏を聴き又度々のラジオ放送を通して聴く事が出来，いさゝかスターンに付て承知する事が出来ました。

スターンは今年34才の青年，生れて僅か1年でロシアよりアメリカに渡り，いわゆる機械文明の恩沢に浸つて育ち，そして現代アメリカの聴衆を相手として生い立つたのでした。まあ機械文明の最も徹底しているのが，現代のアメリカとも云われておりますが，機械文明の発達に伴つて，人間の欲意が，機械にはさまれ，没個性の能率万能の社会が出来るわけで，こうした非情の社会に於いては演奏の面でも，それが大衆の性向を裏付けとして行われている限り，写し出されていることも間違いないものです。ダイナミックなスピーデーな，そして技術的に正確な演奏が，要求されるのですから，スターンの場合もこうした傾向を身に付けていても，不思議ではないのでしよう。一口に云えばスターンは全くアメリカンメードの演奏家だつたのです。その結果としてスターンの曲の感じ方，捕え方も，演奏スタイルも表現法も，その根本において，アメリカ的であり，現代的であつたのです。彼の演奏は，ひねつたところや，深く突込んだところがなく，明快で，卒直で，健康でその若々しい迫力と，わざとらしさのないスタイルとしつかりした，しかし誇張のない技巧にはその演奏を通して，もう少し何かを求めたいものを感じながらも，好ましさが感じられるのです。そして既に特に演奏面でヨーロツパと対立した地位を占めているアメリカの，現代の演奏スタイルを直接伝えてくれた様な気がしました。

処が昨秋来日演奏家の内，心から皆さんに迎えられた人にピアニストのレヴイがおりますが，このレヴイは歴史の古い欧州の文化国のフランス人で，古い伝統の中で育つた74才の老演奏家です。ですからスターンとレヴイはこれだけでも全然種類の違つた，対照的な存在であるわけです。

レヴイはソロモンの先生でもあり，我が国第一線ピアニストの安川，原両氏の先生でもあり，長年パリー高等音楽院の教授をして居りました。その演奏はフランス風に洗練され切つた演奏，長年の演奏で磨きに磨かれた技巧を，彼は出来るだけ抑えて表に出さない，曲の解釈は深く，細かいが，それを意識的に表には出さず，さりげないやり方で取つている。そして一つの音，一つの楽句にも歴史の裏付けを持つたニユアンスと表情とがあり，一見上品であつさりとした，その演奏には，味わえば味わうほど，滋味の出て来る奥行きの深さがあり，本当に老練な演奏家のうま味があるのです。コルトーはショパン弾き，ギーゼキングはドビツシー弾き，シユナーベルやケンプはベートーヴエン弾きと言われる，特定の作曲家の作品を特によく演奏する，名人，巨匠がおります。まことに有難いことです。

しかし私どもは，だれのショパンでも，だれのドビツシーでもない，ショパン自身，ドビツシー自身，ベートーベン自身の音楽を聴きたいと思う事がありますが，そんな時には，レヴイのような，アカデミックな演奏こそ，その望みをかなえてくれる事でしよう。ようするにスターンはアメリカを代表すると同時に若い世代を代表しており，レヴイはフランスを代表すると同時に古い世代，過ぎさつた時代を代表しているとでも云われましよう。それにまたレヴイは一度もアメリカへ行つておらないと聞きましたが，こんな対照的な演奏家の演奏を同じ年の秋に夫々聴く事の出来た事を喜こんで居りますが，これは外人演奏家ラツシユのおかげの一つでした。

◇ 惜まれる人々

はなやかに暮れた昨年の我が音楽界に，悲しい三つの思い出があります。それは我が国のヴアイオリニストの育ての親とも云える，モギレフスキー氏が2月7日68才で，ピアニストの育ての親クロイツアー氏が9月30日69才で死去され，それに我が国への来演の途中，乗機コンステレーション機がフランス，イタリア国境近くのアルプスの高峰モンスネの頂上付近に激突，令嬢スザンヌさんと共に8月2日不慮の死をとげた，フランスの名ヴアイオリニスト，ジヤック・テイボー氏の死去であります。

モギレフスキー氏，クロイツアー氏共日本の技術を

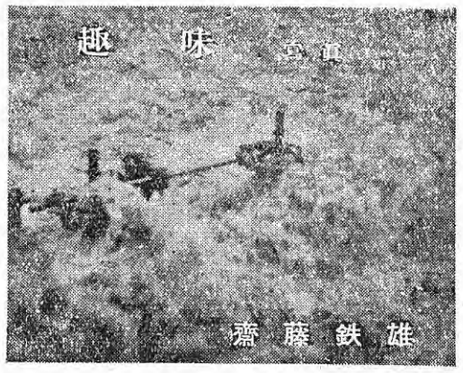
世界の技術に結びつけてくれた人達で，死去してから，一そう2人の存在が有難かつたことが痛感されております。外国から名演奏家が来て名演奏を聴かせてくれるのもよいですが，この人達のように日本にじつくり腰をすえて，日本の若い音楽家たちを指導してくれる人の来るのを待ち望みたいものです。我が国の楽界にとつて真に必要なのは，このような人達でしよう。モギレフスキー氏は，大正15年クロイツアー氏は昭和6年以来我が国に滞在，始めからこの国に骨をうめるつもりでおられた人ですが，戦時中の苦労も大きかつた事と思いますが，実によく我が国の若い人々を育てゝくれた人達です。

モギレフスキー氏に付ては特に未だにわすれられない思い出があります。まだ中学生の頃来日まもない氏に母が一寸した機会に知り合い，母が日本の食物で何が一番すきか，と尋ねた時に，片言の日本語もやつとの氏が「シヤシミソバ」と例の童顔で答えましたが，これはサンミとソバと言うのですが，その時の事などが忘れる事が出来ない思い出となつて居ります。後年友人が同氏に師事した時に，私もと思いましたが，そんな心臓もないまゝレツスンに行つた事もなく，其後いつしか，同氏ともまつたく離れてはおりましたものゝ懐しい音楽家の一人でした。

テイボー氏は3度目の来日で第1回は昭和3年そして第2回目は昭和11年でしたが，昭和11年の時は，どうしても聴く機会が得られなかつたので，今回は特に期待して居り，そして一番聴きたい人でした。ボルドー生れの生粋のフランス派ヴアイオリニストで，今世紀に入つてからのフランス音楽の素晴らしい興隆と手をたずさえて大をなし，その優雅，典麗しかも，はげしく燃えるような情熱と詩的な情感は，流麗なテクニツクにより一層高められ，ヴアイオリン界に於けるフランス的演奏の一つの型をうち立てた人でした。そして73才の誕生日を1ケ月後に迎えるはずであつたので，名実共に現代活躍して居るヴアイオリニスト中第1の長老でありましたが，その氏が再度日本を訪れて老熟した芸を聴せてくれる事に，だれもが大きな期待を持つて居りました。今回の来日で発表された曲目を通覧して，まず感じたものは，氏の相変らずの趣味のよさでした。そしてその中にモーツアルトやフランクやドビツシーの傑作を演奏する氏を楽しみにして居りました。総て外面的な飾りを棄てゝ本質的な音楽性にのみ語らせる，枯れきつた芸に接することが出来るはずでしたが残念な事でした。

先日も「ヴアイオリンは語る」と言うテイボー氏自身の自叙伝を読みましたが，そこにはまつたく人間テイボーの面目がありありと出て居りました。私どもはテイボーと言う「人間」がストラデイヴアリユーの名器にも劣らない神秘な魂の持主で，たまたまその愛器を媒介者として，私どもに語りつずける言葉(演奏)の意味を解く手がかりを自叙伝の中で与えられたわけです。テイボー氏亡き今日，彼自身で書いてくれた自叙伝は，よい思い出となる事でしよう。

1954. 1 .10 （社長室人事係長）



元来機械に興味があつて，幼い頃は家の前を流れる小川によく水車を掛けて遊んだものである。

流れに添つてくるくると廻る水車を眺めながら，幼い頭に色々な空想をめぐらした。

それで結構楽しいものであつた。廿年も過ぎた今日では，どんな事を空想したものかは忘れて仕舞つた。其の頃から2年，3年とたつにつれて，かなり巧妙な水車を作つた事を覚て居る。

二段か三段にベルトが掛かつて居て，力も相当にあつた。其の水車に空瓶をしかけて，初秋の夜に鳴く「水鶏(クイナ)」(カネタタキ)の音の様にコンコンと音を出させる事に成功した時などは，1人で手を揚げて万才をした。

何時だつたかの週間朝日で「鈴虫水車物語」という記事を読んだが，其の頃の事を直接思い出して懐しかつた。

水車から始まつた機械への興味が廿年後の今日では廻り廻つて写真に迄及んだ。何んの目的もなく只日茶苦茶にシヤツターを押した写真には無情にも写真らしいものは一向に写つて呉れないが，それでいて写された人は，これと云つた文句も云わずに黙つてくれるから有り難いものである。

これもアマチヤーにだけ与えられた特典であろう。

つい最近，廿代で開業して居る男振の好い田舎写真屋とバスの中で一緒になつた時の事であるが，其の写真屋が農家の主らしい風格の男から，記念写真の事で，出来が悪いと，ひどくやり込められて居るのを見た。

たぶん自分の顔が思わしく撮らなかつたのであろうが，文句を叩きつける其の顔からは，其れ以上の出来ばえは望めそうもなかつた。彼は自分の腕に思いあたる点があつてか，それとも商売とあつての骨をわきまえてか，一向に平気なおもゝちで聞き流しの戦術に相手方の感情をそれ以上のものとはしなかつた。

趣味としての写真であればこそ，どんな出来ばえであろうと，たんまりとした御世辞を戴く様にからくりが出来て居る。

其れと云うのも曳を戴かない為の極自然的現象だ。其のためにアマチヤーは御世辞を戴いて鼻をたかだかとさせる権利があるのだろう。

3点の顔を持ち込んで10点に写りたいのは本能的な作用かも知れないが，カメラはあまりにも機械的に3点を記録して仕舞うから始末が悪い。そんな場合でもアマチヤーであればこそ自然でよいとか——云々の御言葉を物にする。

職業ともあれば3点を5点に否10点に写し撮る術を腕に持たない限りは容易に鼻の下をうるおす事は出来ない。

5年このかた勘定をして見たら釜がひつくり返る程の費用が写真に掛かつて居るだろうけれども，金曳出納帳などと云う，事面倒な帳面の持合わせない私には其の値のはつきりしない事がむしろ幸である。

最近に至つて吾が経済に，しのび寄る秋の寂莫を感じる様になると量よりは質の好い写真を撮つて楽しもう等と云う，生意気な事を考える様になつた。

写真を始めた頃の懐具合がとり分豊かな訳もなかつたのであるが，こんな簡単な事を考え付く迄に5年も掛かつた勘定になる。

とつさに其んな事を考え付いたからとて即座に質のすぐれた写真が撮れる訳もない，所謂経済に苦しい心のまぎらわせである。

其んな事はどうであろうとも過去に於いては，金が食う様に掛かる横着者の道楽であるが如き観念が，人の頭を支配して居た様だ。事実私も無意識の中に植えつかつている其んな潜在的意識からか，始めた頃は，写真機などと云えば女の顔を写すための洒落た機械でしかない等とこころ得て居たもので，少なかず引けめを感じるものであつた。

だが現在の世に於いてはラジオが時局を知るための必需品として考える事が極当然の様にカメラもそして又テレビも同じ道を辿つてその域に達するのではないか等と考えるのも，そう度の外れた考えでもあるまい。

現代に於いても一つの芸術を開拓する面に於いて，又種々の出来事を偽りなく記録する意味に於いても各方面に利用され普及してアマチヤーの数も相当なものである。

百戸余りの山村にもカメラクラブが組織されると云う現状を見ては，度の外れた考えどころか準必需品としてぐらいは考えたところで不自然な事でもなさそうである。

変転にとぼしい山深い発電所生活の中からは，とり分面白い写真も生れて来ないが，突発的な事故の現場や，年に1,2度は忘れずに押し寄せて来る大洪水の現状を記録する事も，面白いと云うよりは職業がら大切な事の様に感じる。

どんな名文家でも，そして又如何なる弁論の術を持ちあわせた人でも，云い尽す事の出来ない所謂「一見にしかず」の説明をするためには写真が大きく役にたつて呉れる事は声を大にして，わめいたところで決して過言の域には及ぶまい。

其んな意味で過去に於いて多かれ少なかれ役にたつて呉れたと思われる記録の写真を入れて見ました。

（カツト写真参照）

大洪水時の名川発電所堰堤
昭和27年7月17日8時頃
オリンパス，ズイコーF2.8
1/50秒，F4

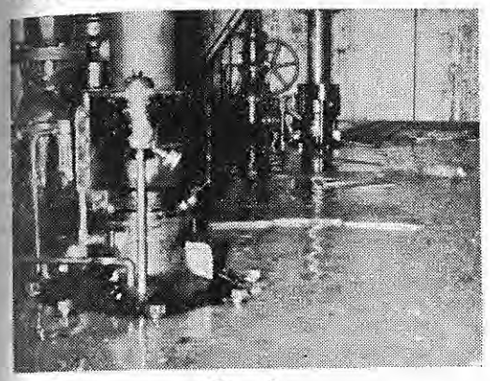


No. 1

撮影者名川発電所榎本主任

昭和15年来の大洪水と云われるだけに相当な濁流であつた。

所員一同怯え上つた事を覚えて居る。土砂吐門操作用の7.5PH電動機は一時濁流に浸つた事であつた。



No. 2

（No. 1） **名川発電所碍子型スイツチバンク事故**
昭和27年12月31日8時頃
バール，ヘキサーF4.5
1/10秒F4.5
撮影者　齋藤鉄雄

数秒間地鳴りのする様なアークが続いた。

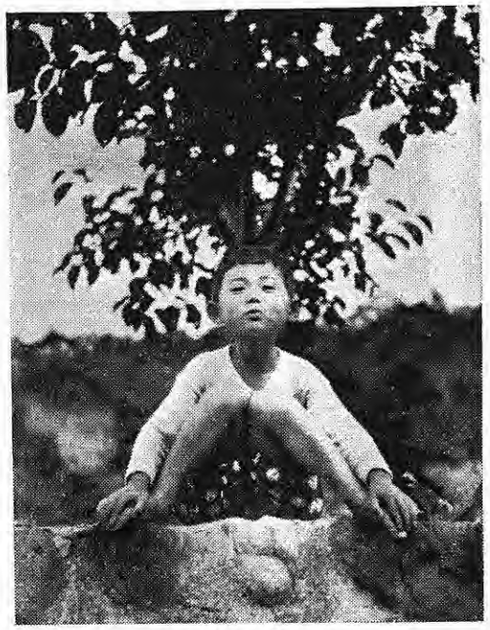
配電盤裏は，あたかも太陽の破片が落ちて来た様に悉く蒼白い火の玉で埋まつた。焼けただれた碍子，無慙にたれ下つたゴム線，アークの独特な臭いに硫黄とゴムのくすぶる臭いなどが妙に混乱して，目舞のする様な度ぎつい臭みであつた。

電力にも不足をきたす冬期の事とあつて即座に復旧作業が行われた。数時間の後には跡形もなく運転に這入つたが，其の無慙なありの儘を記録したものは其処に居あわせた数人の所員の目の玉と数枚の写真だけである。

（No. 2） **梵字川発電所水車室浸水**
昭和28年8月13日7時頃
バール，ヘキサーF4.5
1/25秒F5.6閃光電球一箇同調
撮影者　齋藤留造

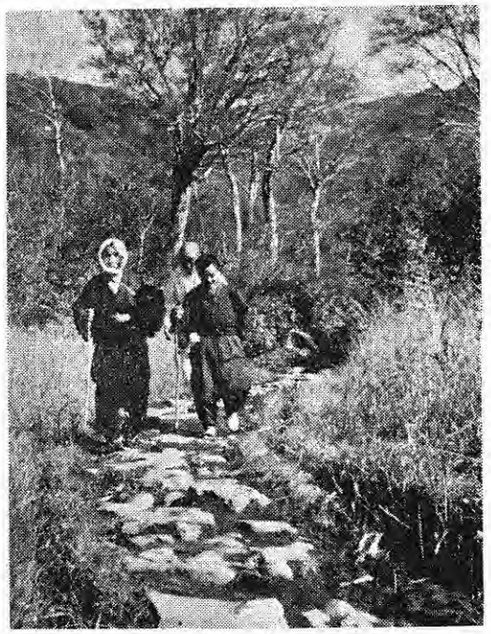
明方から嵩を上げた水量はぐんぐんと其の量を増して，ついに発電機運休の止むなきに至つた。浸水に対するあらゆるの対策を講じたが及ばず，7時頃の最高水位時には水車室約1米の浸水を余儀なくされた。

この写真は一筋の光もない水車室に於いて手さぐりで撮影した貴重な記録であります。



No. 3

「子供」 エルモレフ，ズイコーF3.5
1/100秒　F5.6 （アサヒカメラ二部佳作）



No. 4

「御山帰り」 エルモレフ，ズイコーF3.5
1/100秒　F8 （鶴営写真展出品入選）

事故報告と共にこんな写真を添附する事がどれ程事故の実態を物語つて呉れる事か知れない。ささいな事故の記録ではあるが，ささいであればそれ程に写真を添附する事が効果的な様にも思われるのである。

この様に自己の趣味を生きた社会にむすび付けて楽しむ事もあながち無駄な事でもあるまい。

写真は記録としての要素を持つと共に観賞としても大きな役割りを担つて居る。時折り著名の内外作家の作品を見る事もあるが，其のよさの万分の一も判らない儘に観賞の楽しみを味あう事が出来る。

これも自己の趣味が写真とあつての事だろう。自己の写真を印刷で見るときなども人知れない内面的な喜びを伴うものであります。

私は元来機械の趣味が発端とあつてかカメラ其のものを眺めるだけでも相当の時間を楽しむ事が出来る。精巧な其のおくゆきが一つの美術品としての価値をも備えて居るに違いない。

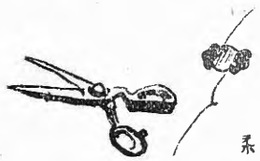
吸い寄せられる様にショウーウインドの前に佇ちどまつて高級なものを覗く度に其んな事を感じるのである。

だが，思い付いた様にたち去る時などは流石に寂寞の通つて来る事を意識する。下らぬ駄文となつて仕舞つたが最後に愚作の２点で紙面を濁らして，写真を趣味とする皆様方の作品をも拝見させては戴けないものかと思つて居ります。

写真芸術などと云うむずかしい事は判らないとしても自己の見た儘，そして感じた儘の写真を撮るために其の感覚を養いながら，時と共に薄れ行く心の足跡も，何時迄も追憶の飛石として，アルバムに残して行きたい。

（山形　梵字川発電所）—28.11.23—

今昔映畫物語（前篇）



千本健雄

序

さても四十路を過ぎし諸卿よ。この雑文を讀み給いて懐しき少年の日の思い出なんど繰り擴げ給え。さはれ未だ四十路に滿たざる諸彦よ。今は昔の活動大寫眞のあらましなんどにそゞろ想いを及ばせ給え。

1，原　始　篇

本朝渡来最初の映画は何であつたかは小生寡聞にして之れを知らないが，とにかく映画いや映画らしいものが初めて公開されたのは，明治の中頃即ち30年前後の事であつたらしい。当時洋行帰りのさる御仁があちらのフイルムの１端を持参した。１端それは正しく１端であつて全長驚く勿れ2,3間という代物が2,3本である。併しとにかく「動く写真」である事は間違いない。今迄の幻燈時代から一大躍進である。世界が変つたのである。正に興業価値満点である。併しこれを興行するに当つてさて困つた問題は映写時間の余りにも短かい事である。勿論当時の映写機は手廻しである。この手廻し機械は其後随分永く行われたもので，我々の耳には写真が映ると同時に起るあのガラガラと云う音が今でも耳に残つている。いくら手廻しであると云つてもさうゆつくりと廻すわけには参らない。2,3間位のフイルムはガラガラとやればもう終つて了う。「写りました。ガラガラガラガラ。ハイ終りました。」ではいくら当時の見物人でも承知しない。処が困つた時にはよく１人の智恵者が現われるものである。切れ端をそのまゝ正直に廻すからすぐ終りになつて了う。輪につなげば何時迄廻しても尽きないではないかという御託宣である。それでは何時迄廻しても切りがないぢやないかと今度は技師の方から文句が出た。技師というのはその映写機のハンドルを緩急よろしくガラガラと廻す職業をいう。昔電力会社の技術屋さんには色々と階級があつて工手，助手，技手補，技手，技師補，技師と13階段ではないが最初の階級から技師の位に迄昇るには仲々の努力であつたが，映画の方はガラガラが出来れば忽ち技師なのである。いや何５分間か10分間廻してよい加減の処で止めればそれでよいさとこのソクラテスは泰然たるものである。併し何しろ映画の数が少ないのであるからそれでも時間が余る。では１つ１つの映画の始まる前に一々誰か出て来て10分間か15分間位何かしやべればよいという事になつた。これ即ち弁士の濫觴である。それ弁士といつぱ，後世に於いては映画の伴奏の役をつとめてその映画の内容を１段と高める仕事となつたのであるが，出発点に於ては映画の紹介者，宣伝役であつたのである。客に新しいものを宣伝するにはその宣伝する物その物に重みをつけ

なければならない。と同時に宣伝する人その人も客に安つぽい感じを与えてはならない。そこで弁士諸君は皆鼻下に美髭を貯え，フロツクコートを１着に及んで荘重なる音楽につれてしんずしんずと舞台の中央に現われ，さておもむろに咳１咳「諸君！　御承知の如く写真とは元来動かないものである。幻燈がさうである。写し絵がさうである。処がどうだ。今日これから御覧に入れる写真は動く。風に吹かれる木の葉が動く。犬が走る。人が歩く。馬が笑う。いやこれはどうだかわからない。誠に奇妙奇手烈，摩伽不思義である。キリシタンバテレンの妖術か，松旭斎天一の手品か，いやいやなかなかそんなものではない。これぞ即ち動く写真である。名付けて活動大写真と称し，アメリカは電気大博士エヂソン氏の発明に係るものである。さてこれから映写致しまする写真の荒筋は……」

とやるのであるが，切れ端フイルムに荒筋も詳細もあつたものではない。唯時間をつなげばそれでよいのである。やがて弁士が引つ込んで場内が真暗になると正面のスクリンに初めは朦朧と，次第にやゝ明らかに写真が写り出す。スクリンと云つた処で現在我々が映画館で見るシルバースクリンではない。舞台の天井からぶら下つた大きな白木綿の下端に，動かないように太い竹竿が通してある。それでも舞台裏から風でも吹くとバタバタ動く。「風に吹かれる木の葉が動く」処ではなく，画面そのものが動いているのである。こゝにやゝ明らかにという形容を用いたのは，当時の映画は写真が悪いのか影写機が不完全なのか絶対に鮮明にはならないのである。

「画面の左上方に当りましてやゝ薄黒く見られまするものは，これぞ即ち203高地であります」

と云わなければ見物人はうつかり見落して了うのであるから，皆さんは当時の映画に説明者が絶対必要であつた理由をはつきりと認識せられるのであろう。さてそのスクリンの右手からイタリアの竜騎兵が5,6騎勇ましく現われて来て，正面の水溜りに馬を乗り入れさつと水煙りを立てゝ左の隅に消えて行く。と又右手からイタリアの竜騎兵が5,6騎現われて正面の水溜りに飛び込む。サツと水煙りを立てゝ左の隅に消えて行く。と又右手からイタリアの竜騎兵が5,6騎……。写真はかくして何時果つべしとも思われない。それも道理，輪になつたフイルムをぐるぐると賤のおだまき繰り返しているのだから……。併し当時初めて活動大写真なるものを見た我々の父祖はそんな手品には気が付かない。

「流石は文明国イタリアだ。出て来るどの兵隊さんも皆同じ姿勢で馬に乗り同じ角度で水に飛び込む。実によく訓練されたものだ。」

と「嘆賞措く能わざりし」というから誠によくしたものである。

2，古　代　篇

切れ端フイルムのグルグル廻しでは第１回興行は良いが次回から通用しなくなる。最初は唯珍らしいというので見物人が飛び付いた。次回からはその物自体が面白くなければ見物人は来ない。30年前のトーキー初期，現在の立体映画皆同じわけである。最初に来た完全なフイルムは実写と喜劇である。完全なと云つてもせいぜい10分前後であり4,5本並べても１時間がやつとである。１晩の興業を打つにはどうしても3,4時間はつながなければ当時の見物人からは木戸銭が高いと文句が来る。そこで弁士は１本の映画の前に10分か15分位は必ずしやべる。これを前説と称する。映画の前にするから前説明即ち前説である。これに対して映画につれて即ち映画の進行中に映画を見ながら説明するのを中説という。流石に後説というのはなかつた。従つて弁士たるもの仇や疎かには舞台に出られない。舞台の袖から中央迄出て来る歩き振り，中央に来てお客の方を向いて一礼するその格好，話の切り出し工合，服装，皆悉く弁士諸君の苦心の的ならざるはない。どうせ写真は大したものではない。いくら中説で力演しようと思つても写真自体が之に価しないものであるから力演の重点をどうしてもこの前説に置かざるを得ない。当時の見物人は子供が多い。芝居は大人の見るもの，活動は子供の見るものと大体相場がきまつていた。活動を見たい大人は自分一人ではテレ臭くて入れないから子供を連れてその附添い見たいな格好で見に行く。従つて場内の大半は子供である。ガヤガヤのワイワイ，キヤアキヤアのギヤアギヤアである。幼稚園の運動場の柄を悪くした見たいのである。この騒然たる場内を先ず静めなければならないのであるから弁士たるもの下らぬ格好で出て来ては馬鹿にされて益々場内は八釜しくなる。そこで弁士に２つの型を生じた。威圧型に媚態型である。前者はフロツクコートに美髭，悠然と舞台に現われて軽く一礼する。成るべく堂々たる体格，赤黒い顔の持主が良い。見物の子供等一当時これを砂利と称した。細かいという意味であろう。——は校長先生のお話でも聞く感じになつて静かになる。後者は柔かものの着物，羽織，あんどん袴といういで立ちでシヤナリシヤナリと舞台に現われて気

取つた格好で一礼する。背の低い体格の貧弱な人間はこの型で行く。これは又これで舞台効果があつたものである。さてその前説の内容であるが何しろ映画そのものが実写や喜劇の短篇なのであるから2分か3分しやべれば説明する材料は尽きて了う。仕方がないから落語の枕見たいに世間話や社会事象，時事トピツクスなどに低俗なものではあるが弁士自身の社会観人生観といつた様なものを織りまぜて時間をつなぐのであり，人に依つては仲々面白く聞かせたものである。さて肝心の写真であるが，日本映画はまだ後世の新派大悲劇が現われる以前の事とて殆んど存在しない。たまにあるのは実写で大磯海岸は海水浴の光景とか青山練兵場は観兵式の実況と云つた様なものである。舶来ものはイタリアがトツプでフランス，イギリス，ロシアと之れに次ぎ米映画は一つもない。イタリアのアンプロジオ，チネス，最初に先ず鶏の絵が出て来るフランスのM．パテー，イギリスのゴーモンなど記憶に残る製作会社である。当時の舶来映画の特長を大別すると西洋忍術物と追つ駈け物との2つになる。前者は画面の人間があゝら不思議や忽然と失くなつたと思つたら彼方の屋根に現われたり，手に持つた帽子が空中を飛んで向うから歩いて来た人の頭に乗つかつたりと云つた様な映画の特長を活かした奇術的のものである。後者は一人のいたずら子が現われて何か悪い事をして逃げ出す。之れを大人が追いかける。段々追いかける人数が増して来る。途中で前の一人がころぶ，その上に折り重なつて皆ころんで了う。小僧がつかまりさうになると横町から馬車が出て来て通せんぼうをされると云つた実に単純なもので，唯ワイワイと大勢の人々が走り廻るという処を見せるもので，大低の喜劇は最後に必ずこの追つかけ風景が出て来るのである。当時の喜劇の代表的なものとして既に初老の域に達している読者の方はイギリス映画の「新馬鹿大将」「薄馬鹿大将」の存在を記憶して居られる事と思う。この2人の大将は後世のチヤツプリンにも比肩し得る人気を当時のフアンに博していたのである。初期映画のこの忍術精神と追つかけ精神とは其後脈々として数十年を経た今日迄も続いている。即ち映画に於ける幻想とスピードである。上記の単純にして素朴極まる忍術と追つかけとが一つの映画に結合して一つの筋らしいものが具わつたのが，有名な当時としては正に劃期的な大映画「ジゴマ」である。この「ジゴマ」というフランスの大泥棒は巧みなる変装術と神出鬼没の行動とを以て，フランス上流社会を荒し廻つた。これに対して敢然戦いをいどんで立つたのがかのニツクカーター大探偵である。

「天網恢々疎にして洩らさず，悪盛んなれば天に勝ち天定つて人に勝つ，こゝに大悪漢ジゴマも遂に正義の刃に服せざるを得なかつたのであります」と弁士は一段と声を張り上げる。これが物凄くうけた。街の子供達は「ジゴマごつこ」という遊戯をやり始めた。社会教育上ゆゝしき大問題であるというので，この映画は遂に上映禁止の運命となつた。という随分物凄い映画らしいが，今から見れば甚だ単純な15分か20分の上映時間しかないもので決して問題となる様なものではない。今のギヤング映画から見ればまるで子供だましの映画であつた。何事も時代なる哉である。明治の末になつて実写以外の日本物が少し出て来た。桜井中佐原作「肉弾」徳富蘆花原作「やどり木」といつた当時のベストセラー物の短篇映画化，又伊藤公が満洲で暗殺された直後であつたので「幼少時代の伊藤公」といつたものも出た。併し何れも芝居の舞台を写真に撮つたといつた様なもので，勿論女優なぞは居らず女性の役はごつごつした女型が相つとめ，場面転換もごく少なく何時迄も同じ場面がつゞいて居り又登場人物も動きも甚だ緩慢な退屈なもので，到底西洋物の敵ではなかつた。

（資材部次長）



会津鶴が城のお壕と石垣は何百年の歴史を秘めている。朱塗の橋の上から見るとお壕の水は露ほども動かず，さしかわす松の影をはつきりとその面に映す。苔むした石垣は風雨に曝された巨大な石の面に葛をはいまわらせて，その古さびた有様は荒城の詩的な想像を呼び起す。ていていと立つ大きな松，いわゆる千代の松が枝は，折から初冬の風を受けて物さびた松籟の音を聞かせる。「荒城の月」を生んだのはこの鶴が城なりとする説と，仙台青葉城なりとする説とあり，お国自慢の果てしない争いが続いているが，作詩者にとつてもどつちともきめかねる問題かも知れぬ。詩人が遊んだ数々の古城の印象が重なり合つて，あの名曲を生んだのであろう。私も仙台生れで，私の御先祖は伊達家に縁のあつた者のようであるから，ならば青葉城にしたいところであるが，青葉城にはこの鶴が城のような千代の松が枝がないのである。青葉城も勿論松が無いわけではない。たくさんあるが，他の木と入り混つて印象が薄くなつている。鶴ケ城の方は松の木が際立つて美しく，それに桜の古木が見事に立ち並んで，花と松とが印象的である。「花の外には松ばかり」である。

さて私は鶴が城を訪れ，この荒城の物さびた姿に少なからず低徊を禁ずる能わず，古さびた石垣の間を通り抜けて城内に入つてみれば，なんとそこには青ペンキ塗りの安つぽい建物があり，競輪場がある。これこそ文字通りの幻滅というやつである。城跡の土地を遊ばせておくのは勿体ないというのかも知れないし，又他に適当な場所がないというのかもしれないが，然し何もよりによつて競輪場を持つて来なくてもイイジヤないか。「千代の松が枝分け出でし昔の光今いづこ」というような，まことにロマンチツクな幻のたゞよう鶴が城に，脂じみた札束の舞う，現代の風俗の中でもつとも浅ましい感じのする競輪場を作つて，その殺風景な喧騒をもつて颯々たる松風の声を打ち消さずともよいではないか。

遠くこの城の由来を按じて見るならば，至徳元年（西暦1384）芦名盛之が初めてこの地に黒川城を築いて会津盆地一帯を領有する根拠としたのがそもそもの初まりである。天正17年(1589)米沢の伊達政宗がこれを攻略して芦名氏を亡ぼし城主となつた。然るに時あたかも天下は豊臣秀吉の平定するところとなり，政宗は小田原攻めの陣中に秀吉の前に伺候し会津を手離さしめられ，代つて蒲生氏郷の領有するところとなつた。

この氏郷が会津領へ入るについては挿話がある。秀吉は政宗から会津を取り上げ，会津は伊達政宗という油断ならぬ人物を北に抑え，且つその奥の方の未だ完全に平定しない地方を抑える要衝の地である。これを領有するにはよほどの人物ならでは出来ないという理由から，重臣を集めて誰を配すべきかを入札せしめた。然るにその札を開封してみると細川忠興というのが最も多かつた。秀吉笑つて，「おれが天下をとる筈だわ。こゝは蒲生でなくてはならぬところだ」と言つたという。つまり自分の眼識が人にすぐれていることを自慢したのである。

こうして蒲生氏郷は会津に入つたわけである。政宗は折角取つた会津をあつさり取り上げられ，秀吉の信任あつい氏郷に座り込まれ，何ほどか口惜しかつたことであろうか。葛西大崎の乱というのを起して氏郷をいじめたりしたし，又刺客を送つて氏郷を殺そうともしたようである。文祿4年（1595）氏郷歿して嗣秀行が継いだが，家人に内訌があつて宇都宮に移され，代つて上杉景勝が越後より来て領有した。間もなく秀吉没し，家康の天下となつたが，景勝は容易に家康の命に従わなかつた。そこで家康は会津征伐に乗り出したのであるが，これはその際に石田三成をして兵を挙げしめ，待つてましたとばかりこれに乗じて三成を頭とする反対派を亡ぼし天下を手中に収めんとした家康の苦肉の策であつた。三成はこの策に乗つて関が原に兵を挙げて破れ，景勝もやむなく家康に降つて米沢へ追われた。次に来たのが蒲生秀行で，家康の女婿であつたが子の忠郷に嗣子がなく，間もなく蒲生家は断絶した。かくて寛永4年（1627）加藤嘉明が伊予松山より来つて領有したが，子の明成の代に家臣堀主水と争つて之れも会津より去り，次いで来たのが明君保科正之である。正之は三代将軍家光の弟で山形の領主であつた。領内の殖産興業に努め，現在の会津の裕福さは彼に負うところが多いとされている。以後子孫相ついで9世松平容保（かたもり）の代となり，文久3年(1863)望まれて京都守護職となり，幕末の風雲急なる京洛の治安に任じ，孝明天皇の信任篤かつたが，薩長と張り合い鳥羽伏見の戦に敗れて国に帰つたが，薩長は幼帝を擁して野心を遂げんとするもので，その勢力を朝廷から除かねば真の王政復古とならぬとした。これは理由のないことではなく，薩摩の島津久光は廃藩置県の時，大いに之れを意外として不満の意をもらしたといわれている。然し錦旗を擁する薩長と相対したので朝敵となり奥羽追討軍と一戦を交えることとなつた。仙台，米沢北越諸藩と結び奥羽越30余藩の大同盟となつて，こゝにいわゆる戊辰戦役となつたわけである。同盟各藩は相ついで官軍に降り，官軍は大挙この鶴が城を囲み，白虎隊は自刃し，容保は籠城1月に及んだが，各地の救援も絶たれ遂に屈して降参した。時に明治元年（1868）9月22日であつた。

鶴が城の石垣の上に立つて，頭上に鳴る松風の音を聞けば，これら治乱興亡の歴史を織りなした武将のお

もかげがよみがえる。然るにその夢のあとも，あのけたゝましいジヤンの音と車券を握りしめた人々の昂奮と遊上の叫び声に埋めつくされる有様となり果てた。あゝ世も末である。

ところが考えてみるとこの鶴ケ城に入つた武将たちは殆んどが会津の人民たちとはあまり縁のない人々であつた。伊達政宗，蒲生氏郷，上杉景勝，加藤嘉明，保科正之，これらの封建時代の転封者は，秀吉や家康によつて出し入れされたものである。別に会津の人々が望んで来て貰つたわけではない。勝手にやつて来て，いゝ加減に税をとり，城を築いたり壕を掘つたり，戦争が起ると人民を徴発して兵隊にしたり，糧食を取り立てたり，百姓町人にとつてはいずれにしてもあまり結構なことはなかつた。まことに封建時代の人民というものはみじめなものであつた。支配階級が勝手に行ういわゆる「御政治向」には口を出すことは出来ないで，結局一番ひどい目に会うのである。

保科正之という殿様は名君とされている。この人は人民の福祉に意を用いて色々の施策を行つた。開墾をすゝめたり，ウルシの樹を普及したり，常平法という米価維持の法律を作つて暴落暴騰を防いだり，又娼妓を禁じて奴隷解放を行つたり，年季奉公の制を改めて一種の雇傭契約制としたり，裁判の公平を期したり，その他の事に於いて名君の名に恥じない人であつた。然しこれらの社会政策というものは今日の我々の政治的な意識から言うと実に普通のことであり，政治家というものはそのためにあるべきものだと思つている。我々には一生かゝつても読み切れそうにもないあの六法全書には，これ以上の良い法律が充満しているという話である。それでも保科氏は稀代の名君とされている。まことに封建時代というものはよくよく不幸な時代であつたといつてもよいのではなかろうか。

その封建時代の象徴であるところの鶴が城に競輪場を作つて，そのアガリが社会施策に使われるとすれば，盤梯山南麓見称山に眠る保科氏も以つて冥すべしである。それがたとえ大衆の射倖心をあおつて，春高楼の春の宴の幻を，ヂヤンヂヤンの音と叫喚で打ち消そうとも，これはむしろ昔の民百姓の霊にとつてそれほど不快なことでもなかろう。というロジツクによつて，私は会津競輪場を眺め，そこで熱心に稽古している選手達を祝福して鶴が城を立去る。

若松附近も名所の多いところだが，誰でも知つている飯盛山は中でも尤なるものである。言うまでもなく白虎隊自刃の地である。もつとも此頃の小学校では白虎隊のことなど教えているのかどうか知らない。それで近頃は東山温泉あたりの芸者衆が，白鉢巻に稽古袴の勇ましい姿で戦雲暗くウと踊つて観光客相手の宣伝をやつているのかも知れぬ。

若松市の東北約1キロ，松林の茂つた小丘，名の如く飯を盛つた形をしたのがそれである。立派な石段を登ると，左手に線香や土産物を売る店がある。線香を買うとお婆さんが案内してくれる。石段を上つたところがちよつとした広場で，これに続いて左手の方に白虎隊士の墓が並んでいる。線香を供えて一礼してからお婆さんが戊辰の役の経過から白虎隊の戦死，生き残つた20人の者がこゝまで来て見ると，こはいかに，南鶴が城を望めば炎が上る，我事終ると腹を切るところまで説明してくれる。再びもとの広場へ来ると右手の陽にはムツソリーニから贈られたという記念塔がある。古代ローマの円柱の頂きにブロンズの鷲が乗つたものだが，台座の碑文は削り取られている。その手前には雪崗岩の碑があつて，これはヒトラーユーゲントから寄進になつたものだという。これも中央の鉄十字だけ残して碑文は削られている。これは数年前進駐軍の命によつて為されたものだという。

お婆さんの話によると，当時米軍の将校がこゝへ来てこれ等ファシストの遺物を破棄せよと言つたのだそうである。然しこれらは日本の敗戦とは関係なく，国境をこえての好意のしるしであるからその必要はない，とお婆さんも頑張つてなかなかきかない。再三の交渉の末とうとう職人が来て碑文を削りとつてしまつた。ところへ又軍人が来て取捨てを命じたので，その碑を草むらの中に隠しておいた。最近になつてこれをとり出して又このところへ据えたという話である。

きいてみると，この飯盛山は私有地で，この婆さんは地主だそうである。だからそういう風に頑張れたのかも知れないが，当時至上命令とも言うべき，いわゆる進駐軍の命に依り，というのに対して一向にひるまなかつたこのお婆さん——白虎婆さんといわれているそうだが——の意気は壮である。これがいわゆる会津魂というものかも知れない。

嘗て蒲生氏郷は葛西大崎の乱の時，秀吉からその保護を頼まれた木村秀俊が孤立しているのを援ける為，師走の寒気をついて敵地伊達政宗の領地へ乗り込んだ。又上杉景勝は徳川家康の威圧に屈せず，豊臣家五大老の一人として石田三成に応じた。降つては松平容保である。幕末の尊王攘夷論と通商開国論とが衝突して渦を巻いている京洛の地へ，京都守護職を命ぜられるや家老達の諫むるもきかず赴任した。当時薩長の勢いに対抗するのはまことに不利であることは明らかであつたにも拘らず敢然として任についた意気は壮である。だから斜陽の悲哀をかこつていた徳川方にとつては会津藩はその一番のホープであつた。その配下には隊長近藤勇の率いる新撰組があり，敵に対しては面もふらずに斬り込む新撰組の猛者連を縦横に駆使して京都の治安を守つた。江戸ツ子にとつて容保は正に英雄だつたといえよう。

今，朝日新聞に連載中の大仏次郎作「その人」には，幕末の徳川方の武士と江戸の町民との不安の姿がよく描かれているが，主人公の若い侍をして「会津勢は強い。よくまとまつているし，強いことでは全国一だろう。」と言わせている。その会津勢が戊辰の役であえなく敗れた所以は，官軍の装備の優秀なこともあつたろうが，又錦旗に刃向うという心理的な劣等感のせいもあつたと思われる。けれども実力に於ては全国一であつたことは，小説の中の若い侍の言うことだからと言つて，まんざら嘘ではない。「明治編年史」という史料にこんな記事がある。「下谷坂本へんにて幼き子の遊び居たるところへ一人の武士通りかゝりしが，この人肩に官軍の合印を附たるを見て，彼の子は武士の傍へ往き，おぢさん官軍かエ，錦ぎれを附けておいでだからト云と，いかにもおれは官軍なりと答えれば，彼の子が，おぢさん官軍なら坊は会津だから坊におしたがひといふ。武士は笑ひながら，如何にも小僧が会津なら従ふべし，小僧の家はいづくぞ，往きてもよろしきやと問ふに，坊のうちはぢき其処なりと，先に立ちて案内するゆえ，彼の武士は幼な子の家にいたり，それがし今このところを往きかゝりしに，是なる小僧それがしに対ひ，我は会津なり官軍ならば従がへといひたり，此の小僧は何蔵になるぞという。家内のもの大いにおどろき，七才になるよしをこたふれば，彼の武士亭主を叱りていふ，汝等もののわきまへも知らず，常に官軍をそしり会津を誉むるのことばを傍ら聞きして，この小僧までが，然いふものと覚えたり，今三ツ四ツも年とりたらば其分には捨おきがたけれど，いかにもがんぜなきもの故ゆるし得さする也，天朝の御趣意もわきまへず，みだりに物の誹謗などいたすと以後はけつして赦さぬぞと，腰の刀をゆらめかし，彼のさむらひは出で征くに，家内のものは顔見あはせ，青き溜息つきたりとて隣家の老父はものがたれり。」（慶応4年4月，此花新書2）この此花新書というのは横浜で発行されていた新聞であるが，当時江戸は会津兵が引上げ，有栖川宮を総督とする官軍によつて占領されて居つた頃で，江戸の市民のはかないレジスタンスがこんなところに出て来て，会津兵をなつかしんでいたのであろうと思われる。

戊辰の役は詳述している暇はないが，精鋭を以つて守つた白河口が官軍のため破られ，敗れて退いた家老西郷頼母が到底官軍の洋式装備に抗し難い旨を説いたがきかず，更に天嶮をたのんだ母成峠，猪苗代，戸ノ口十六橋，滝沢峠の4段構えも怒濤の如き官軍のために突破されてなお屈せず，市街戦となつて藩士は殆んど戦死し，老人も少年も倒れ，婦女子も自殺し，籠城数十日になつてもまだ参らなかつた松平容保という人物，まことに天晴れな不屈の人である。一言にして言えば純情生一本の人であつたが，時勢に便乗するなどゝいう気の利いたことが出来ないので，その信ずるところに殉じたものである。まことに時勢というものは抗し難いものであつて，歴史の歯車の動きを敏感に察知して身を処することをしなかつたために，朝敵の汚名を受け，降服後の辞令によると「昨冬徳川慶喜政権返上之後，暴論を張り，姦謀を運らし，兵を挙げて闕下に迫る，事敗れ遁走す，慶喜恭順するに及び更に悔悟せず，居城に拠り兇賊の称首と為り，飽くまで王師に抗衡し，天下を擾乱す，其罪神人共に怒る所，屹度厳刑に処せらるべき所，至仁非常の宸断を以て死一等を減じ，池田中将に永預け仰せ付けられ候事」とある。英雄の末路哀れなり，というわけだが，信ずるところに最後まで従つたその意志には敬意を表すべきであろう。

こういう精神を叛骨というのであろうが，今こゝに飯盛山の茶店の婆さんの意気にその流れを見るのは愉快である。

まことに会津は好風の地である。英雄や偉人，松平肥後守容保や野口英世等の輩出するのも故あるわけだが，嘗つて会津藩が江戸ツ子のホープであつたように，今会津は電源地帯として東京の活動を，猪苗代湖や只見川の電力によつてバツクアツプしているのは，決して偶然ではないような気がする。飯盛山の松林ごしに眺めると，折から初冬の夕暮の靄は薄青く若松の屋根々々を隠して，その向うにははるかに肥沃な会津平野がひらけ，眼路の限りに羽越国境の飯豊連峰が白い美しい稜線を連ねているのである。（本店総務課）

× × ×

短歌

扇畑忠雄選

従妹　本店　長谷部　高

二日のちに修道院に入る従妹わが室に勤より帰るわれを待つ

患者たちが贈りし聖画手にもちて渋民村の野を帰り来ぬ

紙の鍵板（キィ）たどり覚えしバイエル二十六番わが家にゐて汝が弾きつづく

妥協なき性格にて職場移りしが修道女になるをけふ告げて去る

診療所に住み働きしいつの日より汝の希ひの神にのみ拠る

海の風　秋田支店　田代儀輝

海に吹く風光り澄み浜草のゆるる砂丘を汀に歩む

黒松のはてし草生に野ぶどうのからみて枯れし砂丘も越ゆる

夕ぐるるまで汀歩みてつかれたりバス待つあひだ草生に坐る

微塵なき光に立ちてカンナ燃ゆたかぶりたりし愛情の如く

長い貨車　山郷G　薄　小枝子

暗い重い鎖ひしめき合ふに似て貨車長々と夜半の震動

道暗み微風にゆれてる水溜り此処に瀕死の夕あかりあり

せわしげに匂ひ嗅ぐ犬荒々と呼吸してゐる肋（あばら）の動き

針葉樹の林ぬけ出て草深い堤に出しとき放心の数瞬間

暖冬　本店　境野　恭

クリスマス近づきて混みあふデパートの二階に絵画展覧会あり

夕靄の立ちこめて来る街角を警笛高く自動車過ぎつ

この冬の暖かきこと言ひあひて吾らよろこぶ給料生活者

雪道　本店　高田　修

線路沿ひに防雪柵の張られゐて切れ目毎に見ゆ雪の岩手山・

ほうれん草の大包み背負ひし女らと雪を避けつつ下り汽車待つ

炭負ひて雪道に車避けし娘ら頬赤くして生々と見ゆ

冬の宿　本店　佐藤　昭八

色あせし佛語文法書にはさまれて乾ける髪よ窓吹雪（ふぶ）きつづ

明日ひと日あたたかくあれサナトリウムの友伴なひてレコード聴く日

残業しておそくかへりし寮の疊に朝脱ぎすてしままの靴下

冬の靄　本店　河野　広治

冬の靄深くこめたる川原に人うごめきぬ護岸工事場

霜柱融けて崩るる校庭に春きざし来ぬ草萠えのいろ

老いて病む母に送らむ妻の手紙単筒の隅に秘めたるを見る

入道崎　秋田支店　太田　瀬徳

いつもいつも遠く見てゐし男鹿半島の入道崎のきり岸に立つ

真冬には漁なく出稼ぎするといふくらき表情に語る老漁師

「シンパイナイ」と愛敬まきつつ黒人兵処女達より双眼鏡を借りる

木枯　盛岡営業所　北村　正蔵

真昼時街のどよみのしづまれば木枯に似て電車行くらし

薪出の枯野の道に橇とめてざら雪食みぬ息あへぎつつ

疲れ来て憩ひし丘に吾が家より夕餉の煙立ちのぼる見ゆ

三陸フイヨルド　岩支及　川楽　雲

大津浪の記念碑仰ぐ悲しけれかく美しき海岸にして

遙かなる鮹の浜にて潮噴けり五六度噴きてあとの続かず

くれなゐの朝日は海を離れつつ金色となり銀色となる

聖夜　岩支　加藤　三国一

出羽に生れ岩手に住みてはや三年凶作の餅頬ばりて食ふ

児は眠りラジオは「聖夜」歌ひをり妻と分けあふこのクリスマス

楢の林　中央給電指令所　斎藤　久治郎

陽だまりの楢の林にこつこつと「木こま」作りて子供ら居りぬ

冬枯の楢の林に火を焚きて樵夫と語れば夕陽射し来ぬ

選評

扇畑忠雄

従妹　長谷部高

この一連は物語的に発想されている。職場を移り、診療所ではたらいていた従妹が修道院に入ろうと決意して、作者の家を訪ねて来たところである。一首々々の表現については、窮屈ですつきりしない点もあるが、こういう素材をとりあげて感傷に堕していないのは認めなければならない。この従妹に対する作者の感想は、こゝに採らなかつたけれども「安易な逃避ではないとおもふさへすでに吾とを隔てつるもの」の一首に聞くことができよう。

海の風　田代儀輝

いずれの作も印象的な情景だ。砂丘を歩いてゆくとき目にふれた風物がこまかく描かれている。ただ言葉のつかい方が小きざみでくどい所がある。たとえば一首目の「海に吹く風光り澄み」「砂丘を汀に歩む」、二首目の「からみて枯れし砂丘も越ゆる」などである。こういう所を、もつと単純にすつきりとやれば、一そう情感を流露させるであろう。四首目の上句はいゝが、下句はまだひとりよがりの主観のようである。

長い貨車　薄　小枝子

暗い重い鎖ひしめき合ふに似て貨車長々と夜半の震動

貨車の長い震動を「暗い重い鎖ひしめき合ふに似て」と表現したのはおもしろいが、批評をきびしくすればやはり常識的であろうか。どの歌もこだわりのない発想から出ているが、「瀕死の夕あかり」などという句は、どうかすると「きざ」に聞えるだろう。

暖冬　境野　恭

作者は、対象追求という点において、慾がなさすぎると思われるくらい淡白に詠つている。一首目「絵画展覧会あり」、二首目「警笛高く自動車過ぎつ」だけでは、ひつかゝりがなくて物足りない。三首目は、発想平凡ながら、サラリーマンの生活感情が流露している。

線路沿ひに防雪柵の張られゐて切れ目毎に見ゆ雪の岩手山　高田修

残業しておそくかへりし寮の疊に朝脱ぎすてしまゝの靴下　佐藤昭八

冬の靄　深くこめたる川原に人うごめきぬ護岸工事場　河野広治

いつもいつも遠く見てゐし男鹿半島の入道崎のきり岸に立つ　太田瀬徳

薪出の枯野の道に橇とめてざら雪食みぬ息あへぎつゝ　北村正蔵

遙かなる鮹の浜にて潮噴けり五六度噴きてあとの続かず　及川楽雲

児は眠りラジオは「聖夜」歌ひをり妻と分けあふこのクリスマス　加藤三国一

陽だまりの楢の林にこつこつと「木こま」作りて子供ら居りぬ　斎藤久治郎

晩酌に二合の酒を汲むだけの三ケ日なりき人一人来ず　千葉二千石

薄霞む鳥羽の浦曲は明けそめて白鷺群るゝ磯の松原　伊藤太郎

以上、一首ずつ抄した。皆さんの健詠をお祈りする。

手送りの紙束投ぐる事務始
下駄材の屋根に崩れて松の内
冬曝や並んで川を覗いて居る
　郡山営　安斎留治

しぐれつゝ鶏舎にあはき入日かな
頁繰る手をとめ時雨きゝゐたり
時雨るゝや炬燵に赤き林檎喰む
　郡山営　久保乙秋

次女みどり生後一年六ケ月
赤き靴子もよろこべり地に落葉
雪虫や吾子もつどひのひとりにて
胼の手の子よ袂れ来しわが胸に
　福支　佐久間外村

稲架添ひの道となりきてあたたかき
今日張りし障子に月のあをきかな
臥の人を見舞ひしづかに炉に戻る
　福支　古関玲児

燠取りにきし娘の交り炉辺たのし
楢すこしづつ崩れをり炉火燃ゆる
楢ぼこりしたたかかむり置時計
　原町営　杉本文彦

月に濡れ紫苑の伸びのとゞまれり
芋名月木魚の由来僧かたる
さわ〳〵と凶作の月澄みにけり
　会津電　竹内まんぢ

障子貼り白き明りに調度換う
冬陽射す広間のピンポン音弾ずむ
国訛りふと出る妻のちやんちやんこ
　会津電　村田溪水

元旦に想う
清浄の門をひらけば初日さす
玻璃戸越し雪なき元朝の服を著る
初暦ネツカチーフの傍にかく

遅れ来し詫びの会釈や初句会
初句会始るまでのにぎやかに
俳諧を学ぶよろこび初句会
　柏崎営　柴野村童

額髪雪のせしまゝ店に入る
日暦をめくり忘れて寒ぬくし
海風に晒され初日拝みけり
　柏崎営　白井昭三郎

かたくなに雪のむ海を見つめゐぬ
雪となる気配書斉の灯を消しぬ
別れいう友の眉毛に雪白く
　柏崎営　今井史文

初雪や浚雪船の音絶えて
唐詩撰のみ購ひて年暮るる
三人の子に夫々のマスクかな
　柏崎営　宮山直樹

海鳴りを背に焚火を育てけり
冬構はだかり立てり海没日
クリスマス隣は既に灯を消しぬ
　柏崎営　村山春灯

吹雪きつゝいつかつきをり岬の灯
咳けばすぐにひゞきぬ夜の障子
いつも佐渡見える部屋なり切り炬燵
　柏崎営　吉田一江

雪まろげ余念なき子に日あまねし
初明り神宮へ行く髪結い終る
　柏崎営　小関政英

吹雪きつゝいつかつきをり岬の灯
咳けばすぐにひゞきぬ夜の障子
いつも佐渡見える部屋なり切り炬燵
　柏崎営　吉田一江

雪まろげ余念なき子に日あまねし
初明り神宮へ行く髪結い終る
　柏崎営　小関政英

吹き晴れて煙突高し初み空
　柏崎営　中村鯛三

羽子を突く玻璃に西日のある限り
汐風のあらきにそむき羽子を突く
サービスを諭す所長や事務始め
　小出営　山本テル

白菜が積まれ小さき厨事
柿食うてから夕げの支度かな
母死して早や一年や障子張る
　高田営　比護翠池

米寿を祝して
新春や米寿の母の健にして
人恋ふる米寿の母の松の内
米寿とて僧をも招き炉辺の母
　佐渡営　鎌田嶋城

宣伝カー音消して行く大枯野
尼も交る梵鐘供養時雨寺
窓の灯に物編む影や枯れへチマ
　佐渡金沢変　菊地大二郎

牛長く啼き交ふ牧の秋深む
絶え間なく鳴子鳴る日を臥してをり人
検針に無愛想なるいろり人
　岩支　藤谷柔川

どの人も母には親し年賀客
お雑煮の仕度を子等と待つて居り
　岩支　中沢きよし

初詣一男二女の父として
落葉焚き語らう事もなき姉妹
　秋支　広川胡頽子

踊り子の足袋の裏まで汚れなき
夜汽車去り再び雪は秩序保つ
人をのみ汽車寒風を支へけり
母へ急ぐ媚婦に落葉飛びにけり

白菊の夜寒に耐えし白さかな
かぎりなき稲田明けゆく竈戸焚く
　郡山営　大河内五朗

たそがるゝ山を背負ひて焚火かな
小豆干す莚そのまゝ時雨さる
　郡山営　遠藤仰雨

茨の実がこぼれ落ちけり夕時雨
土くれと縄ぬれてゐる時雨かな
　会津電　玉川光子

嫁ぎ行く日の近づきぬ虫の闇
冬ざれや嶮岩澱みに迫りたる
　会津電　玉木耕子

霙降る囚人看守同じ靴
冬木立大寺の屋根ゆるやかに
　会津電　西岡孝

戯れる猫を邪けんに毛糸編む
赤ゲツト飯場通ひの娘ら帰る
　会津電　渡部赤蜻蛉

妻病みて凍てつく宵や米をとぐ
老いし父昔の賀状をしみ〴〵と

目についたまゝ　遠藤梧逸

謡初め一人といへど膝を正し
　及川　有哉

これも亦日本人の心意気である。この心構をいたづらに反動視するは当らない。

二三本燐寸とりこぼす初竈
　国安　姫山

ただごとのやうで、しかも一通何となく清新の感にうたれる。

角巻のひとり〳〵の野みちかな
　伊具利かたし

人生は所詮孤独である。と作者は思つてゐる。

飴玉に頬ふくらまし藁仕事
　佐藤　棘矢

その胡麻塩頭に日焼顔などを思ひ出でゝ、ほゝえましい。もう五十をすぎた老農夫。

どびろくや崩雪の話熊の話
　長倉　義光

発電所工事でも始まろうといふ峡の古家、根橇がとろ〳〵と燃えてゐる。

「かたくな」という表現も、もう古いとのみ言ひすてがたい。雪は無限に降り、海は無限にのむ。

年惜しむストーブの上パン焦がし
　植木睦子

御用納めの日の昼餉でもあろうか。清新でもあり、あはれでもある。

僧籍にありて教師や親鸞忌
　郡山営　野口栄太郎

勿論肉食妻帯である。教組の闘士でもあろう。

枕辺にぬくもり残る足袋重ね
ぎごちなき和服姿に御霙かな
　佐渡営　佐藤鉄歩

電柱の亀裂に喰い入る吹雪かな
川越しの電線に雪渦巻ける
　柏崎営　伊藤睦夫

犬が仔とあそぶ陽だまり冬ぬくし
恋してはならじ根雪とならぬ日々
　柏崎営　町田芳栄

冬ぬくし残り大根軒に吊り
霙ふるやせき込む妻の処方箋
　柏崎営　塩浦登志夫

佐渡見ゆる丘にあがれば初凪す
乞はるまゝ馬の絵を画く筆始め
　小出営　関よし

唯一つ町のネオンや夜半の冬
小さき鍋押上げられてほだ火燃え
　佐渡金沢変　土屋丸児

僧籍にありて教師や親鸞忌
金剛の嶮をそびらに鰤番屋
　郡山営　野口栄太郎

佐渡営　椎野告天子

露しとゞおびて鶏頭陽を聚む
香具師かこむ人輪に入りぬ枯野市
　佐渡給指　石黒光

時雨晴れ雪山染めし小夕焼
山茶花の香に蜜蜂の来る日和
　会津電　滝田枯木

療養の人の居るらし窓の月
　会津電　長沢利威

橋(ヒツヂ)田に鉄塔建つる杭を打つ
　佐沼営　千葉卯

秋暑く鉱夫鋼(ハガネ)のトロと組む
　柏崎営　若井一郎

暖冬や君が碑を訪ふ此の土地に
　柏崎営　小川雅英

ゆくりなき友に出逢ひぬ師走街
　郡山営　野口栄太郎

妻子居ずしぐるゝ夜をひとり酌む

俳句

遠藤梧逸選

岩　及川有哉

謡初め一人といへど膝を正し
初詣神に誓ひしこと一つ
片付かぬ大きな仕事去年今年
二度の雪に八手の花の崩れたる
新しきふとんに深く身を埋め

岩　国安姫山

寺の子を皆が誘ひにクリスマス
夜も雪の湖に降り雪女郎
二三本燐寸とりこぼす初竈
雪を掻く御用始の掃除嬉等

本店　草野風逸

冬靄の街あたゝかく昼灯
靄深き路次の静かや寒灯
雪囲急ぐ公園つきぬけて
筆太に女学校とあり松飾る

福支　鈴木一睡

炭を引く微塵あがればむらさきに
炭を引く金鋸曲るくせのあり
炭を引くとつとつとつと日は西に
土方のとくろを巻ける石蕗の花

福支　伊具利たかし

小春日の白雲いつの間にか消え
銀杏の実踏めばあまた拾わるる
雀鳴や片耳さとく立止り
角巻のひとりひとりの野みちかな

佐渡金沢変　土屋丸児

胸高く社員のバツヂ菊日和
一振の刀を供え十三夜
待宵の園に枯れたつ立葵
転任のきまりし秋を惜しみけり

岩支　佐藤棟矢

飴玉に頬ふくらまし薬仕事
つながれてはひよる童蟇仕事
露座佛の御手氷柱を垂れ給ふ

岩支　黒沼ひろ子

聖歌うたふ幼等は孤児クリスマス
若水にたちし柄杓の新らしく
日溜りの屋根に屯し寒雀

岩支　千葉帥甲子

米兵のマフラー真赤クリスマス
米兵ら略綬をつけてクリスマス
初荷馬車牽く馬車ひきの断けどほし

岩支　鈴木辰三

初夢も見ずきどころ寝覚めにけり
煙草葉を延す去年なき生活
落葉踏み踏み分けて行く吸はる如

盛岡営　北村正蔵

通ひ婢の風邪を知らせにその子来る
蒲団縫ふ月の廊下の寮母かな
似むしろ渡り〳〵て訪へり

岩支　加藤温流

知らぬ歌知る歌唱ひ年忘
短波にて社長挨拶事務始
子と唱ふ氷柱雫の音符追ひ

秋支　岡本五十路

寒鮒の片寄る二つ水吐けり
寒鮒のひしめき生きる盥かな
北風に新巻の厚き身を吊す

秋支　齋藤莫愁

鵜護る岩冬浪沖に白らみつゝ
冬眠の蠅を汚点とし嚢煮ゆる
愛の肩触れ合ひ雪に言葉なし

大曲営　渡辺富雄

盛り上がる湖心よ月の光りうく
傘持たぬ学生のあり秋しぐれ
柿売りの女に広き駅の角

本店　境野青葉

ウキンチでトロを掩き上ぐ雪の坂
雪止まず発破をかくる岩鑿つ
締切のポンプ水吐く冬の川

本店　長倉義光

雪沓にあむ一すじのラシャ赤き
雪沓を編む納屋に鳴るラジオかな
どびろくや崩雪のはなし熊のはなし

社誌編集委員名簿

本店編集委員会

（委員）

社長室	三浦英三	(1)	総務部	岩本長三		(2)
経理部	東正男	〃	〃	江川泰		〃
給電部	村山浩	〃	資材部	指田鄰男		〃
電気部	三瓶久利	〃	営業部	横田文夫		〃
建設部	境野恭	〃	土木部	江口栄蔵		〃

（幹事）

総務課	上本善平	（発行編集兼印刷人）	
〃	高橋勇治	総務課	菅雄吉

〔註〕 (1) は第1小委，(2) は第2小委担当を示す

各支店委員会

（幹事）

青森支店	佐藤允夫	福島支店	浜島崇
秋田〃	藤井吉男	新潟〃	高木茂夫
宮城〃	満田良	会津電力事務所	西岡孝
岩手〃	中村盛	東京事務所	連山仁一郎
山形〃	大庭久蔵	電気試験所	古山健次

◇社誌原稿募集◇

次号16号の原稿を募集します。

締切は**2月末日**まで各支店編集委員会へ

業務報告・論文・紹介等	8,000字まで
創作・隨筆等	8,000字まで
短歌（扇畑忠雄選）	5首
俳句（遠藤梧逸選）	5句
詩（扇畑忠雄選）	2枚以内

編集後記

○まず1954年最初の社誌として新年の賀詞を申しのべます。

○社長の申される通り，今年は跳躍の年であるが，見わたせば，当社の直面する問題は山積する有様で，なかなか楽観は許されぬ。差当りは渇水による供給力不足の問題，それから発表するやたちまち世論を湧かせた料金値上の問題，政府の予算圧縮より派生した資金逼迫，その他いろいろ，気の弱い者なら逃げ出したくなる程である。然しながら我々に与えられた使命のためには，これを一つ一つ解決してゆかねばならない。社長の言及せられた西ドイツの驚異的な努力を，我々は今こそ他山の石として注目せねばなるまい。まことに春駒のいさむにも似た期待に胸ふくらます新年ではあるが，あれを思いこれを数うればまず屈するの年であろう。

○めでたさも中くらいなりおらが春　一茶

（K）



昭和29年1月25日発行
（隔月発行）
発行所　仙台市大町五丁目19
東北電力株式会
発行者　土本善
印刷所　今野印刷